スタンドアロン NVR・DIGISTOR シリーズ

日本語ユーザー・マニュアル

3.1.x.82/ 5.1.x.82/ 6.1.x.82

ROD
Respect on Demand

【R05-0128】

目次

1.0　はじめに 7
安全にお使いいただくために 9
本製品をお使いになる前に 15
1.1 ハードウェアの仕様 16
DS-1202 シリーズ 16
DS-2205B UHD シリーズ 17
DS-4220B UHD シリーズ 18
DS-4220-RM UHD シリーズ　※受注生産品 19
DS-16364-RM UHD シリーズ　※受注生産品 20
MN-2100 UHD シリーズ　※受注生産品 21
DS-4220 UHD シリーズ　※廃番 22
1.2 LED インジケーター 23
DS-1202 シリーズ 23
DS-2205B UHD シリーズ 25
DS-4220B UHD シリーズ 27
DS-4220-RM UHD シリーズ　※受注生産品 29
DS-16364-RM UHD シリーズ　※受注生産品 31
MN-2100 UHD シリーズ　※受注生産品 33
DS-4220 UHD シリーズ ※廃番 34
1.3 デュアル・モニター仕様：HDMI 36
2.0　NVR の準備 37
2.1 クライアント PC の要求仕様 37
2.2 電源アダプタの抜け防止 38
DS-2205B UHD 38
DS-4220B UHD 40

2.3 NVR への接続 42
2.3.1 EZ Search 42
2.3.2 ライブ表示の実行 51
2.4 その他 53
2.4.1 NVRCheck ソフトウェア※ファイルの改ざんチェック 53
2.4.2 NVRPlayer ソフトウェア 54
3.0 PC での操作 55
3.1 ライブ画面 55
3.1.1 表示モードの変更 55
3.1.2 ライブ画面の主な機能 56
3.1.3 オプション（映像ウインドウ上の右クリック） 70
3.1.4 音声双方向機能 72
3.1.5 音声通話機能 72
3.1.6 マルチ・サーバー 73
3.1.7 ダイナミック E-map 機能 75
3.1.8 アラーム画像表示機能 83
3.1.9 マニュアル一括録画機能 84
3.2 録画再生 86
3.2.1 録画再生 86
3.2.2 録画再生画面の主な機能 90
3.2.3 スマートサーチ・AI 検索 95
3.2.4 アドバンスト検索機能 100
3.2.5 同一カメラの分割同時検索機能 104
3.2.6 ファイルのエクスポート 106
3.2.7 エクスポートしたファイルの再生 109
3.3 PC による録画フォルダへのアクセス（SMB/FTP） 114

3.3.1 Windows ネットワーク 114
4.0 ローカル・ディスプレイの操作.....116
4.1 NVR へのログイン.....116
4.1.1 バーチャル・キーボード.....116
4.2 ライブ表示.....117
4.2.1 ライブ表示モードの選択.....117
4.2.2 ライブ表示の主な機能.....118
4.2.3 映像設定 124
4.2.4 オプション（映像ウインドウ上の右クリック） 130
4.3 録画再生 132
4.3.1 録画再生 132
4.3.2 録画再生の主な機能.....135
4.3.3 音声の再生 137
4.3.4 スナップショット.....138
4.3.5 録画映像のエクスポート.....139
4.3.6 ブックマーク機能.....141
4.3.7 モニター設定 141
4.3.8 AI 検索機能.....142
4.3.9 アドバンスド検索機能.....143
5.0 設定 144
5.1 カメラ設定.....144
5.1.1 カメラ設定 144
5.1.2 映像設定 151
5.1.3 カメラの状態 153
5.2 録画とイベント.....154
5.2.1 録画モード 154

5.2.2 録画スケジュール 156
5.2.3 スナップショットのスケジュール 157
5.2.4 イベントスマート録画 159
5.2.5 録画グループ 159
5.2.6 タイムラプス録画 160
5.2.7 イベントと動作の管理 160
5.2.8 詳細設定 170
5.2.9 イベントと動作の情報 171
5.2.10 E メール 171
5.3 ディスク管理 173
5.3.1 ディスク管理 173
5.3.2 ストレージ管理 174
5.3.3 ファイル共有サービス 175
5.4 スケジュールエクスポート設定 177
5.4.1 スケジュールエクスポート設定 177
5.4.2 USB バックアップ 179
5.4.3 エッジバックアップ　※開発中の機能です。 182
5.4.4 バックアップサーバー機能 182
5.5 ネットワーク設定 183
5.5.1 ネットワークのセットアップ 183
5.5.2 ネットワーク・サービス 185
5.5.3 Ping テスト 188
5.5.4 DDNS 189
5.5.5 YouTube ライブ 190
5.5.6 SNMP サーバー 191
5.6 管理 196

5.6.1 ユーザー管理 196
5.6.2 フェイルオーバー 199
5.6.3 定期通知機能 201
5.7 外部デバイス 202
5.7.1 PoE スイッチ制御 202
5.7.2 POS Syetem 202
5.7.3 Web リンク機能 203
5.7.4 Modbus IO Device 204
5.7.5 AI BOX 204
5.7.6 AXIS IO デバイス 204
5.7.7 Access Control 205
5.7.8 UPS 管理 205
5.7.9 パトライト 209
5.7.10 IP Controller 209
5.8 システム 210
5.8.1 機器情報 210
5.8.2 ログ・システム 211
5.8.3 設定の保存と読み込み 215
5.8.4 ハードウェア設定 217
5.8.5 システムのアップグレード 218
5.8.6 日付と時間 221
5.8.7 言語 222
5.8.8 ダッシュボード　※PC のみで使用できる機能です。 223
5.8.9 再起動とシャットダウン 224
こんな時は？ 236

1.0 はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

- 本製品は本書内で「NVR」または「DIGISTOR」と呼ばれます。
- 本ユーザー・マニュアル（バージョン 3.1.0.82〈UHD 用〉、5.1.0.82〈ラックマウント用〉、6.1.0.82〈DS-2205B UHD /4220B UHD 用〉）は、DIGISTOR ファームウェアの Ver.82 にのみ適用されます。DIGISTOR が古いバージョンのファームウェアで稼働している場合は、応じたバージョンのユーザー・マニュアルをご覧ください。
- 本書は DIGISTOR のすべての機能について解説を行っております。特定の機種によっては、その機能をサポートしていない場合があります。

= 保証の範囲 =

- 弊社は、本製品によってもたらされた（直接・間接を問わない）損害について、あらゆる意味で本製品の価格を超える金銭的保証の責任を負わないものとします。
- 弊社は、誤った使用・用途・不当な修理や改造によって生じた故障や損傷、想定外の環境で使用した場合、いかなる保証の責任も負わないものとします。
- 弊社は、予告なく、本製品、ソフトウェア、文書のアップデートを行う権利を有するものとします。

※すべての特徴、機能等の製品仕様は予告なしに変更することがあります。

注意：

1. 貴重なデータを保護するため、定期的にバックアップを行ってください。弊社はデータの損失並びにデータの修復に関して、一切の責任を負わないものとします。
2. 返品または修理の際は、ご購入時と同じ梱包材を使って製品を発送してください。梱包の不備に起因する製品の破損について、弊社は責任を負いません。

安全にお使いいただくために

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠**警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠**注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています**（次は図記号の例です）。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。



不安定な場所に置かない

落下および転倒によるけがや事故の原因となります。

雷のときは工事、配線をしない

火災や感電の原因となります

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因となります

ぬれ手禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを乗せる、束ねるなど

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

●コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

アースを確実に取り付ける

アースは確実に行って使用してください。
アースを取り付けないと、故障や漏電による感電の原因となります。

●販売店に相談してください
（アース工事費は本製品の価格には含まれておりません）。

電源を入れたまま工事、配線をしない

火災や感電の原因となります

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く

コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

振動や強い衝撃を与えない

火災や感電の原因となります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない

火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

通気孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

機器設置の注意点

●取扱説明書を読む

製品を実際にご利用になる前に、必ずユーザー・マニュアルをお読みください。

●電源

必ず、製品付属の AC アダプタをご利用ください（※該当機種のみ）。

●修理

技術的に不明な点は販売店にお問い合わせください。事故、故障の原因になるので、絶対に分解しないでください。

●警告

漏電、感電の恐れがあるため、雨がかかる場所、湿度の高い場所での運用はおやめください。また本製品の上に何も置かないでください。

＝＝　安全にお使いいただくために　＝＝

1. 本製品は外気温 0−40 度、湿度 20−80%の環境下（※結露なきこと）でご利用いただけます。通気の良い場所に設置してください。
2. 故障の原因になりますので、本製品は定められた定格の電圧下でお使いください。
3. 直射日光が当たる場所、化学薬品の近くに置かないでください。また設置する場所の温度と湿度が適切であることを必ず確認してください。
4. 運用の障害や、過熱の原因になるため、本製品の上にものを置かないでください。
5. 本製品を水の近くに設置しないでください。

6. 落下やそれに伴う破損の危険性があるため、不安定な場所に本製品を設置しないでください。
7. 本製品に対し、正しい電圧が供給されていることを確認してください。電圧の状態がわからない時は、販売店にお問い合わせください。また、安定した電圧を供給するため、UPS の設置を推奨します。
8. 万が一の感電防止のためアース（接地）することをお勧めします。
9. レコーダー内部の時計は日を追うごとにずれが生じます、定期的（1-2 ヵ月）に時刻の補正を行うか、NTP サーバーを設置し同期を行うことを推奨します。
10. 電源コードの上にものを置かないでください。
11. 感電その他の危険があるため、本製品を分解、修理しないでください。故障と思われた時は販売店にご相談ください。
12. システム内のファンには決して触れないでください。重大な負傷を招く恐れがあります。
13. 本製品はネットワーク上でパケットロスなどの障害が発生した場合に、録画が途切れることがあります。
14. 本製品は安定した動作を継続するために必要と判断した場合、自動的に再起動することがあります。

免責について

弊社製品は、カメラで監視している画像の録画、再生を目的に作られています。この製品単独で犯罪などを防止するものではありません。

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

1. 本製品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
2. お客様の誤使用や不注意による障害または本製品の破損などの損害・被害

3. お客様による本製品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
4. 本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、画像が表示・記録などできないことおよび記録した情報が消失したことで被る不便・損害・被害
5. 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
6. お客様による監視映像が何らかの理由により公となり、または監視目的以外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
7. 登録した情報内容が何らかの原因（ユーザー名、パスワードなどの認証情報を忘れたことにより本製品を初期化する場合を含む）により、消失してしまうこと
8. その他、保証書に記載されている内容

ネットワークに関するお願い

本製品はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- 本製品を経由した情報の漏えいや流出
- 悪意を持った第三者による本製品の不正操作
- 悪意を持った第三者による本製品の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任のもと、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

1. ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本製品を使用してください。
2. PC が接続されているシステムで本製品を使用する場合、コンピューターウ

イルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除を定期的に行ってください。

3. 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
4. 管理者で本製品にアクセスした後は、必ずすべてのブラウザを閉じてください。
5. 管理者のパスワードは定期的に変更し、設定（※追加も含む）を行ったユーザー名、パスワードは適切に保管してください。
6. 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTP サーバー情報、 DDNS サーバー情報などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証で、アクセス制限するなどの対策を実施してください。

使用上のご注意

1. 使用する記録装置に記録された情報内容は、万一、消失しても、故障や障害の原因にかかわらず、弊社は補償いたしかねます。
2. 画像更新速度は記録装置の性能、ネットワーク環境、PC 性能、被写体、アクセス数等により遅くなることがあります。

画像情報の取り扱いについて

使用する記録装置に記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本製品が廃棄、譲渡、修理等で第三者に渡る場合には、その取り扱いに十分に注意してください。

設置上のお願い

以下の場所には設置しないでください

1. 本製品・ケーブルなどが容易に破壊されるような場所
2. その他、取扱説明書に記載されている内容

個人情報・プライバシーの保護について

監視カメラシステム使用に際して記録された、本人が判別できる情報等は、「個人情報の保護に関する法律」で定める「個人情報」に該当する場合があります。その場合は、記録された情報等を、同法に従って適正にお取り扱いください。

※「個人情報保護委員会」が定める「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編）」中の「個人情報に該当する事例」をご参照ください。監視カメラシステム使用に際しては、プライバシー保護についてもご配慮ください。

本製品をお使いになる前に

本製品を開梱後、同梱品がすべて揃っているかご確認ください。

また、準備中のトラブルを避けるため、必ずマニュアルの内容をご確認ください。

1.1 ハードウェアの仕様

DS-1202 シリーズ



① 電源ボタン
② LED インジケーター：電源
③ LED インジケーター：システム
④ LED インジケーター：ネットワーク
⑤ LED インジケーター：USB
⑥ LED インジケーター：HDD
⑦ バックアップボタン
⑧ USB ×2
⑨ HDD
⑩ HDD ※使用不可
⑪ USB ×1
⑫ HDMI
⑬ ギガビット LAN×2
⑭ リセットボタン
⑮ 電源入力
⑯ K-lock
⑰ ケーブルクランプ [ケーブル抜止用]

DS-2205B UHD シリーズ



① 電源 LED インジケーター
② システム LED インジケーター
③ HDD LED インジケーター
④ ネットワーク LED インジケーター
⑤ USB バックアップ・ボタン
⑥ USB ×1（自動バックアップで使用）
⑦ HDD1
⑧ HDD2
⑨ 2.5 ギガビット LAN
⑩ USB ×1
⑪ HDMI ×1
⑫ USB ×1
⑬ リセットボタン
⑭ 電源コネクタ
⑮ K ロック用スロット

DS-4220B UHD シリーズ



① 電源 LED インジケーター
② システム LED インジケーター
③ HDD LED インジケーター
④ ネットワーク LED インジケーター
⑤ USB バックアップ・ボタン
⑥ USB ×1（自動バックアップで使用）
⑦ HDD1
⑧ HDD2
⑨ HDD3
⑩ HDD4
⑪ 2.5 ギガビット LAN
⑫ USB ×1
⑬ HDMI ×1
⑭ USB ×1
⑮ リセットボタン
⑯ DC 入力
⑰ K-lock 用スロット

DS-4220-RM UHD シリーズ　※受注生産品



① HDD1～4 LED インジケーター
② ネットワーク LED インジケーター
③ 電源 LED インジケーター
④ USB バックアップ・ボタン
⑤ USB ×2
⑥～⑨ HDD 1～4
⑩ リセットボタン
⑪ DI/DO（入力 4 / 出力 4）
※左から右に：Vin（max24V）/ DI_GND / DI-4 / DI-3 / DI-2 / DI-1 /COM/DO-4/DO-3/DO-2/DO-1
⑫ 2.5 ギガビットイーサネットポート ×2
⑬ USB ×4
⑭ HDMI ×2
⑮ 電源コネクタ
⑯ 電源スイッチ

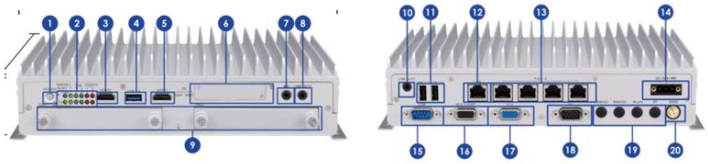
DS-16364-RM UHD シリーズ　※受注生産品





① HDD1～16 LED インジケーター
② ネットワーク LED インジケーター
③ 電源 LED インジケーター
④ USB バックアップ・ボタン
⑤ USB 3.2 ×2
⑥～㉑ HDD 1～16
㉒ リセットボタン
㉓ DI/DO（入力 4 / 出力 4）
※左から右に：Vin（max24V）/ DI_GND / DI-4 / DI-3 / DI-2 / DI-1 /COM/DO-4/DO-3/DO-2/DO-1
㉔ 2.5 ギガビットイーサネットポート ×2
㉕ USB ×4
㉖ HDMI ×2
㉗ 電源コネクタ
㉘ 電源スイッチ

MN-2100 UHD シリーズ　※受注生産品



① 電源ボタン
② LED インジケーター
③ HDMI 2
④ USB3.2 Gen1×1
⑤ HDMI 1
⑥ Reserved
⑦ Reserved
⑧ Reserved
⑨ SSD
⑩ Reserved
⑪ USB ×1
⑫ ギガビットイーサネットポート
⑬ PoE
⑭ 電源入力（DC 9V ～ DC48V）
⑮ Reserved
⑯ Reserved
⑰ D-SUB15 ピン
⑱ GPIO（Reserved）
⑲ Reserved
⑳ Reserved

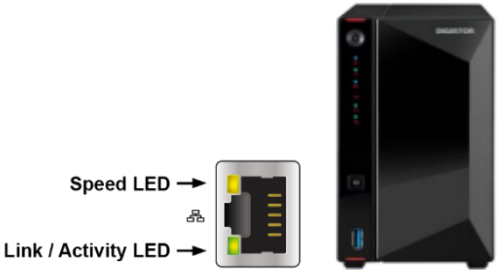
DS-4220 UHD シリーズ　※廃番



① 電源 LED インジケーター
② システム LED インジケーター
③ HDD LED インジケーター
④ ネットワーク LED インジケーター
⑤ USB バックアップ・ボタン
⑥ USB 3.0 x 2（自動バックアップで使用）
⑦ HDD1
⑧ HDD2
⑨ HDD3
⑩ HDD4
⑪ HDMI ×2
⑫ USB ×2
⑬ 2.5 ギガビット LAN
⑭ リセットボタン
⑮ DC 入力
⑯ K-lock 用スロット

1.2 LED インジケーター

DS-1202 シリーズ



参考図

LED	LED の色と状態	意味
電源	消灯	電源オフの状態
	ブルー	電源オンの状態
	ブルー点滅	スリープモードから復帰中
	オレンジ	スリープモード※UPS による
システム	消灯	システムがオフの状態
	グリーン点滅	システムが起動中または、シャットダウン中
	グリーン	システム稼働状態
LAN	消灯	LAN 接続が確立していない状態
	ブルー点滅	LAN 接続が確立している状態
	パープル点滅	LAN 接続が確立しアクセスを行っている状態
USB	グリーン	USB の準備ができています
	グリーン点滅	データアクセス状態です。
HDD	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態

	グリーン点滅	HDD へアクセス中の状態
	レッド	1, HDD がエラー状態です 2. HDD の稼働時間が規定値を超えています。

背面 RJ-45 の LED の状態：

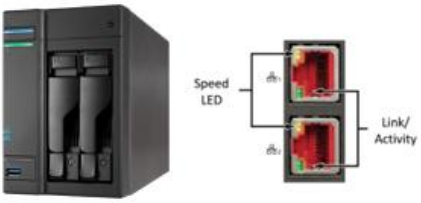
LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN1 LAN2	Link/Activity （右側）	消灯	LAN が接続されていない状態
		グリーン	LAN 接続が確立している状態
		グリーン	LAN にアクセスしている状態
LAN1 LAN2	Speed （左側）	消灯	接続していません
		グリーン	2,500Mbps 接続の状態
		オレンジ	1,000Mbps 接続の状態

注意：

* USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上押してください。

※リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます（※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください）。

DS-2205B UHD シリーズ



参考図

正面の LED の状態：

LED	LED の色と状態	意味
電源	消灯	電源オフの状態
	ブルー	電源オンの状態
	レッド	スリープモード※UPS による
システム	消灯	システムが OFF の状態
	グリーン点滅	システム起動中またはシャットダウン中
	グリーン	システム稼働状態
	レッド	USB デバイスのエラー状態
LAN	消灯	LAN 接続が確立していない状態
	ブルー点滅	LAN 接続が確立している状態
USB	グリーン	USB 機器がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
HDD1 HDD2	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	HDD にアクセスしている状態
	レッド	HDD が故障している状態

背面 RJ-45 の LED の状態：

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity （右側）	消灯	LAN が接続されていない状態
		グリーン	LAN 接続が確立している状態
		グリーン点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed （左側）	消灯	10Mbps 接続か未接続の状態
		オレンジ	100/1000Mbps 接続の状態
		グリーン	2.5Gbps 接続の状態

注意：

* USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上押してください。

※リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます（※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください）。

DS-4220B UHD シリーズ



参考図

正面の LED の状態：

LED	LED の色と状態	意味
電源	消灯	電源オフの状態
	ブルー	電源オンの状態
	レッド	スリープモード※UPS による
システム	消灯	システムが OFF の状態
	グリーン点滅	システム起動中またはシャットダウン中
	グリーン	システム稼働状態
	レッド	USB デバイスのエラー状態
LAN	消灯	LAN 接続が確立していない状態
	ブルー点滅	LAN 接続が確立している状態
USB	グリーン	USB 機器がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
HDD1 ～ HDD4	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	HDD にアクセスしている状態
	レッド	HDD が故障し取り外しが必要な状態

背面 RJ-45 の LED の状態：

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity （右側）	消灯	LAN が接続されていない状態
		グリーン	LAN 接続が確立している状態
		グリーン点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed （左側）	消灯	10Mbps 接続か未接続の状態
		オレンジ	1000/100Mbps 接続の状態
		グリーン	2.5Gbps 接続の状態

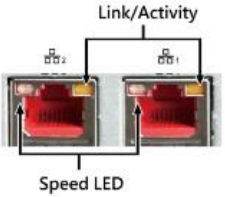
注意：

* USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上押してください。

※リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます（※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください）。

DS-4220-RM UHD シリーズ　※受注生産品





※参考図

正面の LED の状態：

LED	LED の色と状態	意味
LAN	消灯	LAN が接続していない状態
	オレンジ	LAN 接続が確立している状態
	オレンジ点滅	LAN にアクセスしている状態
HDD1 ～ HDD4	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	HDD にアクセスしている状態
	レッド	HDD が故障して取り外しが必要な状態
電源	消灯	電源オフの状態
	グリーン	電源オンの状態
バックアップ	消灯	USB 機器がない状態
	グリーン	USB 機器がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
	オレンジ点滅	バックアップでエラーが発生した状態

背面 RJ-45 の LED の状態：

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity （右側）	消灯	LAN が接続していない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed （左側）	消灯	10Mbps / 100Mbps 接続か未接続の状態
		グリーン	100Mbps 接続の場合
		オレンジ	1000Mbps 接続の状態

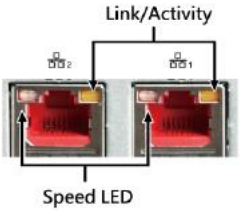
注意：

* USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上押してください。

※リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます（※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください）。

DS-16364-RM UHD シリーズ　※受注生産品





※参考図

正面の LED の状態：

LED	LED の色と状態	意味
LAN	消灯	LAN が接続していない状態
	オレンジ	LAN 接続が確立している状態
	オレンジ点滅	LAN にアクセスしている状態
HDD1 ～ HDD16	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	HDD にアクセスしている状態
	レッド	HDD が故障して取り外しが必要な状態
電源	消灯	電源オフの状態
	グリーン	電源オンの状態
バックアップ	消灯	USB 機器がない状態
	グリーン	USB 機器がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
	オレンジ点滅	バックアップでエラーが発生した状態

背面 RJ-45 の LED の状態：

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity （右側）	消灯	LAN が接続していない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed （左側）	消灯	10Mbps / 100Mbps 接続か未接続の状態
		グリーン	100Mbps 接続の場合
		オレンジ	1000Mbps 接続の状態

注意：

* USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上押してください。

※リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます（※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください）。

MN-2100 UHD シリーズ　※受注生産品



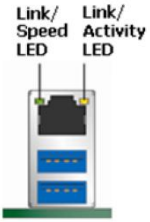
参考図

正面の LED の状態：

LED	LED の色と状態	意味
電源	消灯	電源オフの状態
	ブルー	電源オンの状態
	レッド	スリープモード※UPS による
LAN	消灯	LAN が接続されていない状態
	グリーン点滅	LAN が接続されアクセスしている状態
PoE1,2 PoE3,4	消灯	電源供給されていないか、接続されていない状態
	グリーン点滅	電源供給され、アクセスしている状態
SSD	消灯	SSD が接続されていない状態
	イエロー点滅	SSD にアクセスされている状態
システム	消灯(左右上)	SSD の準備ができている状態
	レッド（右上）	SSD1 不良
	レッド（左上）	SSD2 不良
	消灯	USB デバイスが接続されていないか もしくは、バックアップ完了
	レッド（左下）	バックアップ進行中
	レッド（左上）	バックアップエラー

DS-4220 UHD シリーズ ※廃番





参考図

正面の LED の状態：

LED	LED の色と状態	意味
電源	消灯	電源オフの状態
	ブルー	電源オンの状態
	レッド	スリープモード※UPS による
システム	グリーン点滅	システム起動中またはシャットダウン中
	グリーン	システム稼働状態
	レッド	USB デバイスのエラー状態
LAN	消灯	LAN 接続が確立していない状態
	ブルー点滅	LAN 接続が確立している状態
USB	グリーン	USB 機器がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
HDD1 HDD2	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	HDD にアクセスしている状態
	レッド	HDD が故障し取り外しが必要な状態

背面 RJ-45 の LED の状態：

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity （右側）	消灯	LAN が接続されていない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed （左側）	消灯	10Mbps 接続か未接続の状態
		レッド	100Mbps 接続の状態
		オレンジ	1000Mbps 接続の状態

注意：

* USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。

※リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます（※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください）。

1.3 デュアル・モニター仕様：HDMI

DIGISTOR シリーズ（※DS-1202 を除く）は、映像出力用に 2 ポートを持ちます*。その両方にローカル・ディスプレイを接続し、同時に映像を出力可能です（※複製モード、拡張モード、個別モードと画像表示モードの選択が可能）。

***映像出力用の端子は、機種によって異なります。**
DS-2205(B)UHD・DS-4220(B) UHD・
DS-16364-RM UHD・DS-4220-RM UHD …… HDMI/HDMI
※DS-1202 は HDMI が 1 ポートのため、デュアル・モニター機能非対応です。
※複製モード／拡張モード／個別モード／画像表示モードは、ディスプレイ 2 台ともフル HD である必要があります。
＊4K モニター（解像度 3840×2160）使用時、デュアル・モニター機能は使用できません。

複製モード：2 つのモニターに同じ映像を出力します。
拡張モード：2 つのモニターに異なる映像を出力します。※1
個別モード：2 つのモニターに異なる映像を出力します。※2
画像表示モード：モニター2 にアップロードした画像データを表示することができます。※3

※1 同じカメラを 2 つのモニターに表示することはできません。
※2 同じカメラを 2 つのモニターに表示することができます。
※3 画像データアップロード後、ライブ画面の画像表示ボタンより画像を選択してください。
※4 表示できるカメラ台数は最大 64 台です。
注意：デュアル・モニター機能使用時に著しく負荷率が上昇した場合は、カメラの表示台数を減少させるなど調整を行ってください。

2.0　NVR の準備

2.1 クライアント PC の要求仕様

DIGISTOR に接続して使用する PC に最低限必要な仕様は以下の通りです。

●オペレーティング・システム
Microsoft Windows 11Professional 64bit

●ブラウザ
Microsoft®Edge

●CPU
Intel®Core i7-14700F 相当

●ネットワーク
1Gbps 程度
注意：カメラと NVR はギガビット・スイッチに接続してください。

●メモリ
16GB 程度

●グラフィックカード
NVIDIA® GeForce® RTX4060/8GB 相当

●対応解像度
1920×1080 もしくは 3840×2160

●Adobe Reader
マニュアルなどを閲覧するのに必要です。

2.2 電源アダプタの抜け防止

付属の電源アダプタ抜け防止を使用することで、電源コードを固定できます。
※DS-1202 シリーズは、背面のケーブル抜け防止アダプタを使用します。

DS-2205B UHD

①付属品箱からコードブラケットを
取り出してください（右写真）。



②写真を参考にコードブラケットを電源コードに取り付けてください。



③ファンのネジを反時計まわりに緩めて取り外します。



④取り外した箇所にブラケットを合わせ、ブラケット用のネジで固定してください。





DS-4220B UHD

①付属品箱からコードブラケットを
取り出してください（右写真）。



②写真を参考にコードブラケットを電源コードに取り付けてください。



③ファンのネジを反時計まわりに緩めて取り外します。



④取り外した箇所にブラケットを合わせ、ブラケット用のネジで固定してください。





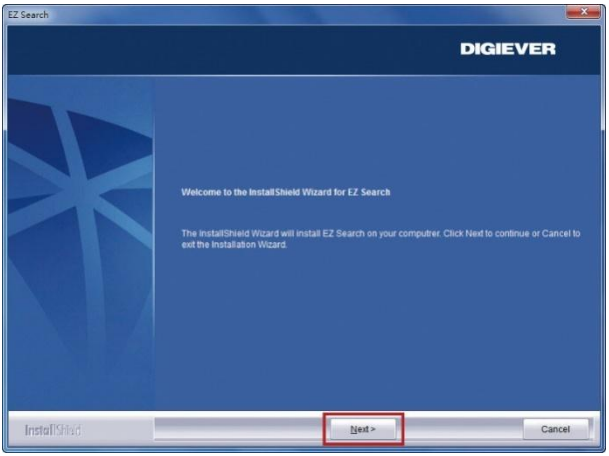
2.3 NVR への接続

まず、弊社ホームページより NVR に接続するためのソフトウェアをダウンロードし、PC にインストールしてください。

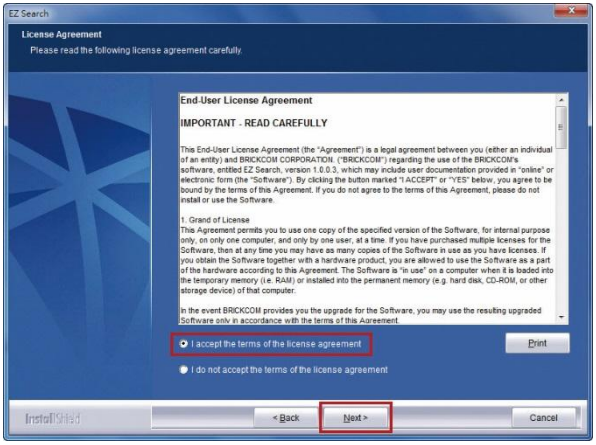
① EZ Search ---- NVR を検索するソフトウェアです。

2.3.1 EZ Search

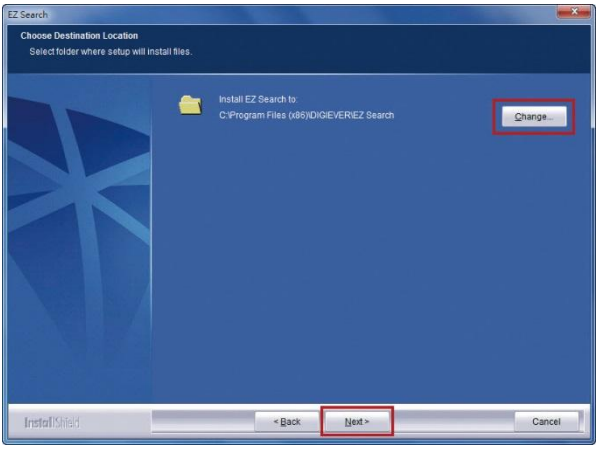
「Install EZ Search」をクリックして NVR 検索ユーティリティを PC にインストールします。



インストールウィザードが起動するので、
「Next」をクリックしてインストールを続行します。



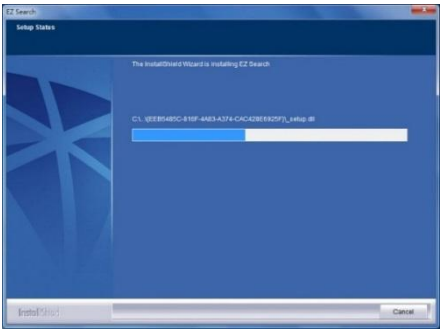
内容を確認の上、「Next」をクリックしてください。



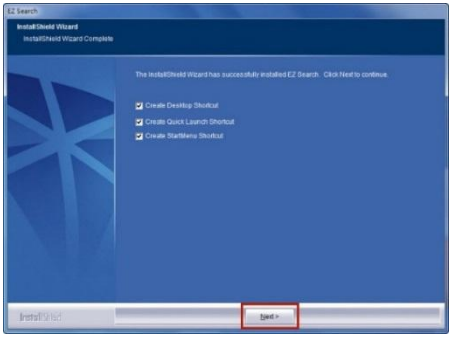
EZ Search は C:¥Program Files （x86）¥DIGIEVER¥EZ Search にインストールされます。インストール先を変更したい時は「Change」をクリックして任意のフォルダにインストールすることも可能です。



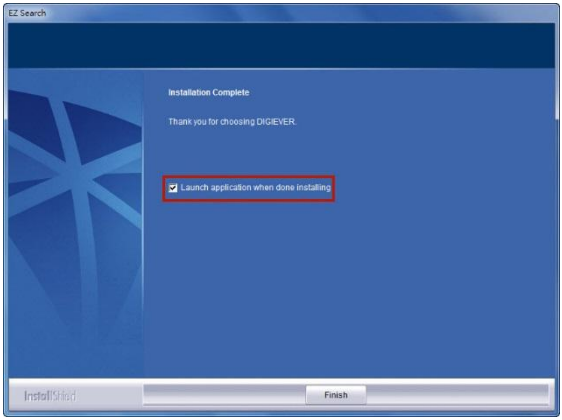
インストール先のフォルダを指定したら、「OK」をクリックしてインストール作業を続行します。



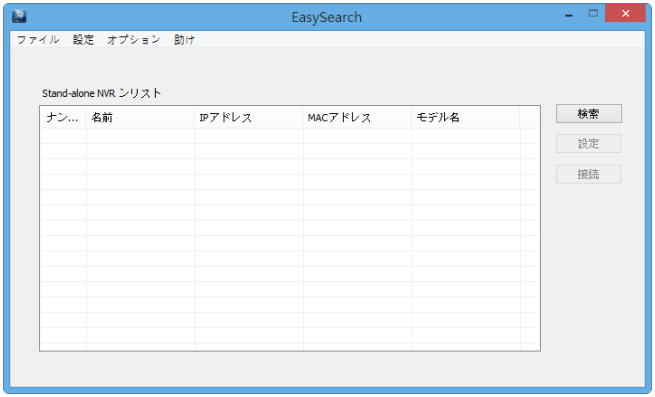
EZ Search のインストール中は、上記のようなウインドウが表示されます。インストールが完了するまでお待ちください。



インストールが完了しました。
「Create Desktop Shortcut」「Create Quick Launch Shortcut」「Create Start Menu Shortcut」を選択して「Next」をクリックします。



「Launch application when done installing」にチェックを入れ、「Finish」をクリックすると EZ Search が起動します。

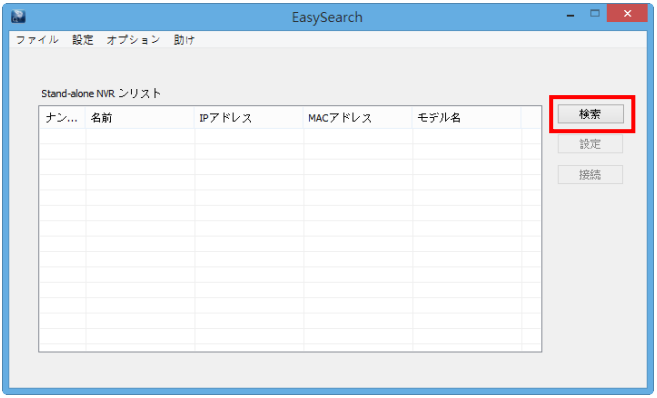


EZ Search は同一サブネット上の DIGISTOR を検出し、名称、IP アドレス、Mac アドレス、機種名を表示します。「検索」をクリックすると検出を開始します。

EZ Search の使い方

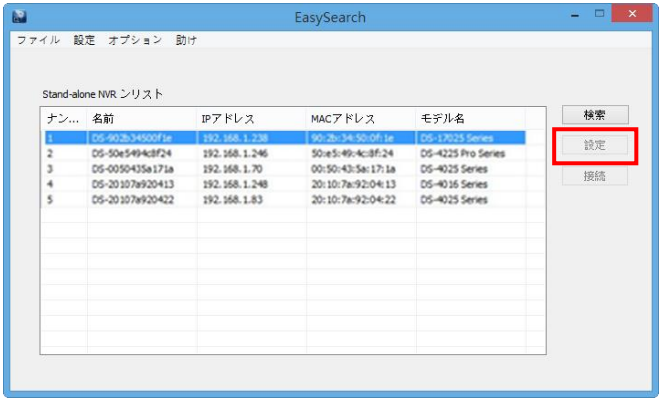
EZ Search 上の 3 つのツールバー

1. 検索



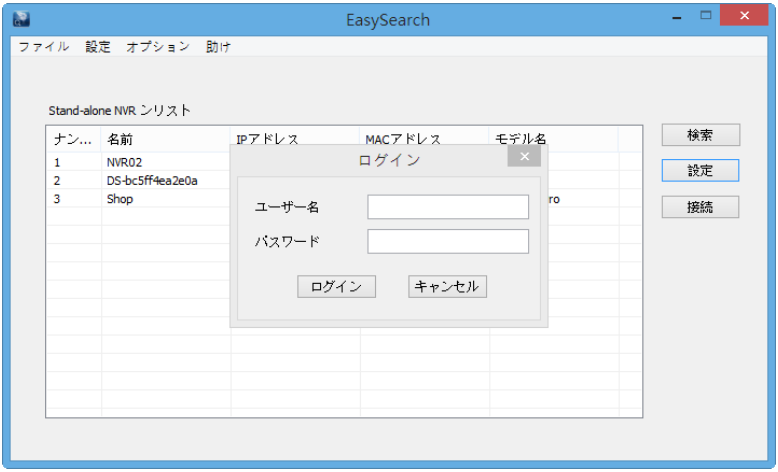
「検索」ボタンを押すと、検索を行います。

2. 設定



「設定」ボタンをクリックすると、次ページのログイン画面が表示され、ネットワーク設定を変更することができます。

注意:設定を変更するためには NVR の管理者 ID とパスワードが必要です。



NVR の設定を変更する際、上記のようなダイアログが表れるので、ユーザー名とパスワードを入力します。入力後、「ログイン」をクリックします。

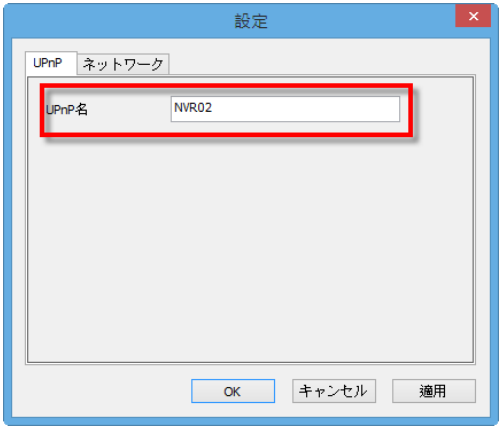
3.接続

NVR を選択し、「接続」ボタンを押すと、NVR に接続します。

右上の「×」をクリックすると、EZ Search は終了します。

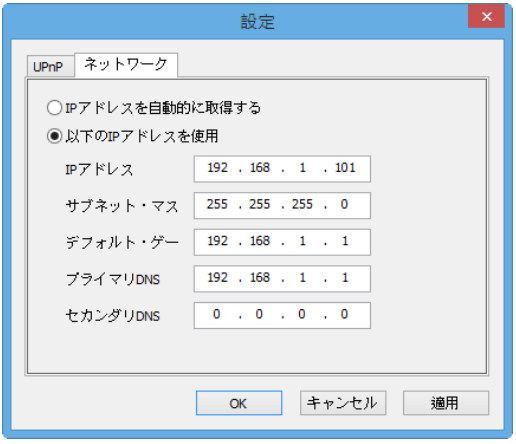
1） UPnP

UPnP（Universal Plug and Play）で表示される名称を変更できます。
変更後、「適用」をクリックして設定を適用してください。

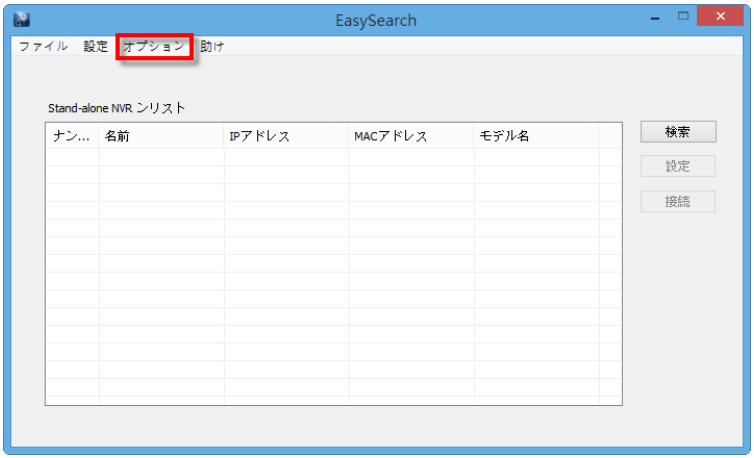


2）ネットワーク

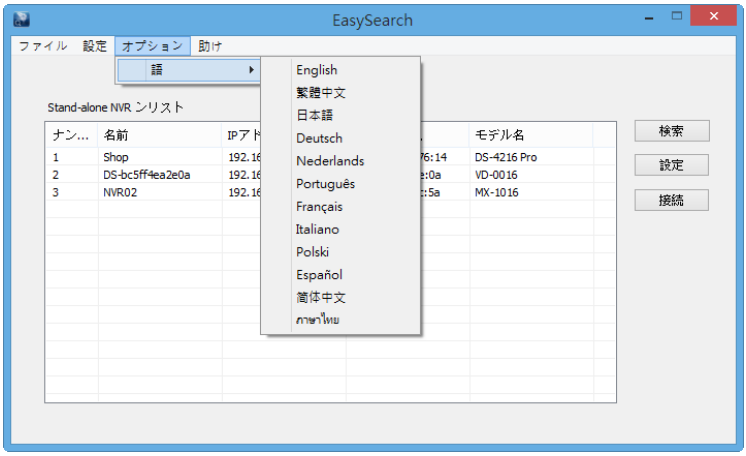
ネットワーク設定では、DHCP による自動取得と固定 IP の設定による手動設定が選可能です。



3）オプション



表示言語を変更できます。

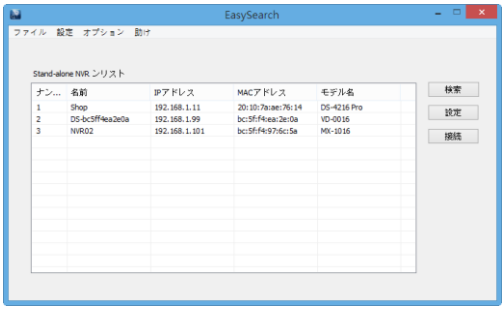


2.3.2 ライブ表示の実行

1. NVR への接続

1）EZ Search を使って接続する

Ez Search を立ち上げ、リストから NVR を選んで「接続」をクリックする、またはリストをダブルクリックすることでブラウザが起動し、NVR に接続します。



2）ブラウザを立ち上げてから接続する

NVR の IP アドレスを入力して接続してください。

注意：NVR の IP アドレスを、ブラウザの「信頼済みサイト」に登録してください。

2. ユーザー名とパスワードの入力

ユーザー名／パスワードを入力し、ログインを行ってください。

3. 表示言語の選択

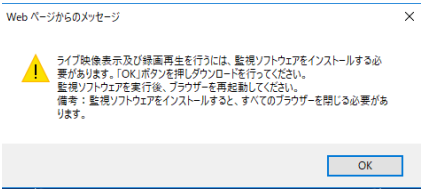
ドロップダウンリストで言語を指定してください。



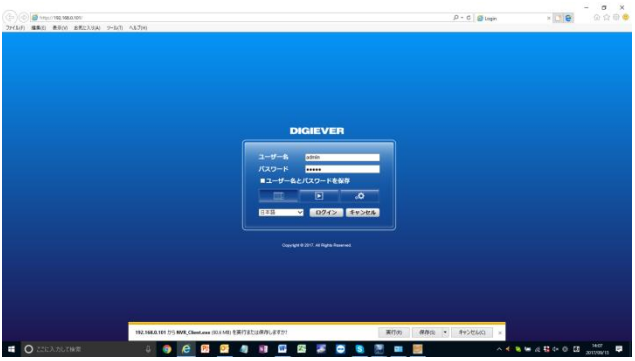
4. NVR-Client のインストール実行

初めて NVR に接続した際、NVR-Client をインストールする必要があります。

1）その後、下記のメッセージが表示されますので、「OK」を押してください。



2）次に「実行」をクリックし、ソフトウェアのダウンロード、ソフトウェアのインストールを行ってください。



NVR-Client をインストールすると、PC を使用してモニタリングが行えます（※ネットワークの状況によっては、時間がかかることがあります）。

また、NVR-Client をインストールすると、デスクトップ上にアイコンが作成されます。そのアイコンをクリックし、IP アドレス／ユーザー名／パスワードを入力してログインすることもできます。

2.4 その他

2.4.1 NVRCheck ソフトウェア※ファイルの改ざんチェック

録画ファイル及び取得したスナップショットには自動的にウォーターマークがつき、NVRCheck ソフトウェアを使用することで、不正なファイルでないかのチェックができます。

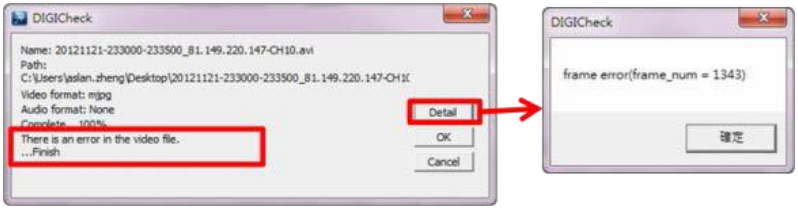
①ダブルクリックしてプログラムを起動してください。
②確認を行いたいファイルを選択し、OK をクリックしてください。



改ざんされていないファイルの場合、「No error occur.」と表示されます。



改ざんされたファイルの場合は、「There is an error inthevideofile.」と表示されます。



より詳しい情報が必要な場合は「Detail」ボタンをクリックし、内容を明記の上、販売店までお問合せください。

2.4.2 NVRPlayer ソフトウェア

NVRPlayer は、エクスポートした録画データの再生を行うことができるプログラムです。
（※Windows へのインストールは必要ありません）

詳しくは、3.2.7 エクスポートしたファイルの再生を参照ください。

3.0 PC での操作

3.1 ライブ画面

3.1.1 表示モードの変更



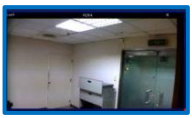
右上 5 つのボタンで表示モードを切り替えます。

モード	内　容
	ウェブリンク： ウェブリンクで設定したリンクにアクセスできます。
	ライブ表示： ライブ映像を表示します。
	録画再生： 録画した映像を再生するページを表示します。
	設定： カメラ、録画、イベント、管理、ネットワークなどを設定するページを表示します。
	ログアウト： NVR からログアウトする時にクリックします。

3.1.2 ライブ画面の主な機能



1. カメラの状態

アイコン	内　容
	カメラ名： 映像ウインドウ左上にカメラの名称が表示されます。 「設定 > カメラ > カメラ設定」で名称を変更できます。
	オーディオ： カメラがオーディオ機能をサポートしていると、アイコンが青色で表示されます。サポートしていない時は灰色で表示されます。
	イベント： イベントが発生するとアイコンで通知します。
	録画状態： 録画状態を示します。
	青色の枠： ウインドウを選択するとその枠が青色で強調表示されます。

2.NVR の情報

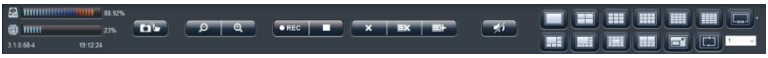
1）ファームウェア・バージョン

NVR のファームウェア・バージョンを表示します。



2）ディスク・システム負荷率

ディスクとのシステム負荷率を確認できます。



※使用量が 70%以下なら青色で、70%以上になると赤色で表示されます。



※解像度や FPS、画質の設定により、システム負荷率が高くなります。
安定処理の目安は、常時 80%以下です。

※HDD の上書き中は負荷率が 90%以上になることがありますが、全体の
パフォーマンスに影響はありません。

3.基本機能

アイコン	内　容
	**スナップショット：** 選択したカメラの静止画像を撮影します。ボタンをクリックするとウインドウがポップアップします。 1）クリップボード 画像をクリップボードにコピーします。コピーしたデータはペイント・ツールなどにペーストできます。  2）保存 画像を設定したフォルダに保存します。 3）キャンセル スナップショットした画像を破棄します。
	**デジタル・ズームイン / アウト：** 選択したカメラのデジタル・ズームを操作します。
	**マニュアル録画開始：** マニュアル録画を開始します。
	**マニュアル録画停止：** マニュアル録画を停止します。
	**表示停止：** 選択したカメラの表示を停止します。
	**全てを表示停止：** 全てのカメラの表示を停止します。
	**全てを表示：** 全てのカメラのライブ映像を表示します。
	**選択されていない状態：ON** **選択されて青くなっている状態：OFF**
	**日付と時間：** 現在の日付と時間を表示します。

4.ライブ表示モード

アイコンをクリックすると、表示レイアウトを変更できます。

アイコン	内　容
	全画面表示
	シングル表示
	4 分割表示
	9 分割表示
	12 分割表示
	16 分割表示
	20 分割表示
	1×2/2×1/3×1/3×2/5×1/5×5/6×5/6×6/7×6/ 7×7/8×4/ 8 ×7/8×8 分割表示
	5+1 分割表示
	8 分割画面

	12+1 分割画面
	8+2 分割画面
	シーケンシャル・モード。特定ページを表示したい時はドロップダウン・メニューから選択してください。ページ切り換え間隔は「オプション ＞ 一般設定」で変更できます。

5.PTZ 制御

PTZ 機能を持つカメラは、ライブ画面でその操作を行えます。
下記が、そのアイコンの内容となります（※対応カメラのみ）。

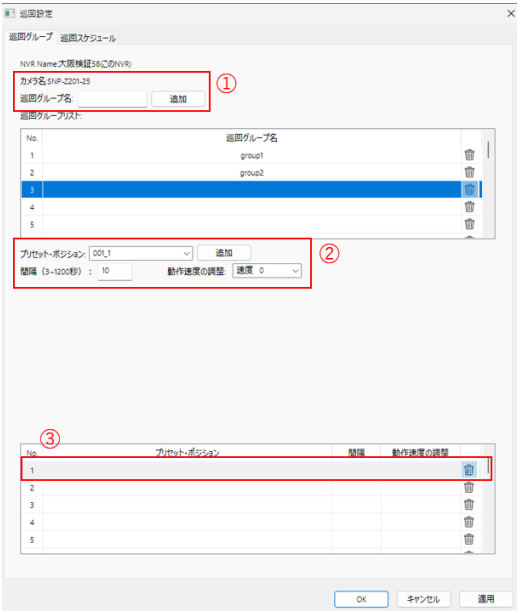
アイコン	内　容
	**PTZ 操作：** 選択したカメラのパン、チルト、ズーム操作を行えます。クリックした矢印の方向にカメラが向きを変えます。中央の「家（ホーム）」ボタンをクリックすると、ホーム・ポジションに戻ります。
	**プリセット・ポジション：** カメラにプリセット・ポジションを登録していたら、その位置情報に基づいてカメラの向きを変えます。
	**光学ズームイン / アウト：** 選択したカメラのズームイン / アウトを制御します。
	**フォーカスの手動調整** カメラが PTZ 機能をサポートしている場合、マニュアルでフォーカスの調整が可能です。
	**PTZ プリセット登録** ※使用できません。
	**オートフォーカス：** **フォーカスを自動調整します。** ※オートフォーカス対応カメラ使用時に使用します。
	**スケジュール PTZ（巡回設定）：** プリセット・ポジションを元に自動巡回設定を行います。巡回回数及びプリセット・ポジション間の移動間隔を設定してください。また、ver82 よりスケジュール PTZ で時間グループの設定ができるようになりました。

	**スケジュール PTZ（巡回モード）：** 巡回を開始します。

■スケジュール PTZ（巡回設定）

PTZ カメラのプリセットの巡回ができる機能です。使用したいカメラを選択し、「巡回設定」ボタンを押して設定を行ってください。

※使用するカメラによっては、その駆動部を予想以上に消耗させる可能性があります。駆動部の耐久性に関しての詳細は、カメラメーカーへお問い合わせください。



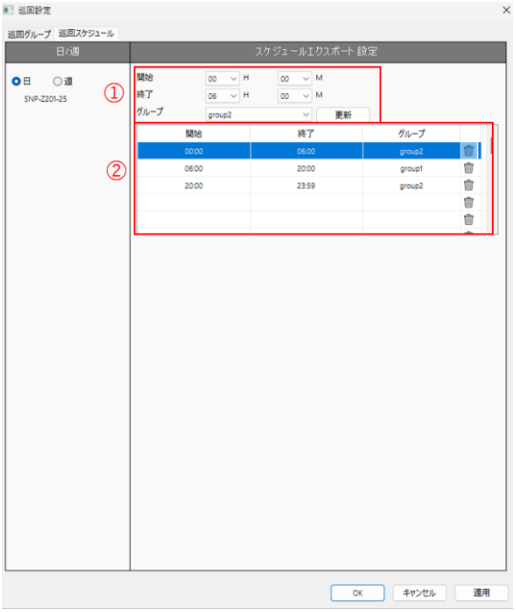
■巡回グループ

①巡回グループ名を入力し、「追加」ボタンを押してください。

②プリセットポジション、間隔を入力し、「追加」ボタンを押してください。

※カメラ側に設定されたプリセットポジションが表示されます。

※最大 25 個まで登録可能です。
　表示されない場合は、カメラ側の設定をご確認ください。
③追加を行うと、情報が追加されます。



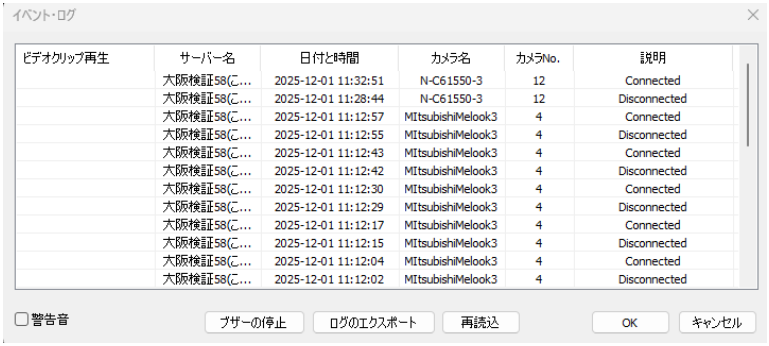
■巡回スケジュール
※Ver82 より、巡回グループの設定と、巡回スケジュールを組むことができるようになりました。
巡回運用させたくない時間を作成する場合や、昼夜で異なるプリセット巡回設定で設定を行いたい場合などに使用できる機能です。

スケジュールの設定、動作させたい開始、終了時間とグループ名を選択し（①）、設定を行ってください。設定を行うと、②に内容が表示されます。

動作の開始は、モニタリング画面の「巡回モード」ボタンをクリックしてください。

6.イベント・ログ

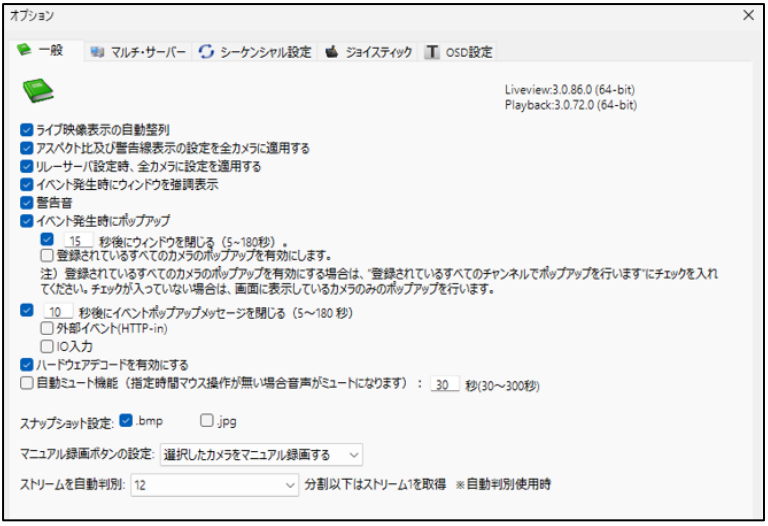
カメラの接続不良や、モーション検知機能等のイベントのログを表示します。検知するとアイコンが点滅し、アイコンをクリックするとログ・ウインドウが表示されます。



警告音を有効にすると、イベント動作時に警告音が鳴動します。
（オプション ＞一般設定の“警告音の有効／無効“からの設定変更も可能です）
ログのエクスポートを選択すると、NVR のログデータが一括で取得できます。
また、ブザーの停止ボタンにて本機のブザー音の「停止」を行えます。

7.オプション

1）一般設定



●ライブ映像表示の自動整列

この機能を有効にすると、表示しないカメラを詰めて（＝間を詰めて）表示します。

●アスペクト比及び警告線表示の設定を全カメラに適用する

この機能をチェックすると、すべてのカメラの表示サイズ（※アスペクト比を維持するか？　枠一杯に最大化するか？）を一括で変更できるようになります。

●リレーサーバー設定時、全カメラに設定を適用する

●イベント発生時にウインドウを強調表示

設定によりイベントを検知するとウインドウが強調表示されます。
当該映像ウインドウをクリックすると強調表示を停止します。

●警告音

この機能を有効にすると、カメラのイベント時に警告音が鳴ります。

●イベント発生時にポップアップ
この機能を有効にすると、イベント発生時に映像のポップアップを行うことができます。1 分割もしくは 4 分割表示でポップアップすることが可能です。※Ver70-3.1～

確認後、 × ボタンを押してポップアップ画面を閉じてください。

●” “秒後にウインドウを閉じる（5-180 秒）
自動的にポップアップを閉じる場合は、上記メニュー内の“ ”にて秒数の指定を行ってください（※デフォルトは 10 秒です）。
※ver82 より外部イベント(HTTP-in)および、IO 入力も自動的にポップアップを閉じる設定ができるようになりました。

●登録されているすべてのカメラのポップアップを有効にします
“登録されているすべてのカメラのポップアップを有効にします”を有効にすると、NVR のすべてのカメラにおいて、イベント発生時にポップアップを行います（※表示されていないカメラも含む）。
使用しない場合は、現在表示されているカメラに対してポップアップを行います。

注意：ポップアップには最新のイベントの画像が表示されます。

●ハードウェアデコードを有効にする
チェックが入った状態でハードウェアデコードが有効になります。
※ハードウェアデコード非対応の PC の場合、項目はグレーアウトします。

●自動ミュート機能（指定時間マウス操作が無い場合音声がミュートになります）：30 秒から 300 秒

●スナップショット設定
スナップショットで使用する拡張子を[.bmp]と[.jpg]で選択できます。

●マニュアル録画ボタンの設定

■選択したカメラをマニュアル録画する

■すべてのカメラをマニュアル録画する

録画モード設定の「マニュアル録画」を有効にすると、モニタリング画面での手動録画機能が使用できます。

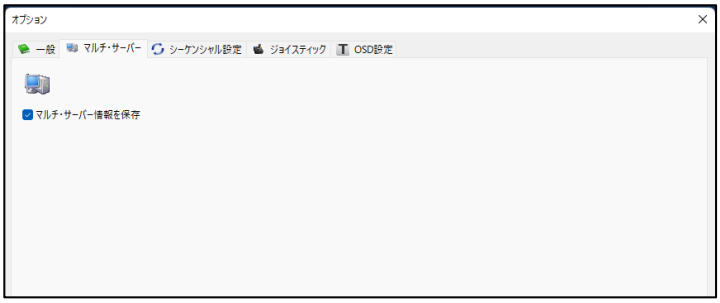
この画面では、マニュアル録画ボタンを押下した際の動作の設定が可能です。

●ストリームを自動判別：

PC でのモニタリングで、X 分割以下はストリーム 1 を取得する設定が可能です。※自動判別使用時　デフォルトは 12

2）マルチ・サーバー

マルチ・サーバー登録時のレイアウト情報を本機に保存します。



3）シーケンシャル設定

●シーケンシャル間隔：ページの切り替え間隔（秒単位）を設定します。(4-6000 秒)

●レイアウト内シーケンシャル機能を使用する：

カメラ枠①に任意のカメラを表示・シーケンシャルすることができる機能です。機能を有効にする場合は☑を入れてください。

また、下記のリストよりカメラを選択してください。

※PC で「5+1」[12+1]のレイアウトのみ使用できます。



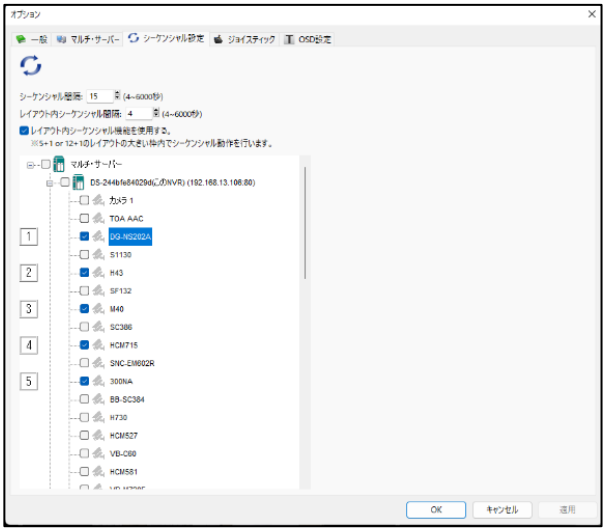


●レイアウト内シーケンシャル間隔：

レイアウトシーケンシャル機能※カメラ枠①内のページの切り替え間隔（秒単位）を設定します。(4-6000 秒)

モニタリング画面のシーケンシャルボタンを押すと、シーケンシャル動作を開始します。

※レイアウト内シーケンシャル機能を使用した場合は、任意の指定したカメラ枠①の映像も併せシーケンシャルを行います。



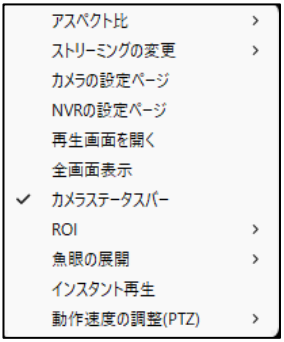
4）ジョイスティック

PC に USB 接続されたジョイスティックで PTZ カメラを制御できます。
ジョイスティックの機種を選択して「適用」をクリックしてください。
※ジョイスティックの項目にて、該当するジョイスティックのモデル名を選択し、「適用」を押してください。



適用後、ジョイスティックによりカメラを操作できます。

3.1.3 オプション（映像ウインドウ上の右クリック）



1.アスペクト比：原寸サイズ、または最大サイズ（ウインドウに合わせる）を切り替え表示できます。
2.ストリーミングの変更：表示しているストリーミングの切り換えを行います。

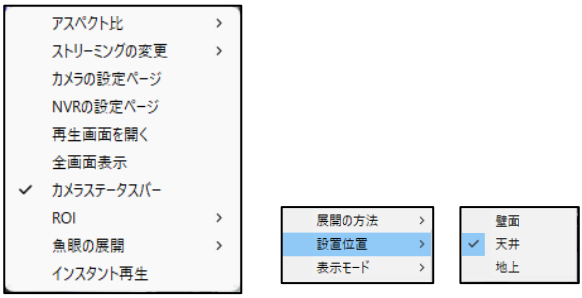
※マルチ・ストリームに対応するカメラであれば、二つの映像ストリームを取得できます。通常、ストリーム 1 は高画質（録画用）、ストリーム 2 は低画質（小サイズのウインドウ表示用）に使用します。



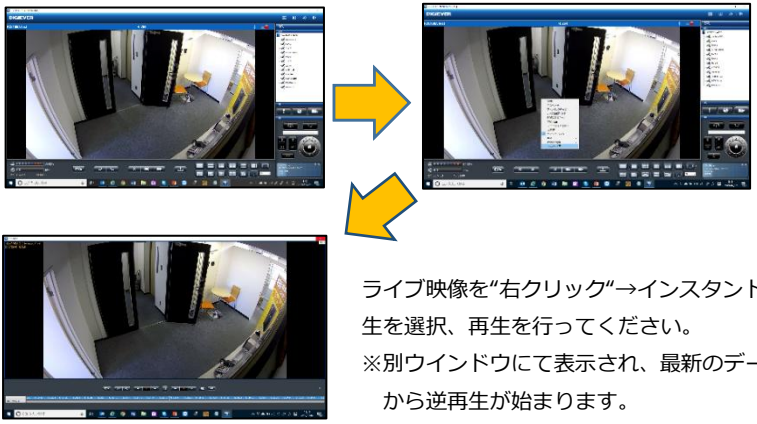
「ストリームを自動判別」が有効の場合、選択中のレイアウトに合わせて最適なストリームが表示されます。
また、ストリームをサーバーから配信の場合は、常に NVR 経由でストリームを配信します。
3.カメラの設定ページ：カメラの設定ページへ移動します。
4.NVR の設定ページ：新規ページで NVR のカメラ設定ページを表示します。
5.再生画面を開く：新規ページで録画再生ページを表示します。
6.全画面表示：全画面表示を終了します。
7.カメラステータスバー：カメラ情報などのステータスを表示／非表示の切り替えができます。
8.ROI :ROI を使用します。
9.魚眼の展開：全方位カメラの映像を補整する際に使用できます。

（1）全方位カメラの展開

カメラを選択後、右クリック→下記画面内容にて全方位カメラの設定位置、表示方法の変更を行ってください。



10.インスタント再生：選択したカメラの即時再生を行います。



ライブ映像を"右クリック"→インスタント再生を選択、再生を行ってください。

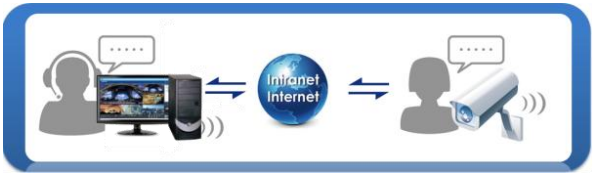
※別ウインドウにて表示され、最新のデータから逆再生が始まります。

11. カメラ IO 制御機能（※対応カメラのみ）：モニタリング画面にて、カメラを選択→右クリックにて**「カメラ IO」**の出力：ON・OFF の制御ができます。

12. 動作速度の調整（PTZ）：（※対応カメラのみ）PTZ カメラによっては動作速度の調整ができるものがあります。

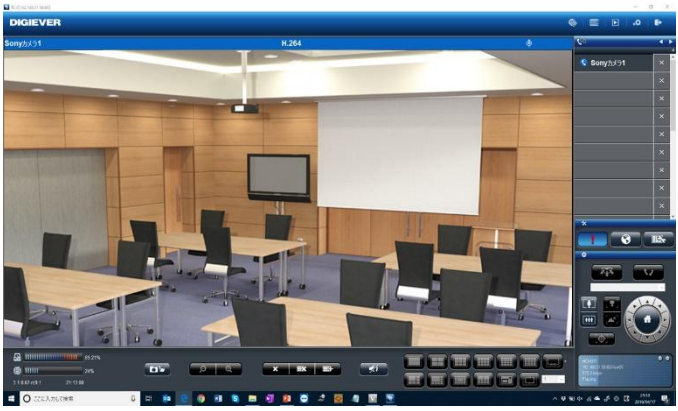
3.1.4 音声双方向機能

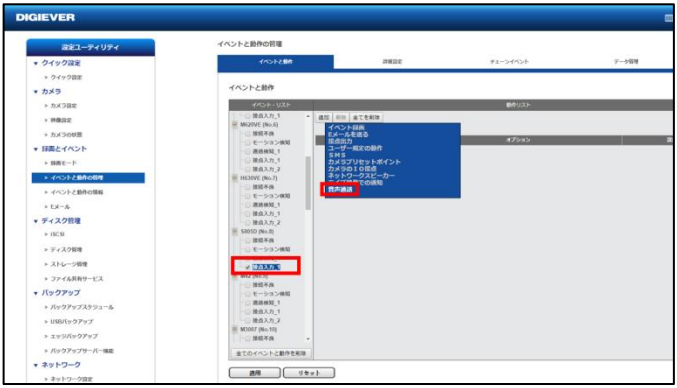
音声双方向の機能が使用できます。（※対応機種のみ）



3.1.5 音声通話機能

カメラの IO 入力が入ると（※要設定）、画面を対話モードに切り替えて表示できる機能です。※対応カメラのみ　※PC のみの機能





「イベントと動作」設定にて、対応カメラの IO 入力をクリック、「双方向通話」を選択します。ライブ映像に移行し、カメラの IO に入力が入ると、上記のように画面が切り替わって単画面表示になります。他、拠点からボタンを押されるとリストに追加され、クリックすることで拠点を切り替えて対話ができます。
対話完了時は×を押して完了します。すべての対話が終了すると、通常のレイアウトへ戻ります。

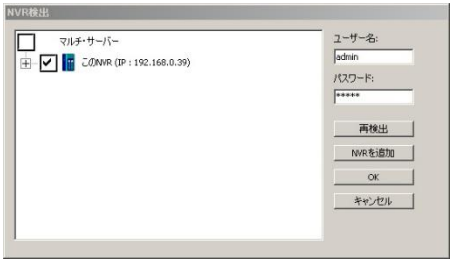
注意 : カメラ側のマイクの音声の録音は行いますが、PC もしくは NVR から送信される音声は録音を行いませんのでご注意ください。

3.1.6 マルチ・サーバー

他の NVR を、今アクセスしている NVR に登録して、まとめて管理できます。カメラリストの上にあるアイコンをクリックしてください。
※閲覧用、録画再生用別に設定が必要です。
※最大 512 台の DIGISTOR チャンネルを登録・管理できます。
※マルチ・サーバー使用時は基本、すべてのレコーダーのファームウェアを同じ ver にしてください。



再検出のボタンを押すと NVR を自動的に検索します。追加したい NVR にチェックを入れ、ユーザー名、パスワードを入力して「OK」をクリックしてください。



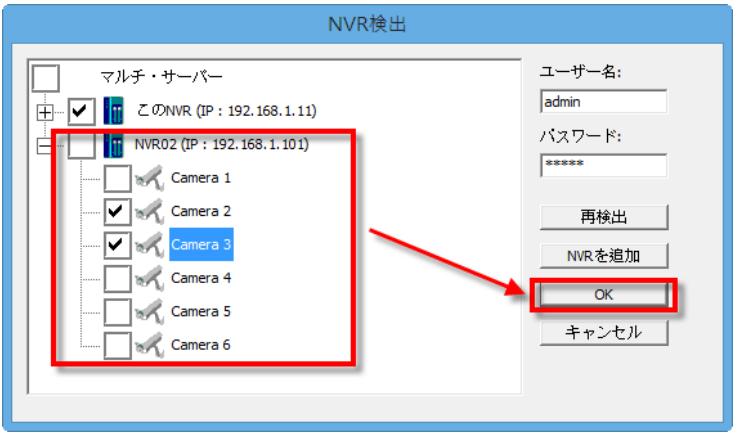
手動で追加する際は、「NVR を追加」をクリックすると右記のウインドウが表示されます。



NVR のアドレス、ポート番号、ユーザー名とパスワードを入力することで NVR の追加が可能です。



追加したい NVR とカメラを選択して「OK」ボタンを押してください。



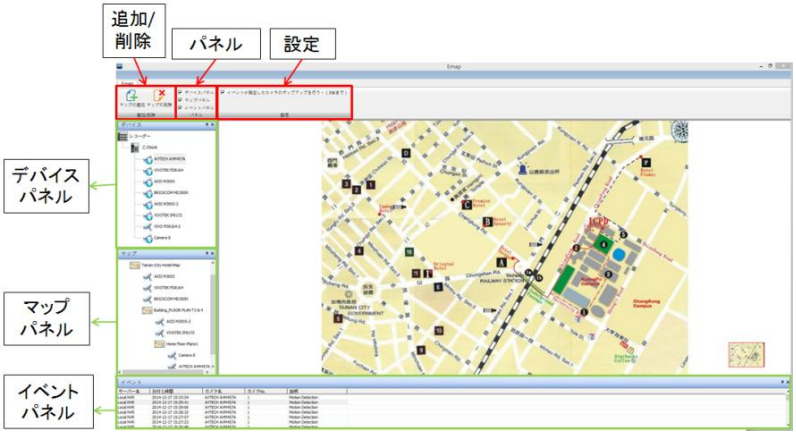
3.1.7 ダイナミック E-map 機能

PC を使用してのモニタリングにて、マップ機能が使用できます。ユーザーは、マップを貼り付けてカメラを配置することにより、視覚的にカメラの監視を行うことができます。また、イベント発生時に該当カメラをポップアップ表示させることも可能です。

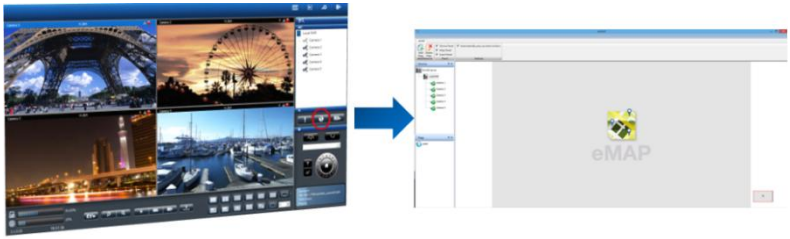
※E-MAP 情報は各々の PC に格納される為、複数台の PC で E-MAP 機能を使用する場合は、各 PC の同じ階層上に同じ画像ファイルを配置してください。

例）各 PC、C ドライブ直下の MAP フォルダ内に同じ画像ファイルを配置

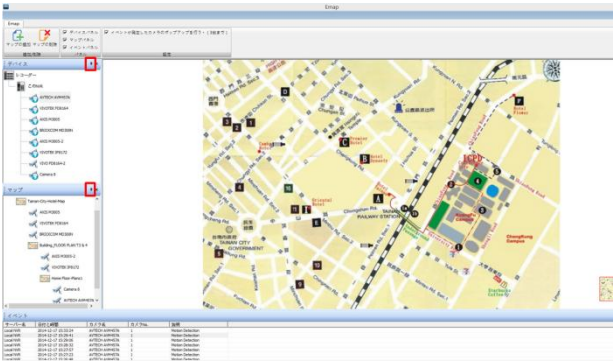
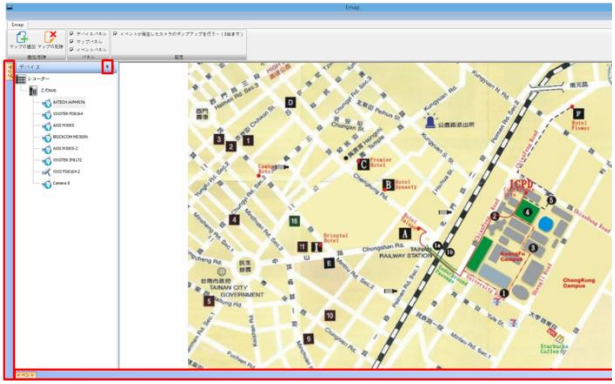
また、MAP 情報が保存されるタイミングは、MAP 画面を閉じるタイミングとなります。



ライブ表示上の E-Map ボタンをクリックし、E-Map の画面に移行してください。



アイコンの状態

アイコン	内容
	**パネルの固定：**パネルを固定します。 
	**パネルを隠す：**ウインドウの端にパネルを隠し、非表示にする（※再度パネルを表示するには、パネル名をクリックしてください）。 
	**削除：**パネルを閉じます。
	**Map の追加：**E-Map を追加します。

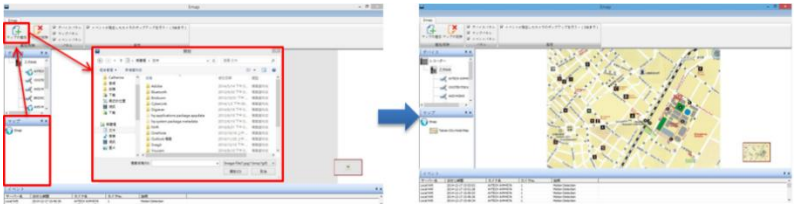
	**Map の削除：**E-Map を削除します。
	**追加可能なカメラ:**デバイスパネル上にあるカメラをドラッグすることにより追加可能です。
	**Map 上に既にあるカメラ:**すでに Map に登録されているため、そのカメラの追加はできません。

Map の階層の追加

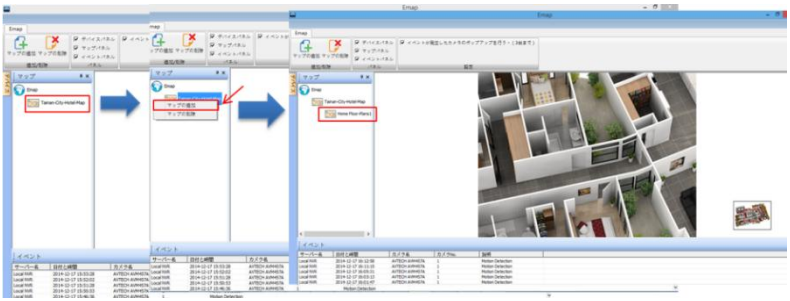
(1) Map の追加:マップを追加するには、“マップパネル”上のマップをクリックし、**“マップの追加”**をクリックしてください。

⚠ **注意: PNG, BMP 及び JPEG の画像のみ使用できます。**

⚠ **追加できる画像ファイルは 100 枚迄です。**



(2) Map の右クリック: マップを右クリックすることでサブレイヤー（サブ階層）の作成が可能です。

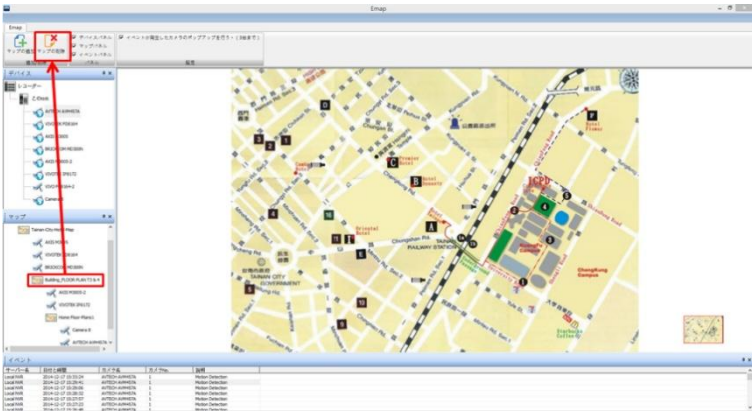


E-Map の拡大／縮小

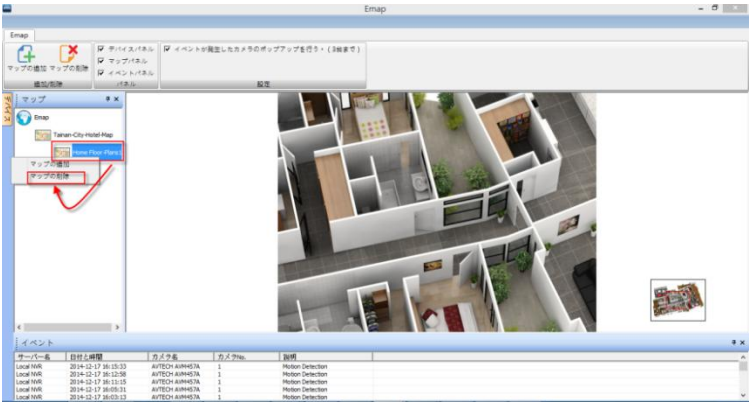
マウスのスクロールを使用し、Map の拡大／縮小ができます。

Map の削除

(1) Map の削除ボタンによる削除: マップパネルよりマップを選択し、**"マップの削除"**をクリックしてください。



(2) マップパネル上でのマップの削除: 直接マップを選択し、右クリック→**"マップの削除"**よりマップの削除を行ってください。



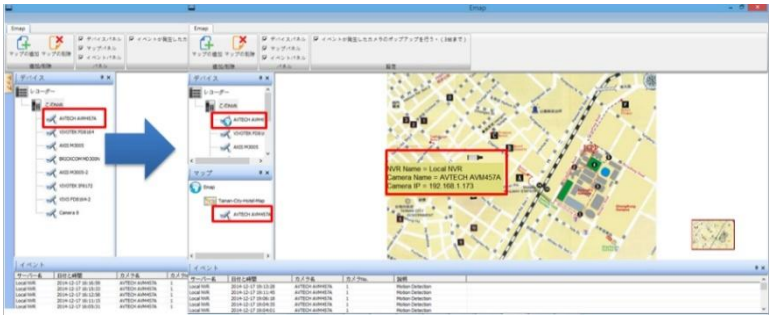
カメラの配置と削除

(1) カメラの配置: 配置したいマップの場所にカメラをドラッグし、カメラの配置を行ってください。カメラの配置が正常に行われると、デバイスパネル上のカメラのアイコンが （配置可能なカメラ）から （配置済みのカメラ）へと表示が変わります。

※Ver77 より、配置できるカメラのアイコンが変更されました。
BOX、ドーム、PTZ、バレット、魚眼カメラのアイコンが配置できます。

●カメラ情報

マウスの矢印をマップ上にあるカメラアイコンへ移動すると、黄色のコラムに IP アドレス等のカメラの情報が表示されます。



(2) カメラアイコンの向きの変更:カメラアイコンを右クリックすることで、カメラの向きを変更できます。

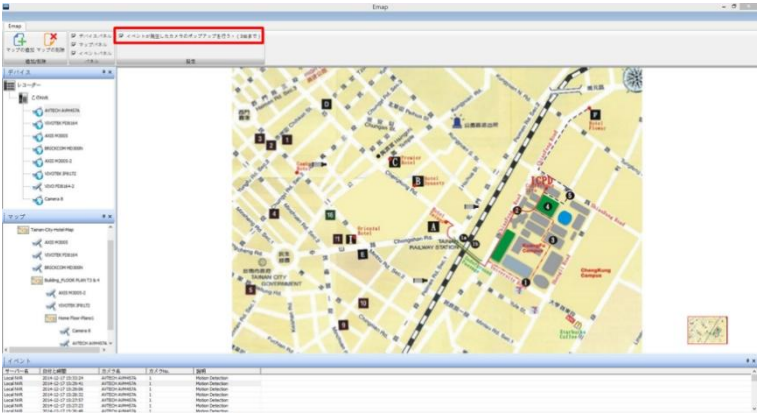


（3）カメラの削除: 右クリックをして「カメラの削除」を選択することでカメラの削除が可能です。



E-map 上でのポップアップ機能

動体検知などのイベント発生時に、別ウインドウにてカメラのライブ映像を表示させることができる機能です。この機能を有効にするには、“イベントが発生したカメラのポップアップを行う”のチェックをONにしてください。



⚠ **注意:**同時にポップアップできるカメラの最大数は４台までです。
ポップアップされたカメラのウインドウを閉じるには、右上の「×」をクリックしてください。

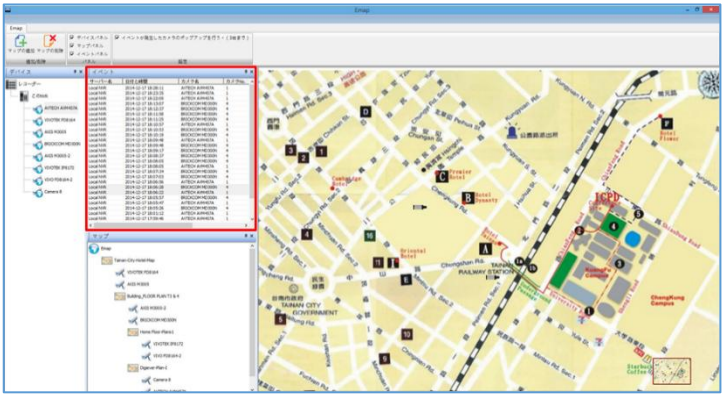


また、対応している PTZ カメラの場合、ポップアップされたウインドウを選択すると、下記のアイコンが画面下に表示されます。
左から、デジタル・ズーム、光学ズーム、ピント調整、オートフォーカスボタン、スナップショット、保存先へのリンク、プリセット、PTZ コントローラーボタンとなります。



イベント（ログ）

イベントの状態を確認することで、イベントの詳細な履歴をより正確に確認することができます。



3.1.8 アラーム画像表示機能

アラーム等が入った際に、モニタリング画面上で、その時点の状況が右ペインに静止画として表示される機能です。



「イベントと動作の管理」にて、イベント設定を行い、モーション検知や、IO が入ると最新の画像が表示されます。※対応カメラのみ

①の矢印をクリックしてアラーム画像表示モードに変更します。

②アラームが発報すると、最新の画像が表示されます。



また、画像にマウスを合わせて右クリックし、

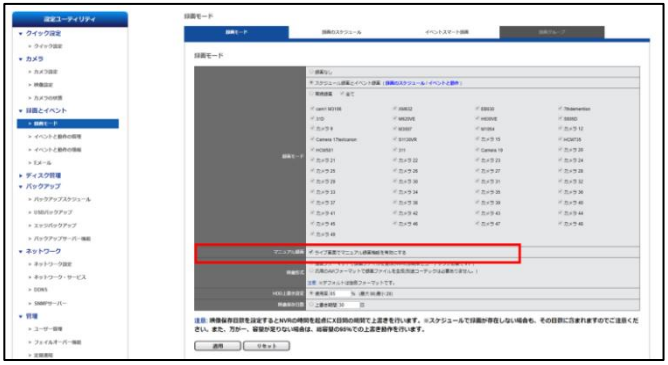
③「スナップショット」を選択すると、画像のスナップショットを PC に保存します。

④「ビデオ・クリップの再生」を選択すると、クリップ設定で設定を行った期間の録画再生が行えます。

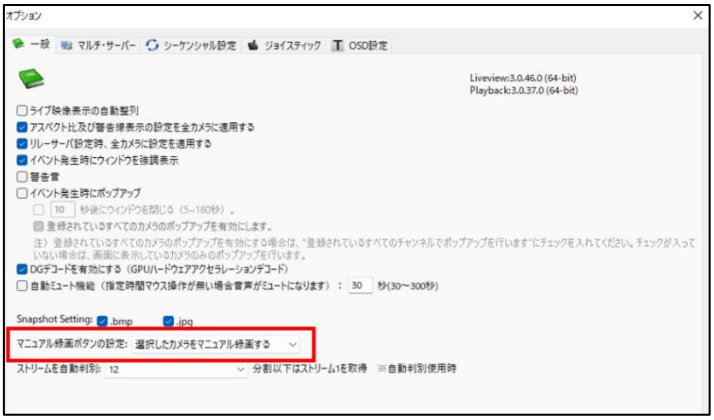
※クリップ動画生成完了までに再生しようとすると、再生できません。

3.1.9 マニュアルー括録画機能

ライブ画面下のマニュアル録画ボタンを押すことで、手動にて、選択したすべての録画を開始、終了することができる機能です。



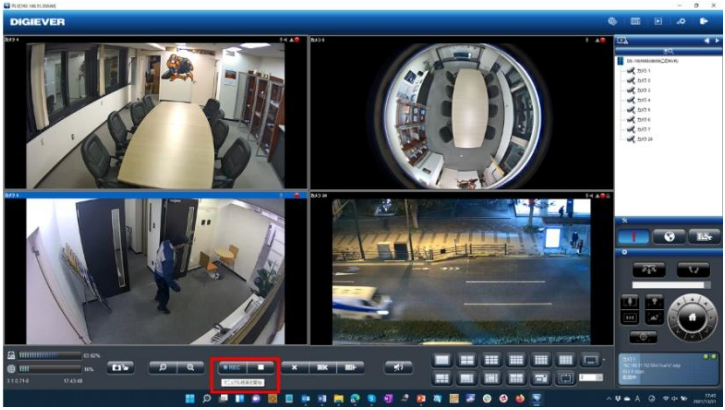
1．「設定」→「録画モード」にて、“ライブ画面でマニュアル録画機能を有効にする”をチェックします。



2．モニタリング画面の「オプション」ボタンをクリックし、「マニュアル録画ボタンの設定」にて

①“選択したカメラをマニュアル録画する”を選択すると、青枠で選択したカメラのマニュアル録画を開始します。

②“すべてのカメラをマニュアル録画する”を選択すると、登録されているすべてのカメラのマニュアル録画を開始します。



3．マニュアル録画ボタンを押すと、マニュアル録画を開始します。
※停止する場合は停止ボタンを押してください。

3.2 録画再生

録画再生画面では、NVR に記録した録画映像を再生できます（※16 台までのカメラの記録映像を同時に再生できます）。



3.2.1 録画再生

録画再生は次の手順で行います。

1. 再生したいカメラをリストから選択します。
2. 再生したい日付と時刻を選択します。
3. 再生したい録画映像のタイプを選択します。
4. 「再生」ボタンをクリックします。

1.カメラの選択

再生を行いたいカメラにチェックを入れてください。



※再生したいカメラにチェックを入れると、タイム・テーブルにそのカメラの名称と録画している時間帯を示すグラフが表示されます。

2.日付と時刻の選択

再生したい日付と時刻を指定してください。選択したカメラが録画を行っている日付が、カレンダー上で青色（通常録画）表示されます。再生する日付をカレンダーで指定し、開始時刻と終了時刻を選択します。



3.録画タイプの選択

通常録画（灰色）、イベント録画（赤色）、ビデオ・クリップ（黄色）、修復ファイル（青色）、重複している時間帯（緑色）、フェイルオーバー設定（青）を選択してください。



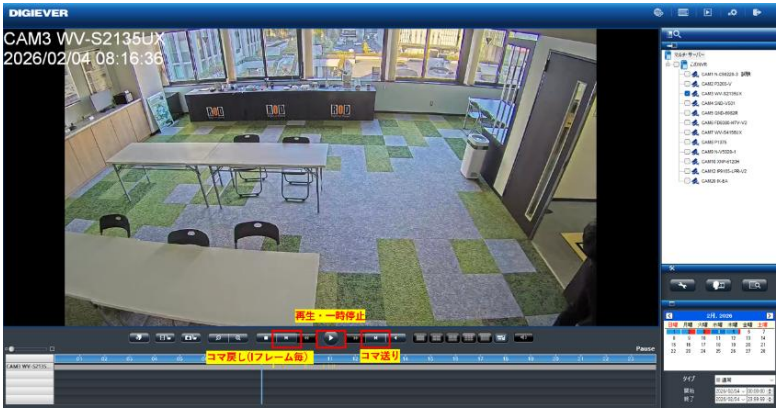
4.「再生」をクリック

「再生」ボタンをクリックして再生を行ってください。

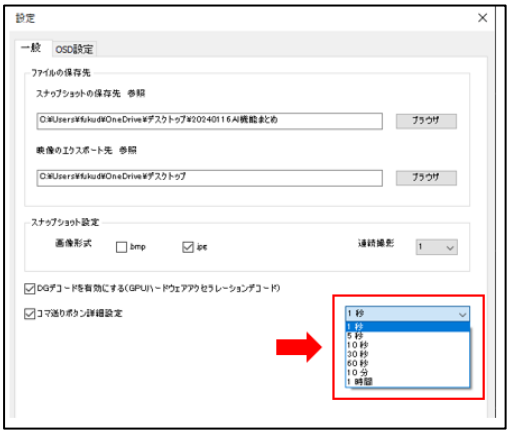
フレーム単位の再生（コマ送り再生）

1.「一時停止」ボタンをクリックします。

2.「1 コマ戻す（前のイメージ）」または「1 コマ進める（次のイメージ）」ボタンをクリックします。



「設定」→「コマ送りボタン詳細設定」のチェックを入れると、1 クリック時の動作を変更できます。



1秒／5秒／10秒／30秒／60秒／10分／1時間の設定変更が可能です。

※LD も同様の設定があります。

●スケール・バー

スケール・バーを操作することでタイム・テーブルの表示を拡大／縮小できます。



●スクロール・バー

スクロール・バーを操作することで、任意の時間の録画映像を再生できます。

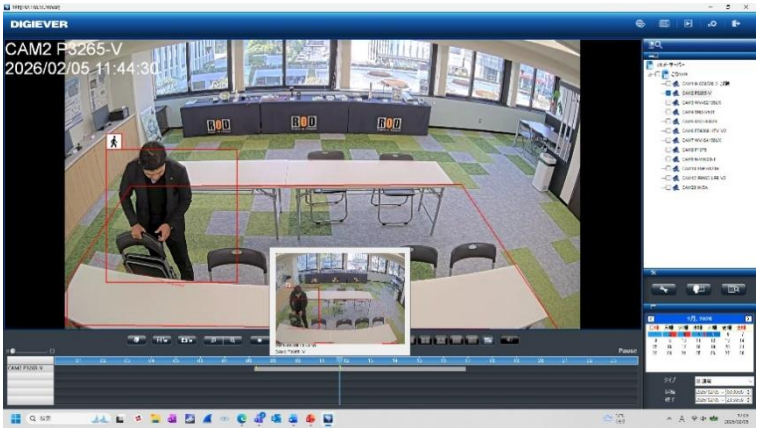
⚠ **注意：**スクロール・バーは再生中のみ使用できます。



●サムネイル機能

グラフにマウス・オーバーすることで、その時間の静止画像が表示されます。

⚠ **注意：この機能は一時停止中のみ使用できます。**



3.2.2 録画再生画面の主な機能



1.表示モード

分割表示を変更する場合は、再生バーの右のアイコンで変更を行ってください。また、各カメラの録画映像の時間は、カメラの左上に表示されます。

2.デジタル・ズームイン / アウト

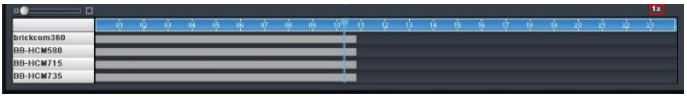
選択したカメラの再生映像を電子ズームすることができます。再生バー左側の虫眼鏡のマークをクリックして使用してください。

3.録画再生時の操作



①一時停止：録画再生を一時的に停止します。
②前のイメージ：１コマ前に戻ります。
③スロー再生：再生速度を落とします。
④再生：録画映像を再生します。
⑤高速再生：倍速再生を行います。
⑥次のイメージ：コマ送りを行います。
⑦逆再生：録画映像を逆再生します。
※再生速度はスクロール・バーの右上に表示されます。

4.消音



「消音」ボタンをクリックすると、音声のミュートを行います。
もう一度ボタンを押すことで、オーディオ再生のオン／オフを切り換えられます。

5.スナップショット

「スナップショット」ボタンをクリックすると、選択しているカメラの静止画像を保存します。
ファイルの保存先は、「設定」→「スナップショットの保存先」で変更してください。



●録画再生時の連続スナップショット

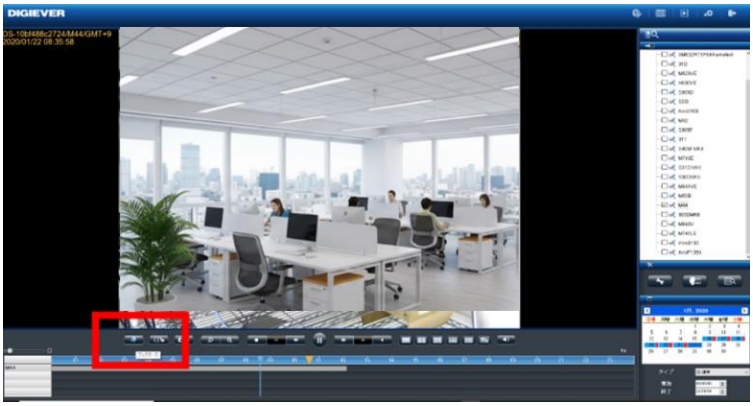
複数のスナップショットを 1 度のクリックで取得できます。
デフォルトは「1」で、画面右の再生設定ボタンより変更可能です。
最大 5 枚の連続静止画像をワンクリックで撮影できます。

●画像形式

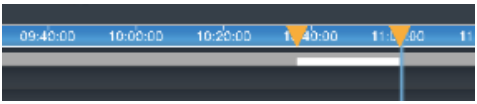
「スナップショット設定」にて、取得する画像形式(「bmp」または「jpg」)を選択できます。

6.ブックマーク

ブックマーク機能を使用すると、検索を行った日時範囲を保存して、あとからでもイベント検索から再生できるようになります。

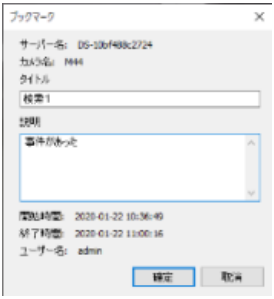


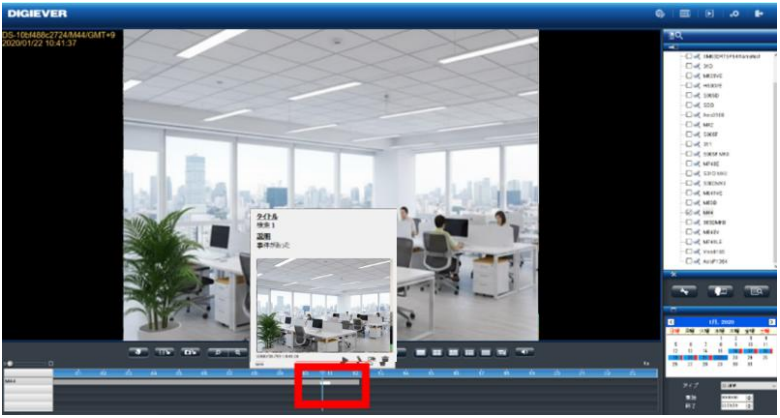
①保存したいカメラを選択し、再生ボタンを押して再生を開始します。
その後、ブックマークボタンをクリックします。



ブックマークボタンをクリックすると、黄色の矢印で始点が表示されます。
その後、再生を行い、終了させたいポイントでもう一度ブックマークを押して終点を決定します。

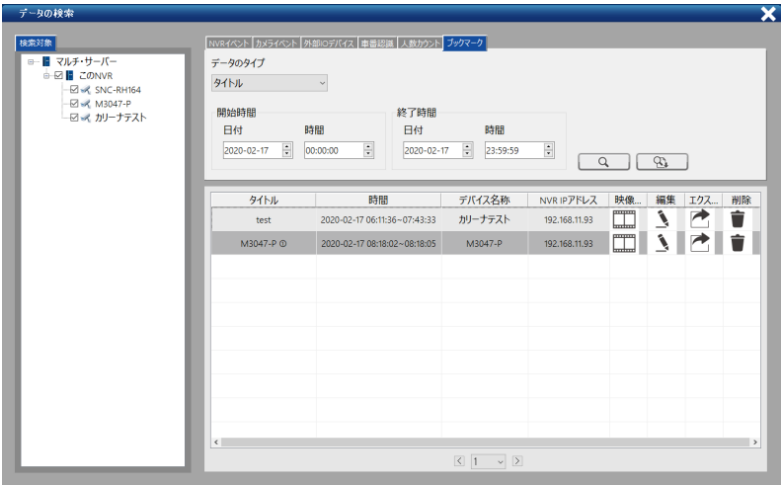
②終点を決定すると右記のダイアログが表示されるので、タイトル、およびその説明を入力してください。





③ブックマークが設定された時刻範囲は、上記のように表示されます。

④ブックマークを検索したい場合は、再生画面より「イベント検索」→「ブックマーク」タブを選択してください。検索結果のリストから、映像の再生、エクスポート等が可能です。



7.全方位カメラの映像補整

カメラを右クリックし、メニューにて全方位カメラを選択すると、補正したカメラの映像を表示できます。



8.OSD の色とサイズの変更

録画映像で表示される OSD（On Screen Display）の設定を変更できます。

1）画面内右下の「設定」→「OSD 設定」をクリックします。



2）表示したいものをチェックし、文字の大きさをドロップダウン・メニューから選択してください。

3）「位置」をクリックすると、表示したい場所を選択できます。

4）「色」をクリックすると、パレットが表示されます。表示したい文字の色を選択してください。

※POS OSD 設定は使用しません。

3.2.3 スマートサーチ・AI 検索

スマートサーチボタンをクリックすると、下記のアイコンが表示されます。



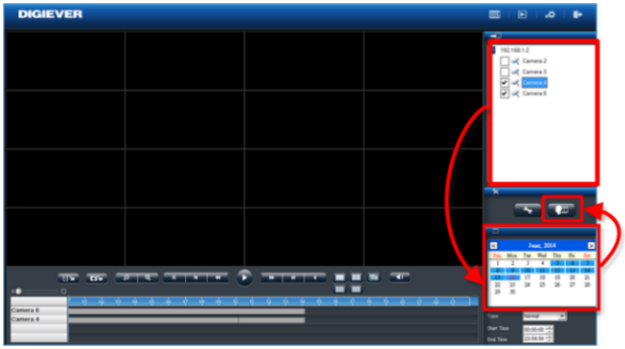
1.スマートサーチ

録画再生映像を元に、**モーションの検知、持ち込み検知、持ち去り検知、いたずら検知、ピンボケ検知**を行えます。

※録画再生を行いながら再度、検索動作を行いますので、PC のスペックや録画データ受信状況により相当な時間がかかることがあります。



リストからカメラを選択し、スマートサーチを行いたい日付を選択→「スマートサーチ」ボタンを押して画面を移行してください。





カメラを選択して、カメラの検知モード、開始時間、終了時間を入力し、「検索」ボタンを押してください。



設定の概要:

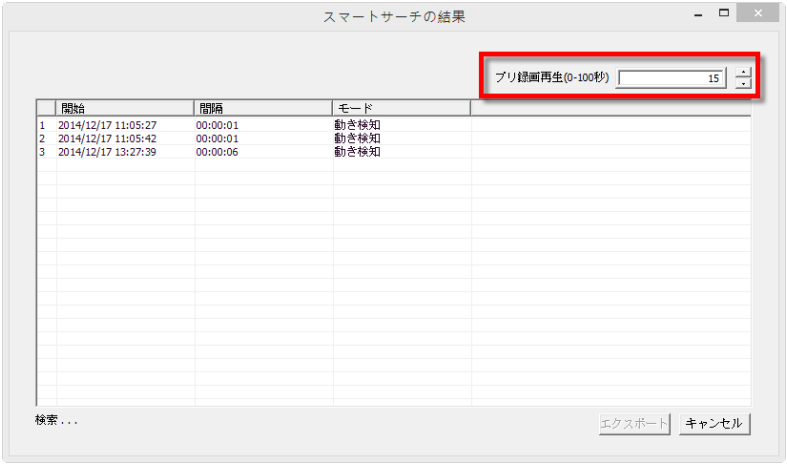
（1）物体の大きさ：検知する物体の大きさ

注意：モーションの検知，持ち込み検知、持ち去り検知には物体の大きさの調整が必要です。

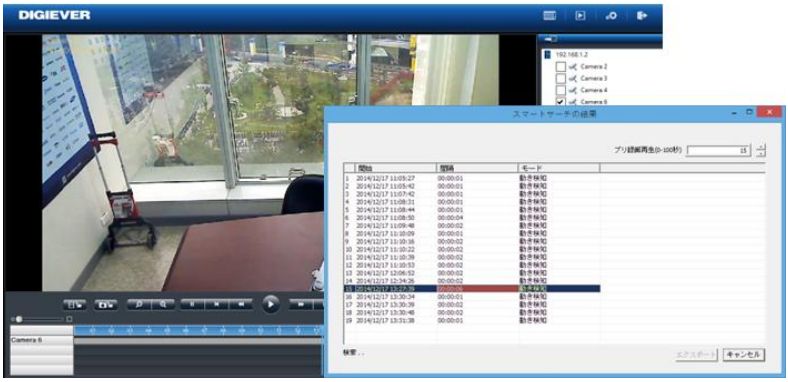
（2）感度：検知する感度

（3）インターバル：その物体が指定した領域に存在する（しない）期間

スマートサーチの結果が表示されます（※録画の再生を行う前にプリ録画再生の秒数の変更をしたい場合、右上の"プリ録画再生"にて 0 秒～100 秒の間で期間の変更を行ってください）。



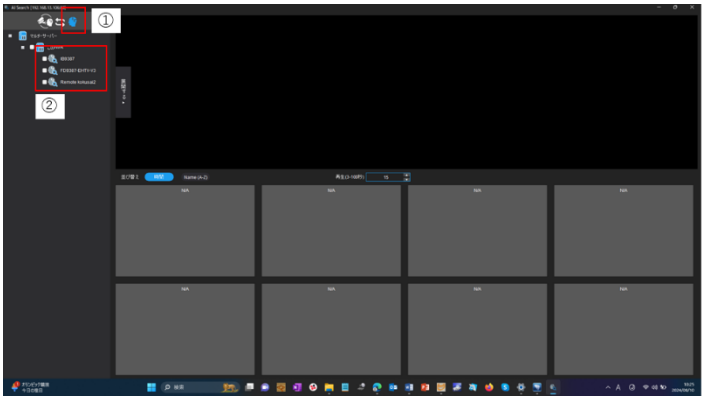
その後、再生を行いたいリストをダブルクリックすることにより再生を行ってください。



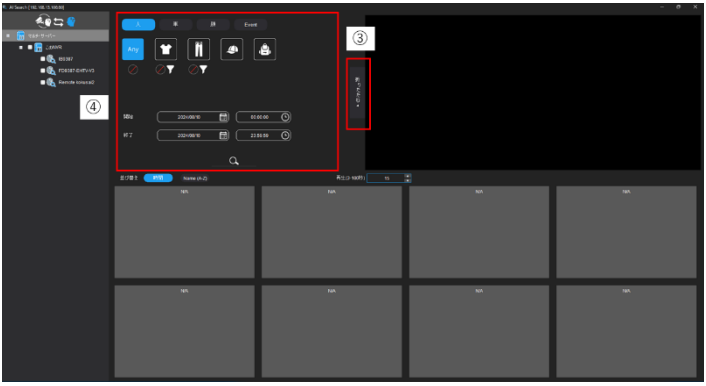
2.AI 検索機能

カメラから送信される AI 解析情報をもとに、検索を行う機能です。
※カメラのメーカーによって使用できる機能に制限があります。詳しくは弊社 AI カメラリストを参照ください。

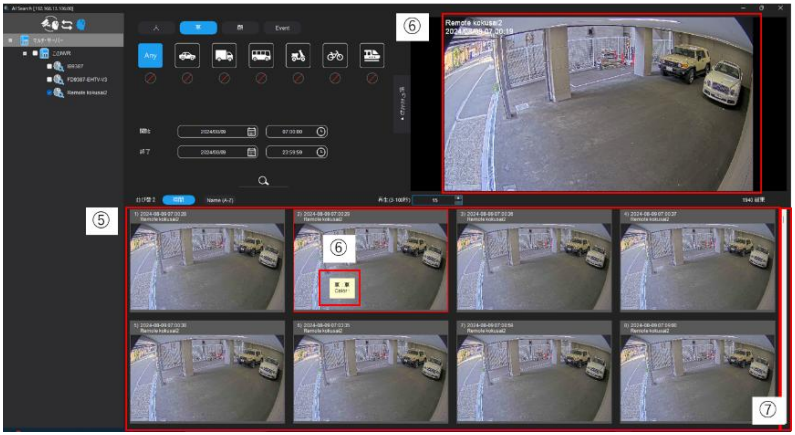
AI 検索をクリックすると、下記の画面が表示されます。
①AI カメラのみを選択、
②表示されるカメラをチェックしてください。



③展開するをクリック、検索画面を表示し、
④検索したい時間帯とオブジェクトを選択し、検索ボタンを押してください。



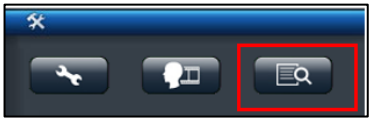
⑤検索ボタンを押すと、
⑥検索結果が表示されます（下画像参照）。
静止画面をクリックすると、右上に再生画面が表示され、カメラ自身が検知した AI 情報が表示されます。
⑦スクロールバー下の矢印をクリックすると、1 ページ分次の画像が表示されます。



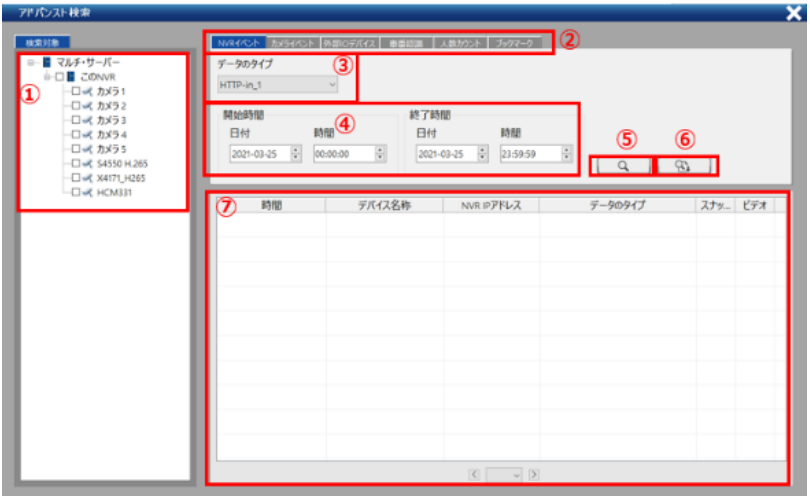
※PC は最大 3 日分、LD は最大 7 日分のデータ検索が可能です。
※表示された画像を選択することで、その選択した録画データの時間の前後の再生を行えます。右上に表示（期間：3 秒～100 秒）まで

3.2.4 アドバンスト検索機能

NVR で設定を行った**イベントをリスト化したものを表示し、検索を行う機能です。**



上記アイコンをクリックすると、イベント検索の画面が表示されます。



①カメラ選択：検索を行いたいカメラにチェックを入れ、カメラを選択してください。
②イベントタブ
③イベントタイプ　※次頁参照
④検索時間の範囲指定
⑤検索ボタン
⑥CSV の切り出しボタン　→検索結果を CSV で表示します。
⑦結果ウインドウ

※イベントのタイプ

NVR イベント

■HTTP-in　■Digital Input

カメライベント

■音声検知　■方向検知　■モーション検知　■侵入検知
■Digital Input

外部 IO デバイス

※開発中

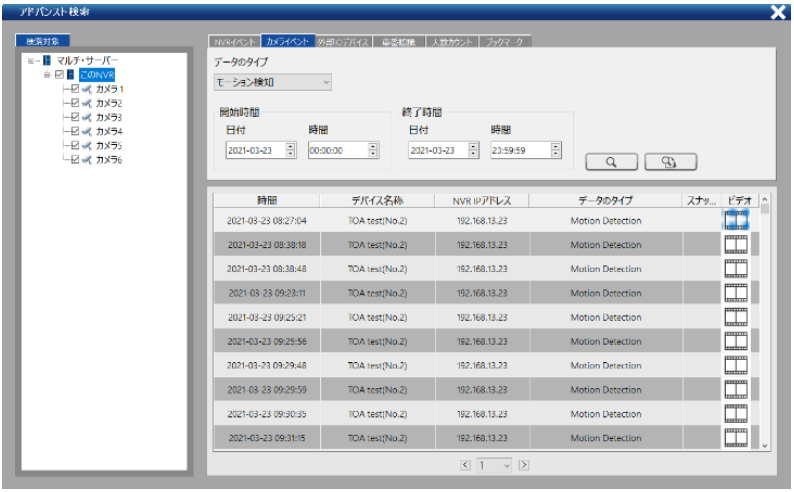
車番認識

※開発中

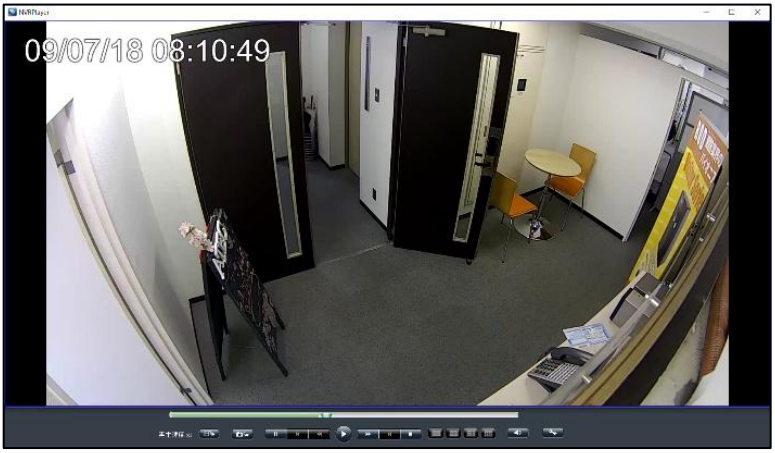
ブックマーク

++++++++++

イベント検索を使用するには、検索を行いたいカメラを選択し、イベント→イベントタイプを選択した後、時間範囲を指定して「検索」ボタンを押してください。検索ボタンを押すと下記のように検索結果が表示されます。

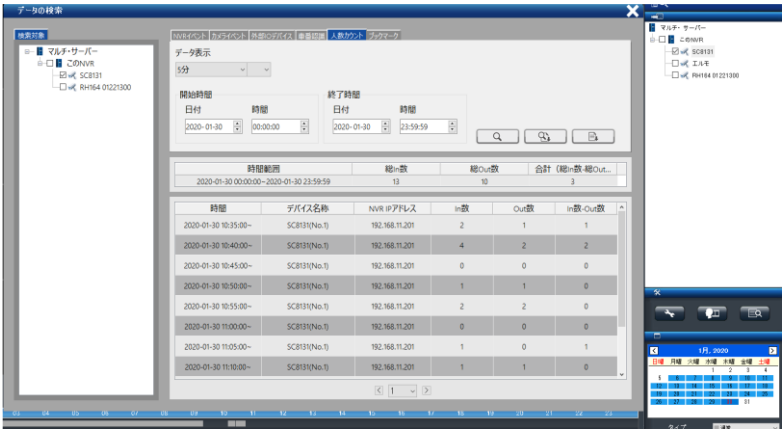


また、ビデオボタンを押すと、別ウインドウで録画再生を行います。



人数カウント

※Vivotek 製 SC8131 を使用すると、範囲時間を指定した統計機能が使用できます。



また、検索結果を CSV としてエクスポートできます。

時間範囲	総In数	総Out数	合計（総In数-総Out数）		
2020-01-30 00:00:00~2020-01-30 23:59:59	13	10	3		
時間	デバイス名称	NVR IPアドレス	In数	Out数	In数-Out数
2020-01-30 10:35:00~	SC8131	192.168.11.201	2	1	1
2020-01-30 10:40:00~	SC8131	192.168.11.201	4	2	2
2020-01-30 10:45:00~	SC8131	192.168.11.201	0	0	0
2020-01-30 10:50:00~	SC8131	192.168.11.201	1	1	0
2020-01-30 10:55:00~	SC8131	192.168.11.201	2	2	0
2020-01-30 11:00:00~	SC8131	192.168.11.201	0	0	0
2020-01-30 11:05:00~	SC8131	192.168.11.201	1	0	1
2020-01-30 11:10:00~	SC8131	192.168.11.201	1	1	0
2020-01-30 11:20:00~	SC8131	192.168.11.201	2	1	1
2020-01-30 11:25:00~	SC8131	192.168.11.201	0	2	-2
2020-01-30 11:30:00~	SC8131	192.168.11.201	0	0	0
2020-01-30 11:35:00~	SC8131	192.168.11.201	0	0	0

温度検知対応カメラ

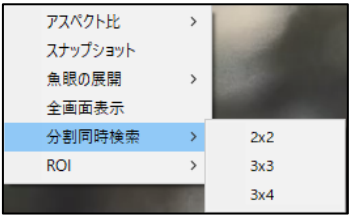
※FLIR: FC-324-R, FC-334-R, FC-632-R, FC-645-R-PAL

再生したい時間のビデオクリップをクリックして選択し、映像の再生を行ってください。

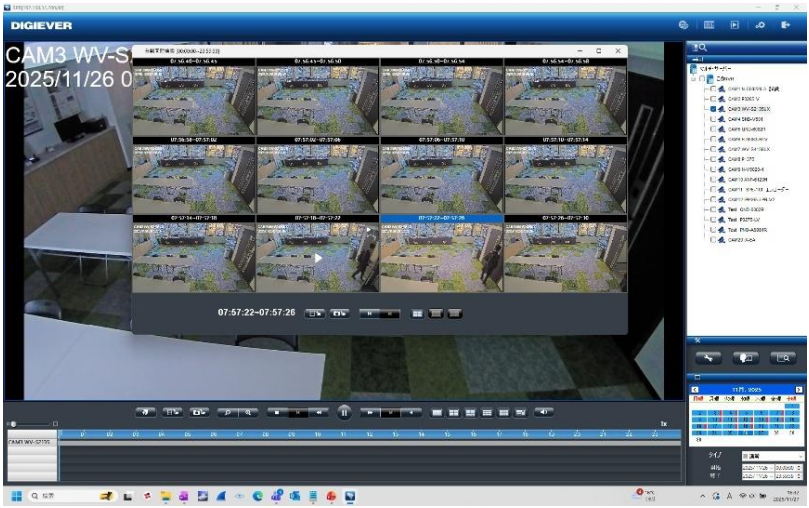
※別ウインドウにて再生画面が表示されます。

3.2.5 同一カメラの分割同時検索機能

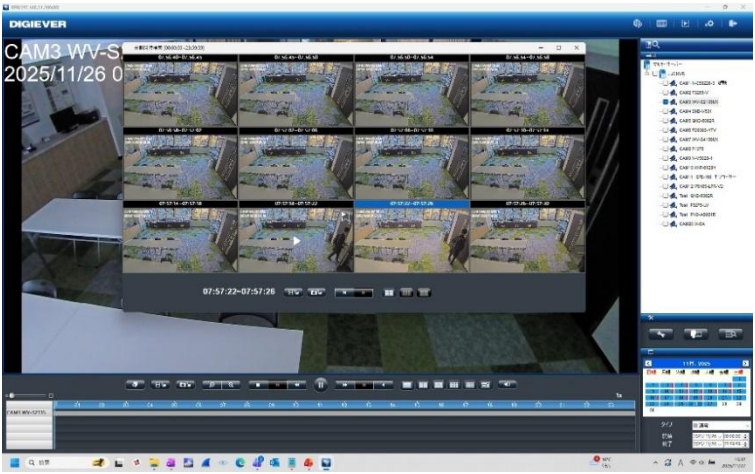
再生時にカメラ上で右クリックすると右記のメニューが表示され、同一カメラの分割同時表示を行うことができます。



まずはじめに、1 日のデータを分割して画像表示します。



その中の 1 つの画面をダブルクリックすると、その時間範囲がさらに x 分割されて録画画像が表示され、絞り込みが可能です。
「戻る」のボタンを押すと、クリック前の状態の画面に戻ります。
また、1 つの画像をクリックし、異なった分割表示を選択、ダブルクリックすると、その選択した範囲を x 分割した画像が表示されます。



画像をクリックして 1 画面を再生することも可能です。
その後、画像の枠を選択し、エクスポートの開始ボタンを押すと、該当する 5 分間のファイルのコピーを行います。

※以下は、ver82 より追加された機能です。
また、 アイコンを押すと下記のようにブックマークアイコンが追加されます。



その後、×ボタンを押してウインドウを閉じ、右リストより閲覧を行いたいカメラを複数台選択してタイムラインバーのブックマークアイコンをクリックすることで、ブックマークした時間からの同時録画再生が行えます。



3.2.6 ファイルのエクスポート

エクスポート機能を用いることで、録画データを NVR から取り出せます。

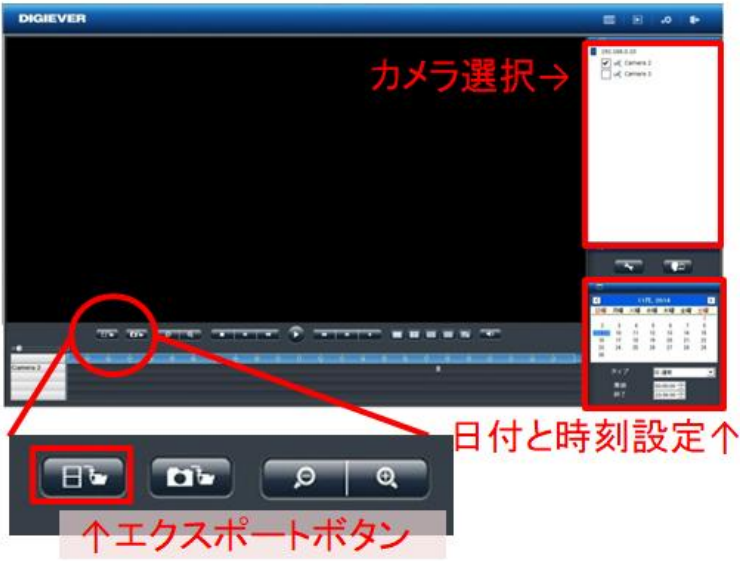
1）映像のエクスポート先の決定

再生画面右下にある「設定」ボタンをクリックして設定ウインドウを表示してください。「映像のエクスポート先」に示されるフォルダに保存されます。

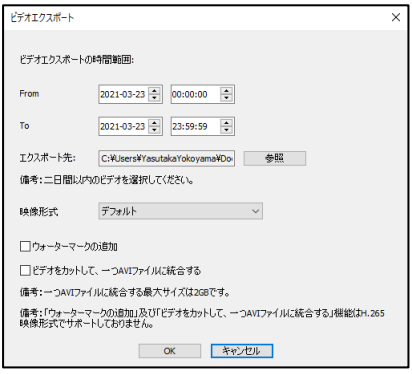


2）録画ファイルのエクスポート

①録画再生と同様にエクスポートしたいカメラをチェック
②カレンダーで日時を選択
③バックアップを行いたい時間を選択
します。
※カメラ台数は最大 16 台まで選択・バックアップ可能です。



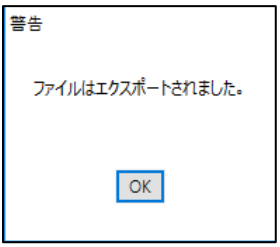
④エクスポートボタンをクリックすると、下記の画面が表示されます。



⑤「OK」を押すと、DIGIPlayer と DIGICheck を録画映像とともにダウンロードするかどうかを確認するウインドウが表示されます。
※再生中にボタンを押した場合、上のような画面は表示されません。（PC の場合）

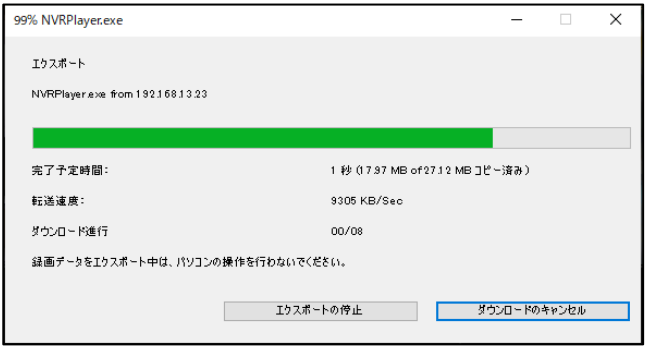
●NVRPlayer は NVR に保存された録画映像を再生するプレイヤーです。
●NVRCheck は、録画映像ファイルが DIGISTOR で作成されたものかどうかを確認するためのツールです。

右記のダイアログが表示されると、ファイルのエクスポートの完了です。



3）エクスポートの停止

データ転送中に「エクスポートの停止」をクリックすることで中止できます。



※通常のバックアップは、指定した区間の 5 分ファイル（生成されたレコーダー内部のファイル）を取得する構造のため、指定された何分秒の範囲のバックアップはできません。

3.2.7 エクスポートしたファイルの再生

1) エクスポートを行うとフォルダが生成され、フォルダにアクセスすると下記のフォルダが確認できます。
（※エクスポート時に NVRPlayer 及び、NVRCheck をダウンロードしてください。）

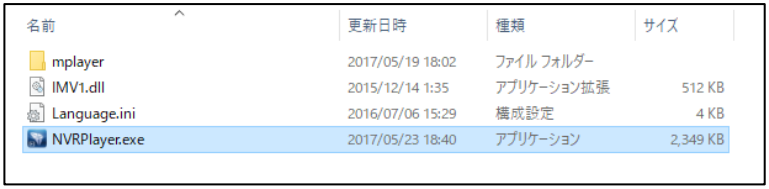


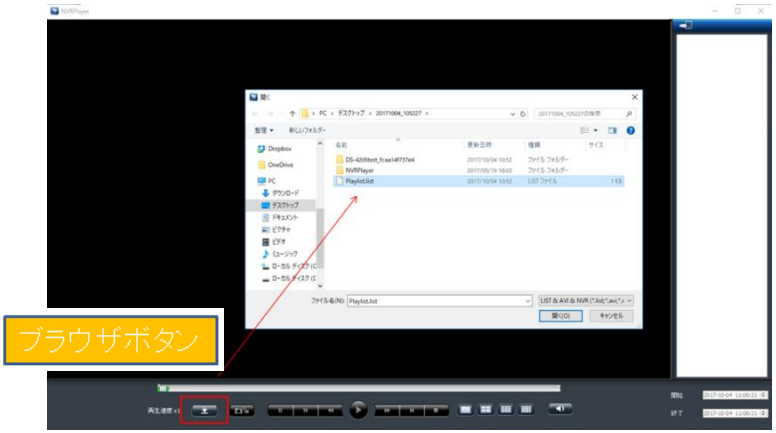
2) NVRPlayer.exe を選択、PC にコピーし、そのフォルダを展開してください。

3) 「.7z」フォルダを展開すると下記のフォルダが現れるので、そのフォルダをクリックしてください。



4) NVRPlayer.exe をクリックして Player を起動してください。





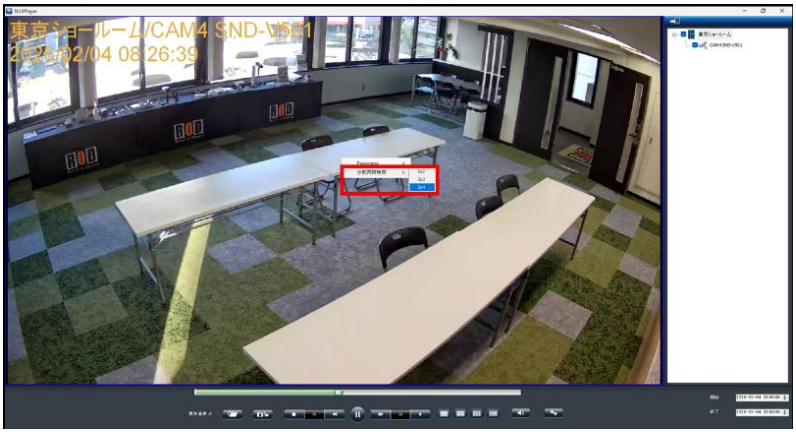
NVRPlayer の起動後、左下のブラウザボタンを押し、ダウンロードしたフォルダ内にある「Playlist.list」を選択してください。

5) 選択すると、エクスポートを行ったカメラが右に表示されます。
再生を行いたいカメラを選択し、再生ボタンをクリックすると録画の再生を行います。
※スナップショットを取得したい場合は、再生ボタン左のスナップショットボタンを押してください。



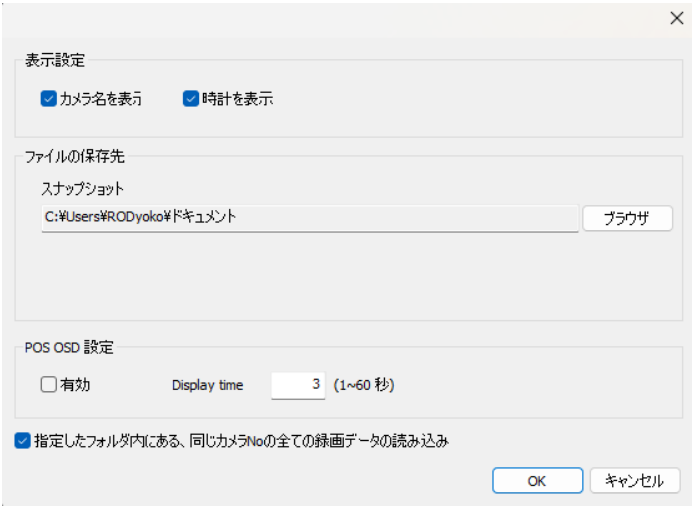
■魚眼の補正機能
カメラをクリックして魚眼カメラの補正を行うことができます。
操作方法は、「3.1.3 オプション」の項目 9 をご確認ください。

■分割同時検索機能
Ver82 より、分割同時検索が NVRPlayer でも可能になりました。
※カメラを右クリックすることで分割同時検索を行うことができます。



操作方法は、「3.2.5 同一カメラの分割同時検索機能」を参照してください。
※ただし、分割同時再生後の再生機能は現在対応しておりません。

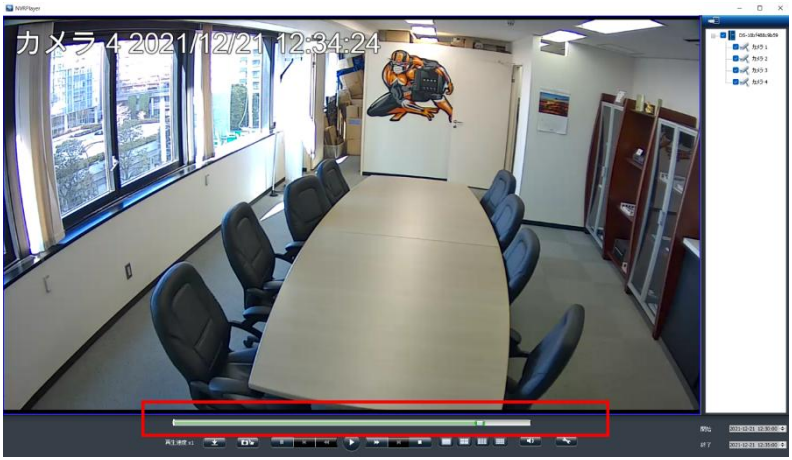
また、表示設定をクリックすると以下の画面が表示され、下記の内容の表示を変更することができます。

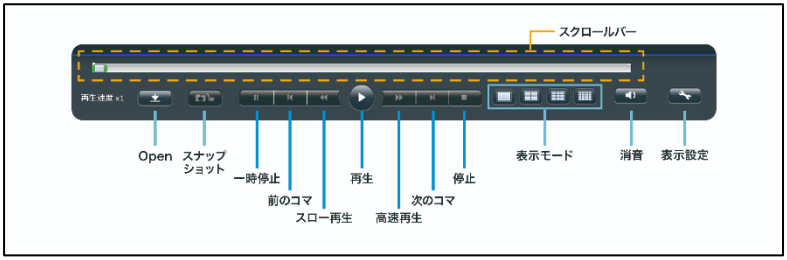


■**カメラ名を表示：**カメラ名の表示・非表示を変更できます。
■**時計を表示：**NVR の時計の表示・非表示を変更できます。
■**ファイルの保存先：**「スナップショットの保存先」を変更できます。
■**POS OSD 設定：**使用しません
■**指定したフォルダ内にある、同じカメラ No の全ての録画データの読み込み：**デフォルトでは、1 カメラファイルを選択すると当日のすべての CH 番号の録画データをソートして表示させる仕様です。その機能が必要ない場合は、このチェックを外してください。

さらに、NVRPlayer の下部にあるタイムバーを動かすことで、選択したファイル内の時間検索を行えます。
※対応している魚眼カメラの展開も可能です（※右クリックでメニューが表示されますので、表示条件を指定して再生を行ってください）。

アイコンの説明





●コマ送り機能

「**一時停止**」ボタンを押し「**次のコマ**」or「**前のコマ**」をクリックすることで、コマ送り／戻しを行います。

●スナップショット

「スナップショット」をクリックすること、で PC にスナップショットを保存します。

Ver.74 より、複数の録画データファイルを選択し、ドラッグ＆ドロップを行うことで、それらの複数ファイルの読み込み、再生ができるようになりました。

3.3 PC による録画フォルダへのアクセス（SMB/FTP）

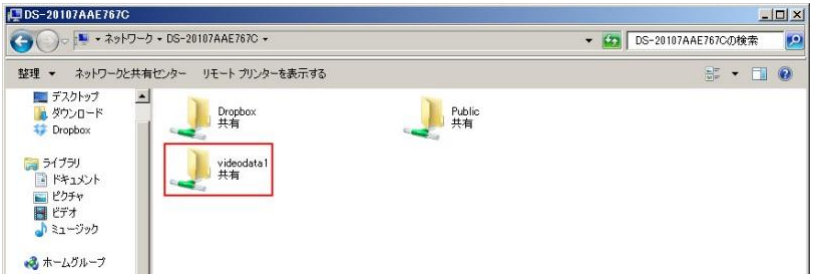
Windows ネットワーク、または FTP サービスを使って映像ファイルにアクセスできます。
注意：使用するサービスは、「ネットワーク共有サービス」ページで有効にしてください。

ファイル共有ページの「リンク」ボタンをクリックすると、ダイアログが開きます。



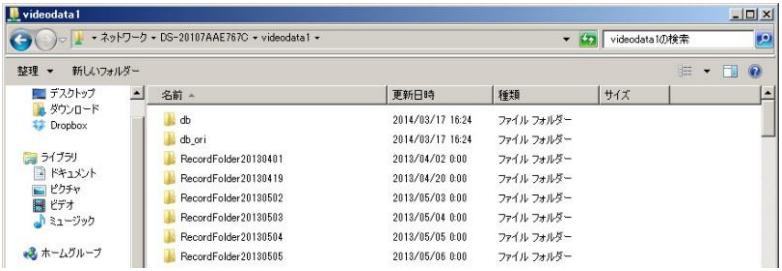
3.3.1 Windows ネットワーク

Windows のエクスプローラーにて、¥¥（IP アドレス）を入力し、直接録画ファイルにアクセスできます。



「videodata1」のフォルダの中に録画映像が保存されています。
クリックすると日付ごとのフォルダが表示され、フォルダ内には「RecordFolder」という名のフォルダが時系列で並んでいます。
録画映像は 5 分ごとのファイルで保存されています。
（※削除はできません）

また、コピーしたファイルは「NVRPlayer」にて再生してください。



※ver75 より SMBv2/v3 に対応

4.0　ローカル・ディスプレイの操作

4.1 NVR へのログイン

NVR にログインを行います。ユーザー名とパスワードを入力してください。



解像度：解像度 1920 x 1080 または 1024 x 768 を選択できます。
※UHD モデルは、3840×2160 まで対応　※HDMI 1 のみ

4.1.1 バーチャル・キーボード

ユーザー名、パスワード入力時は、USB キーボードを NVR の USB に接続するか、バーチャル・キーボードを使用してください。下記の赤枠をクリックすることでバーチャル・キーボードを表示します。



バーチャル・キーボードには小文字、大文字、記号の 3 モードがあります。

4.2 ライブ表示

4.2.1 ライブ表示モードの選択



右上にある 4 つのボタンで、表示モードを切り替えます。

モード	内　容
	ライブ表示： ライブ映像を表示します。
	録画再生： 録画した映像を再生するページを表示します。
	設定： カメラ、録画、イベント、管理、ネットワークなどを設定するページを表示します。
	ログアウト： NVR からログアウトする時にクリックします。

4.2.2 ライブ表示の主な機能



1.カメラの状態

アイコン	内　容
	**カメラ名：** 映像ウインドウ左上にカメラの名称が表示されます。「設定 > カメラ > カメラ設定」で名称を変更できます。
	**オーディオ：** カメラがオーディオ機能をサポートしていると、アイコンが青色で表示されます。サポートしていない時は灰色で表示されます。
	**イベント：** イベントが発生するとアイコンで通知します。
	**録画状態：** カメラが録画中かそうでないかを表示します。
	**青枠：** ウインドウを選択すると枠が青色で強調表示されます。

2.NVR の情報

1）ファームウェア・バージョン

ライブ表示ページに NVR のファームウェア・バージョンが表示されています。

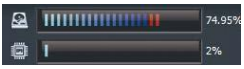


2）ディスク・NVR 負荷率

設定ページへ移動しなくても､ディスクと NVR 負荷率を確認できます。



使用量が 70%以下なら青色で、70%以上になると赤色で表示されます。



解像度や FPS、画質の変更や、RAID を作成中は CPU の使用量が大きくなります。常時 80%以下になるよう、設定に注意してください。

3.基本機能

アイコン	内　容
	**スナップショット：** ライブ映像で選択したカメラの静止画像を撮影します。 「Public > liveview_snapshot」に保存されます。 Windows ネットワークまたは FTP でアクセスして確認してください。 また、オプションで、「スナップショットを外付け USB デバイスに保存します。」を選択すると、USB メモリに直接スナップショットが保存されます。 ※NVR のメニュー内でフォーマットを行ってください。
	**デジタル・ズームイン / アウト：** 選択したカメラのデジタル・ズームを操作します。
	**マニュアル録画開始：** マニュアル録画を開始します。
	**マニュアル録画停止：** マニュアル録画を停止します。
	**表示停止：** 選択したカメラの表示を停止します。

	**全てを表示停止：** 全てのカメラの表示を停止します。
	**全てを表示：** 全てのカメラのライブ映像を表示します。
	**消音：** カメラのオーディオ・ボリュームをゼロにします。
	**日付と時間：** 現在の日付と時間を表示します。

4.表示モード

表示レイアウトを変更できます。アイコンをクリックしてください。選択中のレイアウトはアイコンが青色で表示されます。

アイコン	内　容
	全画面表示
	シングル表示
	4 分割表示
	9 分割表示
	12 分割表示
	16 分割表示

	20 分割表示
	1×2/2×1/3×1/3×2/5×1/5×5/6×5/6×6/7×6/7×7/8×4/ 8×7/8×8 分割表示
	5+1 分割表示
	8 分割表示
	12+1 分割表示
	8+2 分割表示
	シーケンシャル・モード。特定ページを表示したい時はドロップダウン・メニューから選択してください。

※表示分割は 64ch まで可能ですが、1 カメラあたりの大きさを考慮すると最大 16 分割程度までの閲覧をお勧めします。

5.PTZ 制御

PTZ 機能を持つカメラは、ライブ表示ページでその操作を行えます。
以下はその制御アイコンです。ただし、カメラの機種によって対応していない機能もあります。

アイコン	内　容
	**PTZ 操作：** 選択したカメラのパン、チルト、ズーム操作を行えます。クリックした矢印の方向にカメラが向きを変えます。 中央の「家（ホーム）」ボタンをクリックすると、ホーム・ポジションに戻ります。
	**プリセット・ポジション：** カメラにプリセット・ポジションを登録していたら、その位置情報に基づいてカメラの向きを換えます。
	**光学ズームイン / アウト：** 選択したカメラのズームイン / アウトを制御します。
	**フォーカスの調整：** カメラが PTZ 機能をサポートしている場合、マニュアルでフォーカスの調整が可能です。 ※また、対応しているカメラではオートフォーカス機能が使用できます。
	**PTZ プリセット登録** ※使用できません。
	**スケジュール PTZ（巡回モード）：** 巡回するプリセット・ポジションを「セット」で選択します。巡回回数及びプリセット・ポジション間の移動間隔を設定してください。また、ver81 よりスケジュール PTZ で時間グループの設定ができるようになりました。
	**スケジュール PTZ（巡回モード）：** 「Go」をクリックすると巡回が始まります。

6.イベント・ログ

「イベントと動作の管理」の設定を使用している時、検知するとアイコンが点滅します。アイコンをクリックするとログ・ウインドウがポップアップします。



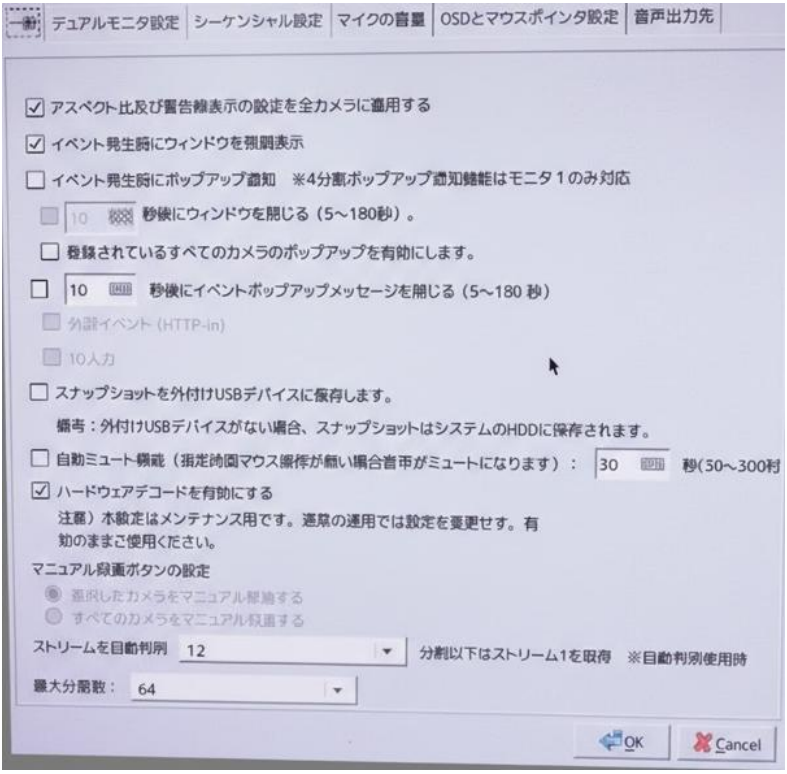
ログのエクスポートをクリックすると、ログを一括で取得できます。

※USB メモリを差し込み、ボタンを押すと、保存先を指定してログファイルの保存が可能です。

また、インスタント再生アイコンをクリックすると、クリップ映像の再生が可能です（※イベント時）。

4.2.3 映像設定

警告設定やウインドウ設定、シーケンシャル・モード設定など、ライブ表示全般の設定を行います。



1）一般設定

●アスペクト比及び警告線表示の設定を全カメラに適用する。

映像ウインドウ上での右クリック→アスペクト比→「オリジナルのサイズ」または「ウインドウのサイズ」をすべて一括で切り替えます。

●イベント発生時にウインドウを強調表示

モーション検知など、カメラがイベントを検知するとウインドウが強調表示されます。

※映像ウインドウをクリックすると強調表示は終了します。

●イベント発生時にポップアップ通知

ポップアップの設定を有効にすると、イベントが発生したカメラのポップアップを行います。複数同時にイベントが発生すると 4 分割表示になりカメラを割り当てます。※ver70-3.1～
※対応していないカメラもあります。



普通



イベントが発生する

ポップアップのウインドウをクリックすることで、手動でポップアップを閉じます。

自動でポップアップを閉じる場合は、「設定」内で設定を行ってください（デフォルトは 10 秒です）。
※ver.82 より外部イベント(HTTP-in)や、IO 入力のイベントメッセージも自動で閉じる設定が追加されました。

"登録されているすべてのカメラのポップアップを有効にします"
を選択した場合、すべてのカメラでポップアップ動作を行います（チェックを行わない場合は、表示されているカメラのみポップアップを行います）。



普通



登録されているすべてのカメラのポップアップ

注意: 同時にイベントが発生した場合、最新のカメラのイベントがポップアップとして表示されます。

●スナップショットを外付け USB デバイスに保存します

スナップショット画像を外付け USB に保存します。

※通常、モニタリング画面のスナップショットは本体に保存されます。

●自動ミュート機能

※指定時間経過後、マウス操作がない場合、音声がミュートします。

※30-300 秒

●ハードウェアデコードを有効にする

※メンテナンス用の機能です、通常時はチェックを入れた状態で使用してください。

●マニュアル録画ボタンの設定

マニュアル録画を使用する場合に、

①選択したカメラのみ

②すべてのカメラ

のマニュアル録画を行うか選択してください。

●ストリームを自動判別

「12/10/9/8/6/5/4/3/2/1/ライブ映像をストリーム 2 で表示」分割以下の場合に、ストリーム 1 を取得して表示する設定です。

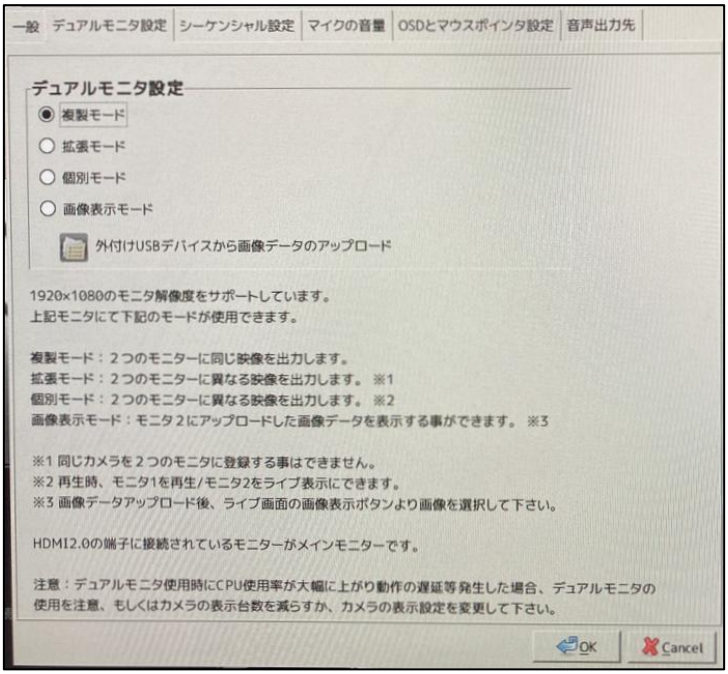
※自動判別使用時の表示設定です。

●最大分割数

1/2/3/4/5/6/8/9/10/12/13/16/20/25/30/32/36/42/49/56/64 分割までのボタンの制限をかける設定です。

設定を行うと、それ以上のものはグレーアウトして表示されます。

※録画再生画面でも 1/4/5/9/16 分割までの表示制限をかける必要がある場合は、個別で行う必要があります。



2）デュアルモニタ設定

●複製モード

※2 つのモニターに同じ映像を出力します。

●拡張モード

※2 つのモニターに異なる映像を出力します。

※同じカメラを 2 つのモニターに出力できません。

●個別モード

※2 つのモニターに異なる映像を出力します。

※同じカメラを 2 つのモニターに出力できます。

※再生時にモニター 1 を再生／モニター2 をライブ表示にできます。

※表示できるカメラ台数は最大 64 台です。

※負荷率が 70%を超えないようにしてください。

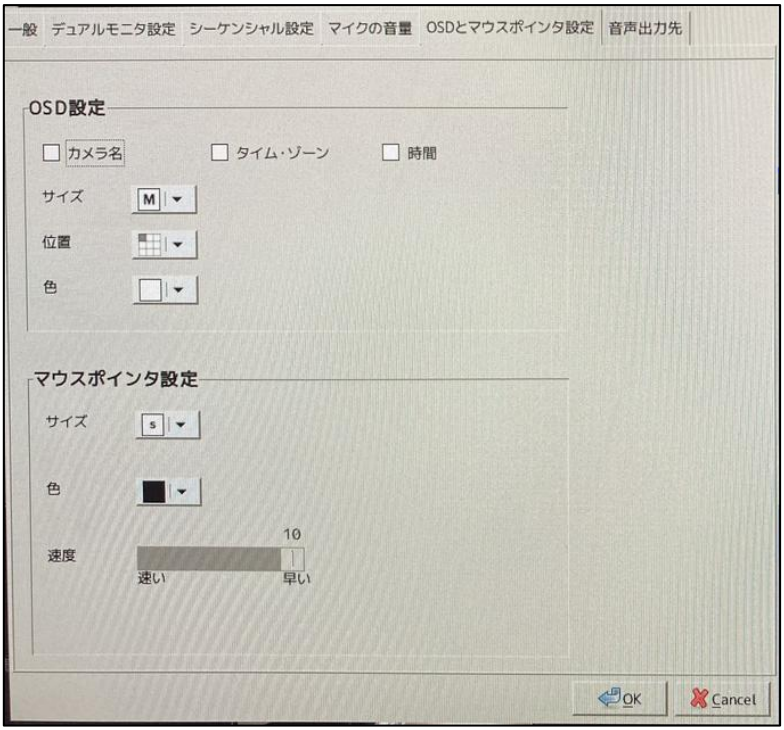
●画像表示モード

※モニター2 にアップロードした画像データを表示することができます。

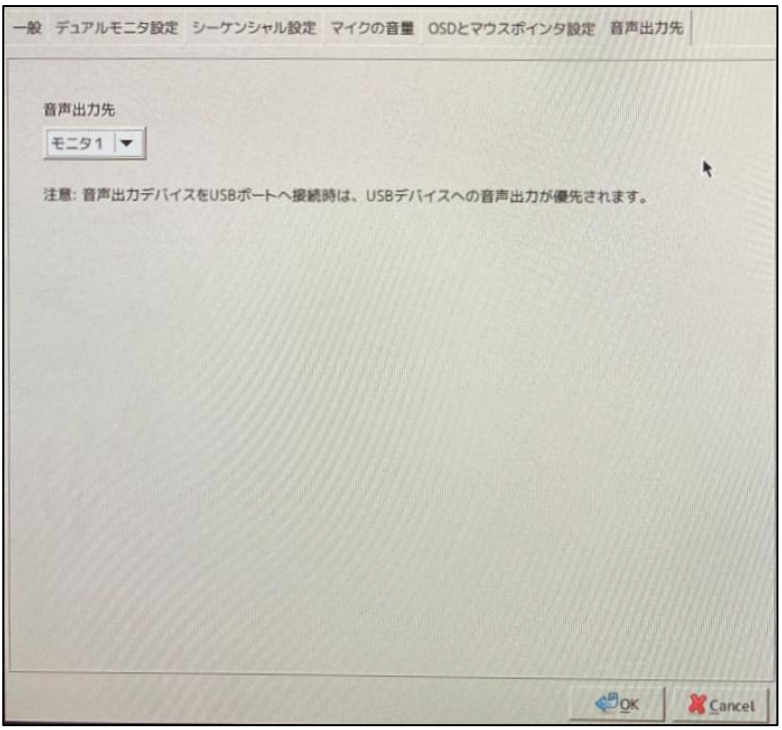
※1024×768 の解像度には対応しておりません。

3）シーケンシャル・モード設定
ページの切換間隔（秒単位）を設定します。

4）マイクの音量
本体に接続したマイクの音量を調整できます。



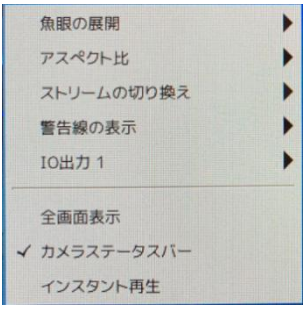
5）OSD とマウスポインタ設定
OSD 設定が可能です。
表示したい名称をチェックし、文字サイズ、表示位置、色を選択してください。
マウスポインタ設定では、マウスの大きさ(大・中・小)、色(白・黒)、速度（10 段階）の設定が可能です。



6）音声出力先

HDMI を使用したモニターを 2 台接続した際に使用する機能です。
音声の出力先を「モニタ 1」、「モニター 2」いずれか選択ができます。

4.2.4 オプション（映像ウインドウ上の右クリック）



1.魚眼の展開モード（panomorph）: 全方位カメラの映像を補整する際に使用できます。

（1）全方位カメラの補整

カメラを選択して右クリックし、メニューにて Panomorph を選択して、補正を行いたい表示モードの変更を行ってください。

2.アスペクト比 : 原寸サイズ、または最大サイズ（ウインドウに合わせる）を切り替え表示できます。

3.ストリームの切り換え : 表示しているストリーミングの切り替えを行います。

※マルチ・ストリームに対応するカメラであれば、二つの映像ストリームを取得できます。通常、ストリーム 1 は高画質（録画用）、ストリーム 2 は低画質（小サイズのウインドウ表示用）に使用します。



「ストリームを自動判別」が有効の場合、選択中のレイアウトに合わせて自動的に最適のストリームが選択され、表示されます。
※ストリームをサーバーから配信の場合は、NVR 経由でストリームを配信します。

4.警告線の表示：警告線が設定されているカメラにて警告線の表示／非表示の選択ができます。※対応カメラのみ

5.カメラ IO 出力機能：ボタンを押すと「カメラ IO」の出力：ON・OFF の制御ができます。※対応カメラのみ

6.全画面表示：全画面表示を終了します。

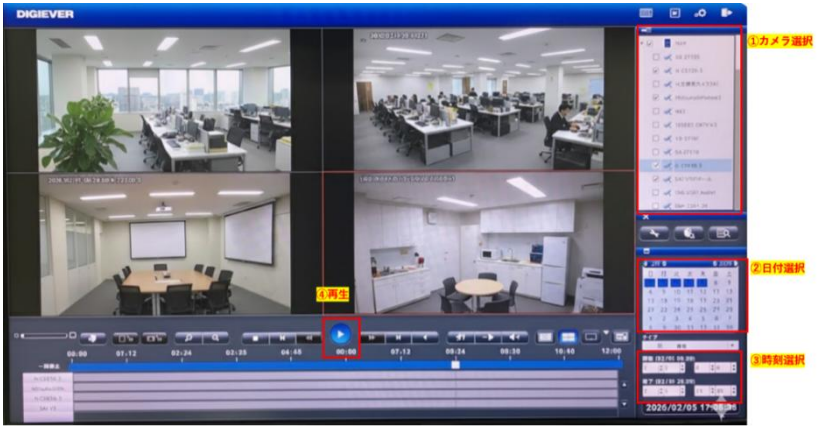
7.カメラステータスバー：カメラ情報などのステータスの表示／非表示の切り替えができます。

8.インスタント再生：選択した 1 台のカメラの即時再生を行います。

4.3 録画再生

録画再生画面に移行すると、NVR に記録した録画映像を再生できます。
※16 台までのカメラの記録映像を同時に再生できます。
※カメラの台数や解像度、コマ数設定によっては、うまく再生できないことがあります。その際は、再生分割数を下げて再生を行ってください。

4.3.1 録画再生



録画再生は次の手順で行います。
1.再生したいカメラをリストから選択します。
2.再生したい日付と時刻を選択します。
3.再生したい録画映像のタイプを選択します。
4.「再生」ボタンをクリックします。

1.カメラの選択

16 台以下のカメラを選択して再生できます。



2.録画タイプの選択

再生したい日付と時刻を指定してください。
選択したカメラが録画を行っている日付がカレンダー上で青色（通常録画）表示されます。
再生する日付をカレンダーで指定し、開始時刻と終了時刻を選択します。

3.録画タイプの選択

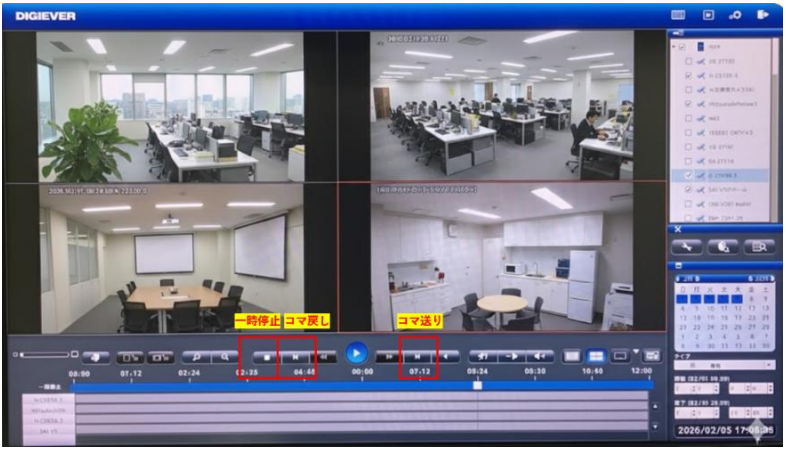
録画のタイプには、通常録画（灰色）、イベント録画（赤色）、ビデオ・クリップ（黄色）、修復されたファイル（青色）、重複している時間帯（緑色）があります。選択した録画のタイプによって日付の色が変化します。

4.「再生」をクリック

「再生」ボタンをクリックすると再生が始まります。

フレーム単位の再生（コマ送り再生）

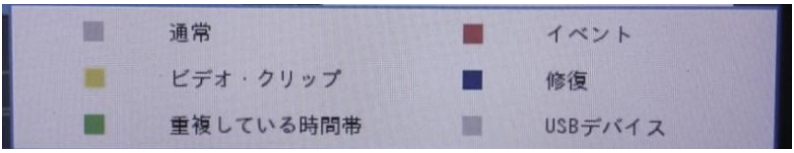
1.上記 4 つの手順に従います。
2.「一時停止」ボタンをクリックします。



3.「1 コマ戻す（前のイメージ）」または「1 コマ進める（次のイメージ）」ボタンをクリックします。

録画タイプの選択:

イベント録画等で録画されたデータを再生するには、通常録画（グレー）、イベント（赤）、ビデオ・クリップ（黄）、修復ファイル（青）、重複している時間帯（緑）、USB デバイス（グレー）を選択した上で検索を行います。検索上の録画データの色帯に関しても上記の色により種別されます。



＝録画タイプ＝

1）通常録画（グレー）：

通常録画：常時録画やスケジュール等で設定を行い、録画を行ったファイル。（※イベント、重複した時間帯等以外の録画ファイル）

2）イベント（赤）：

イベントファイル動体検知などのイベントが発生した際の録画ファイル。（※詳細は **5.2.7 イベントと動作の管理を参照**）

3）ビデオ・クリップ（黄）：

ビデオ・クリップ：設定>イベントと動作の管理>詳細設定内で設定されたビデオ・クリップファイル。

4）修復（ブルー）：

修復ファイル：不意に NVR の電源が落ちた場合など、バッファされているできる限りのデータを保全し、修復を行ったファイルです。（※電源が落ちている間の録画データは修復できません）

5）重複している時間帯（緑）：

重複している時間帯：録画時間の変更を行った際に重複される時間の録画データを表示します。

6）USB デバイス（グレー）：

バックアップを行った録画ファイルをチェック用に確認できます。クリックするとフォルダが表示され、フォルダ内（playlist.list）をクリックすることでバックアップファイルを再生できます。

4.3.2 録画再生の主な機能



1.表示モード

再生バー右の表示モードアイコンにて分割画面の変更が行えます。
また各カメラの録画映像の時間は、カメラの左上に表示されています。

2.デジタル・ズームイン／アウト

選択したカメラの映像を拡大／縮小する際に使用します。元のサイズに戻す時はデジタル・ズームアウトを使用してください。

3.録画再生時の操作



①停止：録画再生を停止します。
②前のイメージ：１コマ前に戻ります。
③スロー再生：再生速度を落とします。
④再生と一時停止：録画映像を再生します。もう一度押すと録画再生を一時停止します。

⑤高速再生：再生速度を上げます。
⑥次のイメージ：１コマ先に進めます。
⑦逆再生：録画映像を逆再生します。
再生速度はスクロール・バーの左に表示されています。



4.スケール・バー

スケール・バーを操作することで、タイム・テーブルの表示を拡大／縮小できます。



5.スクロール・バー

スクロール・バーを操作することで、任意の時間の録画映像を再生できます。

注意：スクロール・バーは再生中のみ有効になります。



4.3.3 音声の再生

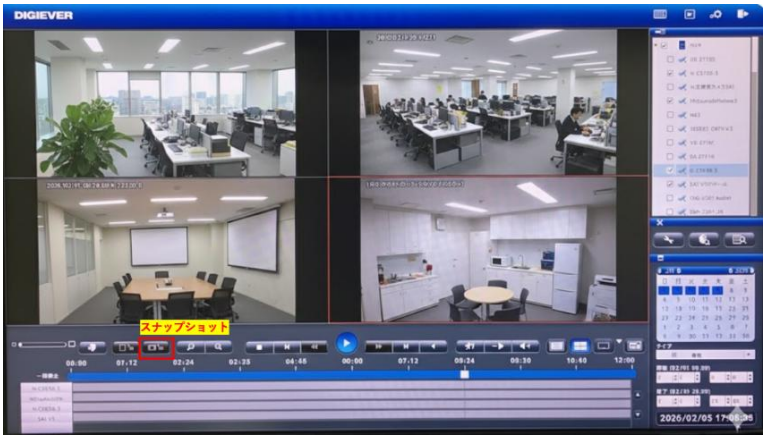
選択中のカメラの音声を再生できます。
※映像と音声が同期しない場合がございます。



アイコン	内　容
	**消音：** 再生中の録画映像の音声をミュートします。 再度クリックすると音声を ON にします。
	**音量ダウン：** 再生中の記録映像の音声ボリュームを下げます。
	**音量アップ：** 再生中の記録映像の音声ボリュームを上げます。

4.3.4 スナップショット

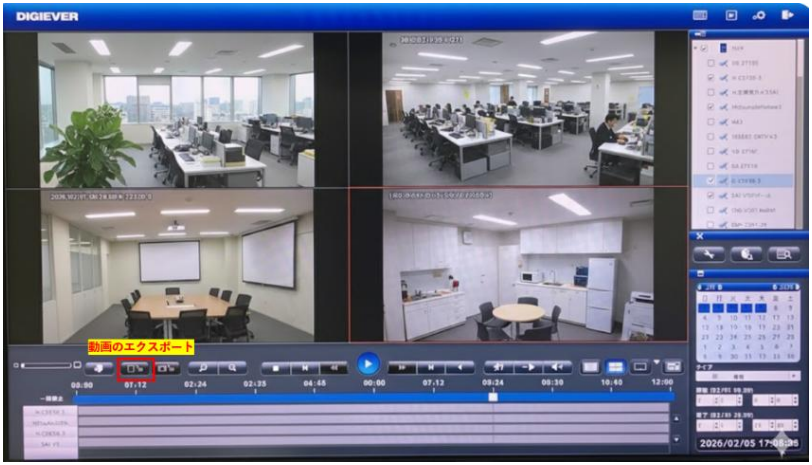
ローカル・ディスプレイでの**再生中**にもスナップショットを撮影できます。
USB の保存メディアを NVR の USB ポートに接続してください。



「スナップショット」ボタンをクリックすると静止画像が保存されます。
※USB メモリを差し込むと、「スナップショット」ボタンが使用可能になります。
※USB メモリは設定メニュー内で、NTFS フォーマットしてください。

4.3.5 録画映像のエクスポート

録画映像のエクスポートは USB デバイス（フラッシュメモリ）、USB-DVD（※推奨品）等を使用してバックアップが可能です。



カメラ、日付、時間を選択し、エクスポートボタンを押してください。

エクスポートボタンを押すと、右記の画面が表示されます。
エクスポートを行いたい日付と時間を選択してください。



※[Download NVRPlayer & NVRCheck]の項目に☑を入れることで、再生プレイヤー等も同時にダウンロードします。
※パスワード保護の設定を入れている場合は、ここでパスワードを入力する画面が表示されます。

“録画映像をエクスポートしました“というダイアログが表示されると、エクスポート完了です。

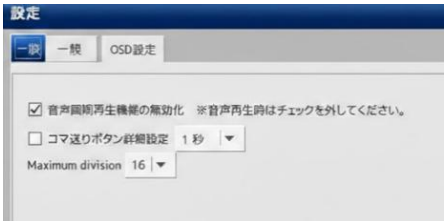
※エクスポートファイルの再生方法は、3.2.7「エクスポートしたファイルの再生」をご参照ください。
※USB デバイスのフォーマットは「メニュー」より「設定ユーティリティ」→「USB バックアップ」にて行ってください。
※USB を差し込むとそのアイコンがハイライトされ、コピーできるようになります。
※想定容量をクリックすると USB メモリとコピー容量を確認できます。
「OK」をクリックすると、エクスポートが開始されます。
※パスワード保護の設定を行っている場合は、ここでパスワードを入力する画面が表示されます。
※NVRPlayer は、録画再生を行うための再生専用プログラムです。
※NVRCheck は、録画ファイルの改ざんをチェックするチェックツールです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

4.3.6 ブックマーク機能

ブックマークを使用すると、検索を行った日時範囲を保存して、あとからイベント検索より再生が行えます。
※P92 参照

4.3.7 モニター設定



●音声同期再生機能の無効化

分割再生時の同期再生機能を無効にし、映像と音声のずれを調整・軽減する機能です。

●コマ送りボタン詳細設定

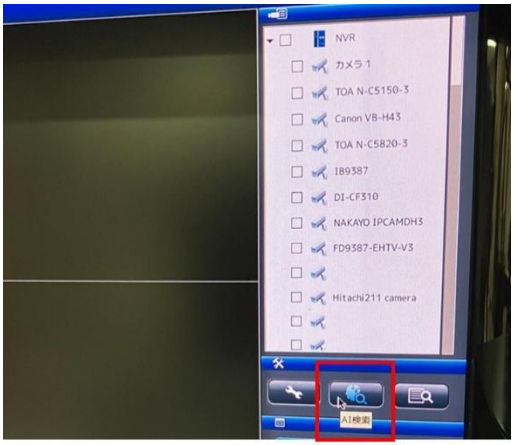
「設定」→「コマ送りボタン詳細設定」のチェックを入れると、1 クリック時の動作を変更できます。
1秒／5秒／10秒／30秒／60秒／10分／1時間の設定変更が可能です。

●使用分割数変更設定(Maximum Division)

録画再生時に使用できる分割数の表示を変更できる機能です。
1/4/5/9/16 分割の設定が可能です。
※使用できない分割数はグレーアウトします。

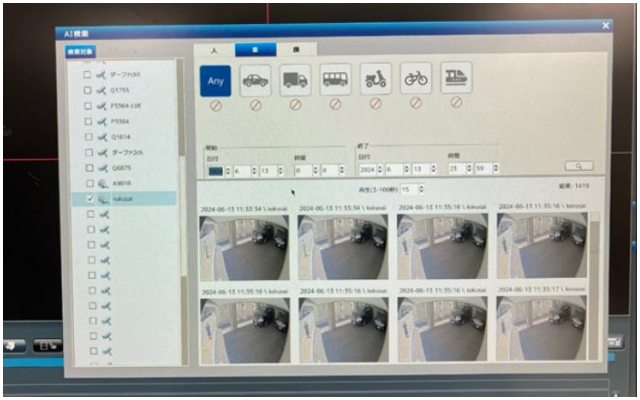
4.3.8 AI 検索機能

カメラから送信される AI 解析情報をもとに検索を行う機能です。
録画再生画面にて「AI 検索」ボタンを押し、AI 検索の画面に移行してください。



検索を行いたいカメラを選択し、検索を行ってください。
※対応カメラのみでの機能となります。対応しているネットワークカメラ、
　及び対応オブジェクトは弊社カメラリストをご覧ください。

対応カメラ、オブジェクトを選択し、検索ボタンを押すと、下記のような画面が表示されます。

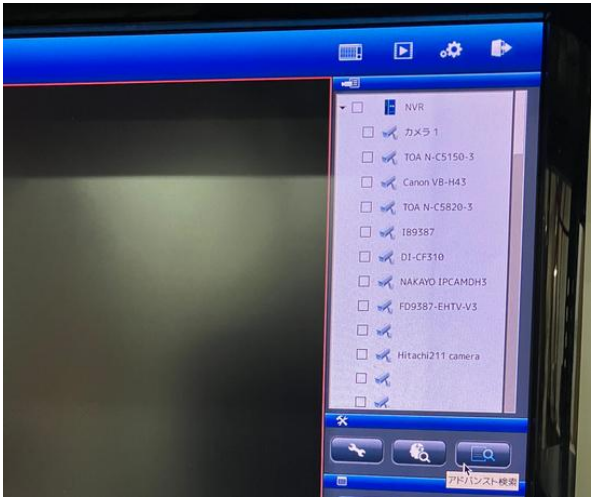


検索を行いたい画像を選択すると、録画再生を行います。



4.3.9 アドバンスド検索機能

録画再生画面で下記のボタンをクリックすると、アドバンスド検索機能に移行します。

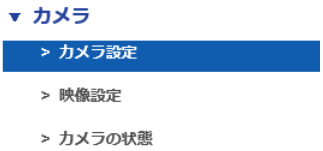


内容の詳細は、チャプター3.2.4 を参照ください。

5.0 設定

注意：設定ページを表示してから待機時間が 10 分を経過すると、セキュリティのために自動的にログアウトします。

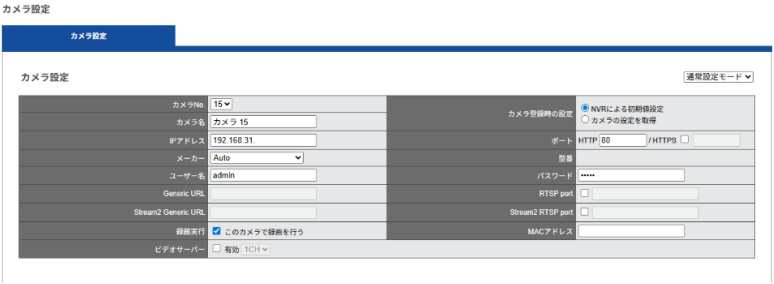
5.1 カメラ設定



5.1.1 カメラ設定

手動または UPnP／Onvif 検索でカメラを NVR に登録します。

1.カメラ設定



2.手動設定

手動で IP アドレスを入力し、メーカー名を選択します。その後、「適用」をクリックしてカメラを登録してください。
※HTTPS は開発中の機能です。

カメラ名（任意）、ユーザー名、パスワードを入力してください。
※カメラのユーザー名、パスワードは管理者のものを使用してください（カメラによっては、自動的にユーザー名、パスワードにデフォルト値が入力されるものもあります）。

※ID とパスワードは 1 文字から 32 文字の間で入力してください。



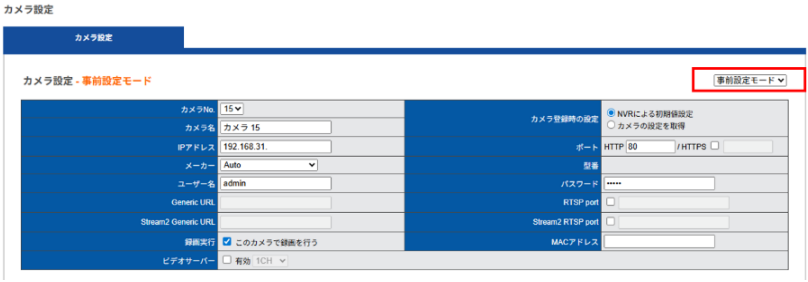
登録が完了すると、リストにカメラ名、IP アドレス、ポート番号、メーカー名、機種名が表示されます。

カメラの登録が完了したら、「適用」をクリックしてください。

また、カメラリスト右のチェックボックスにチェックを入れ、「**削除**」ボタンをクリックすることで、NVR からカメラの登録の削除を行えます。

3.事前設定モード

事前設定モードを使用することにより、前もってカメラの概要設定を行うことが可能です。



右上の「事前設定モード」を選択すると、画面が青になり、事前設定モードへと移行します。

＝使用方法

(1) カメラ情報を入力してください。
　　カメラ名、IP アドレス、ポート、メーカー名、ユーザー名、パスワードを入力してください。
(2) 「適用」ボタンを押してください。
(3) 適用されると、リスト上に赤文字で、事前登録されたカメラが表示されます。

＝現地で行う作業

(1) カメラと接続できる環境に DIGISTOR を設置してください
(2) カメラリストよりカメラを選択し、「再適用」ボタンを押してください。
　　※カメラの登録作業にはしばらく時間がかかります。完了後、映像設定にてカメラの録画フレーム等の設定を行ってください。

●**Generic RTSP/ Generic M-JPEG**

DIGISTOR は、正式対応していないカメラであっても、RTSP/ M-JPEG のストリーミングを取得するための URL がわかれば、Generic 登録できます。取得したストリーミングはライブ表示、録画に用いられます（※特別な機種を除き、あくまでテスト用の機能です）。

メーカーで「GenericRTSP」を選択後、Generic URL の欄に、URL を入力してください。RTSP を使用する時は RTSP ポートの欄も入力する必要があります。



「適用」をクリックすると、設定が反映されます。

※詳細は営業担当にお問い合わせください。

4.UPnP/Onvif 検索

「UPnP/Onvif 検索」をクリックすると、同一サブネット上のカメラを検索します。検索できるのは UPnP/Onvif 機能を持つカメラだけです。
一部のカメラ（Panasonic iPro など）は起動後、一定時間のみ UPnP で検索できます。



検索中の画面です。しばらくお待ちください。



登録可能なカメラが一覧表示されます。
リストから「追加」をクリックして、必要なカメラを追加してください。

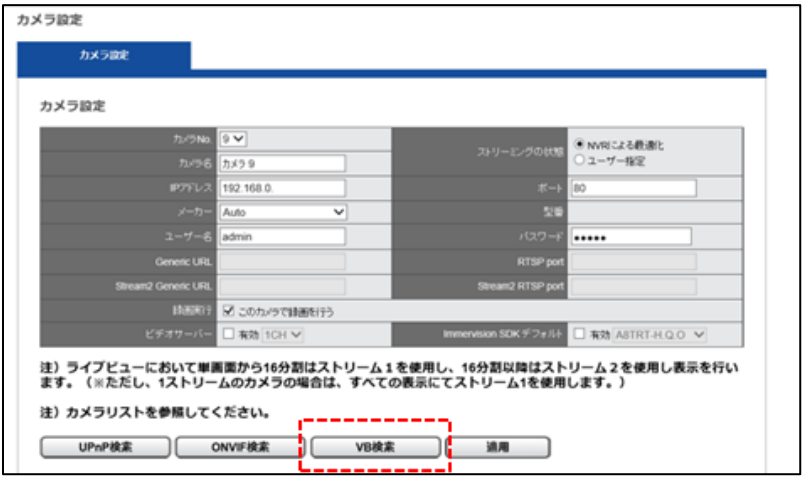


登録したカメラはカメラ名、IP アドレス、ユーザー名、パスワード、ポート、メーカー名、機種名が表示されます。
「適用」をクリックしてカメラを登録します。

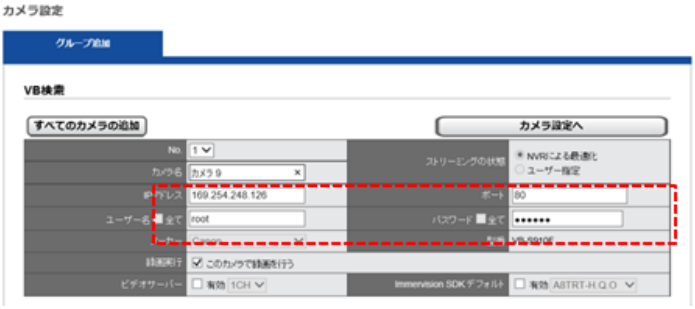
注意：カメラ名、ユーザー名、パスワードは変更できます。ユーザー名とパスワードは初期値が表示されますが、変更すると NVR 側はそれを初期値として登録します。

登録が終わったら「次へ」をクリックします。

5.VB 検索（※特定の Canon 製カメラのみ）
VB 検索をクリックすると、カメラが検索されリストとして表示されます。
※Canon 製カメラとの組み合わせで使用できる初期設定検索となります。
※使用できるカメラ等の内容は弊社 HP にてご確認ください。検索を実行できても設定できないカメラもあります。



①登録を行いたいカメラを選択します。



②カメラ名、IP アドレス、ユーザー名を任意で入力してください。



③「すべてのカメラの追加」ボタンを押すと、設定を開始します。
カメラの登録にはしばらく時間がかかります。

※ローカルネットワークのみで使用できる機能です。
※カメラは初期状態である必要があります。
※ネットワーク設定内にある DHCP の機能を使用すると、より簡単に設定することができます。

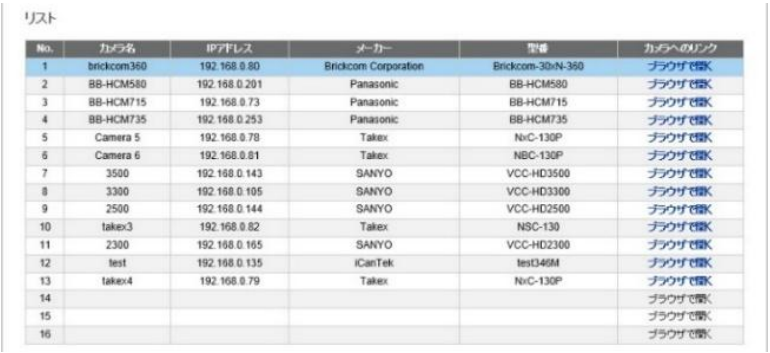
5.1.2 映像設定

メニューの中の「映像設定」を選択してください。



カメラがマルチ・ストリームに対応している場合、NVR は 2 本のストリームを取得できます。ストリーム 1 は録画用（※1～12 分割表示に使用するライブ映像用）、ストリーム 2 は 16 分割以上のライブ映像を表示するために使い、通常は低画質設定を行います。それぞれ最適な解像度、フレームレート、画質を設定してください。

映像設定を行う時は、先に下段にあるカメラリストから、設定したいカメラを選択してください。上段に設定情報が読み込まれます。



●圧縮方式

ライブ映像表示／録画で使用する映像形式を選択してください。

注意：選択可能な形式は機種によって異なります。

●フレームレート

ライブ映像表示／録画時のフレームレートを選択してください。実際に表示／録画できるフレームレートはネットワークの環境に依存します。

●解像度

ライブ映像表示／録画で使用する解像度を選択してください。

●画質

VBR（流動的なビットレート）か CBR（固定的なビットレート）を選択し、画質を選んでください。

●プライバシーマスク

Beta 版の機能となります。※詳しくは営業担当までお問合わせください

●音声

音声機能を使用する際はチェックを入れてください。

「カメラの設定」ページから、カメラの設定ページへ移動することができます。

5.1.3 カメラの状態

「カメラの状態」をクリックすると、NVR に登録しているカメラのステータスを確認できます。



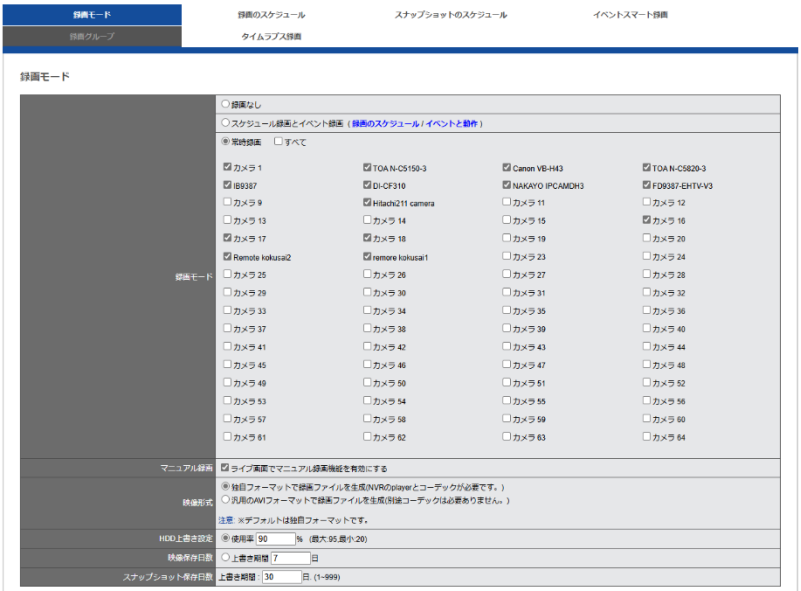
接続状態が「接続しました」は、カメラと NVR が正常に接続できている状態、「接続不良」は何らかの理由で接続できていない状態です。ただし、イベント録画でイベントが発生していない時やスケジュールされていない時間帯は録画状態が「停止」状態になります。
※ストリーミングサーバー等を使用し、再配信されている場合は、「デバイス経由で」カメラの IP アドレスが記載されます。

Ver77 より、カメラの MAC アドレスの表示機能を追加しました。
※AXIS・VIVOTEK・i-PRO・パナソニックの一部のカメラのみ対応

5.2 録画とイベント

5.2.1 録画モード

録画モードには「録画なし」「スケジュール録画とイベント録画」「常時録画」の 3 タイプあります。



- **録画なし：**すべてのカメラで録画をしないモードです。
- **スケジュール録画とイベント録画：**決められたスケジュールに従って録画を行うモードです。「録画スケジュール」タブでスケジュールを作成します。
  ※アラーム録画を行う場合もこちらを選択します。
- **常時録画：**連続的に録画するモードです。
- **マニュアル録画：**ライブ画面でマニュアル録画を使用する場合はチェックを入れます。
- **映像形式：**NVR の録画形式を変更できます。
  ※デフォルトは独自フォーマットです。

●**HDD 上書き設定：**HDD の使用率が一定の値に達すると古いファイルを削除する方法です。20～90 までの値（%）を設定してください。
例えば「90」を設定した場合、HDD の使用量が 90%に達すると、古いファイルから削除していき、使用率 90%を保つようにします。
（※初期値 90%）

●**映像保存日数：**録画ファイルを保存する日数を決め、その設定した期日が過ぎたファイルを削除していきます。ただし、HDD の容量が足りず、その期日が訪れるまでに HDD の容量が一杯な状態になると、録画が停止する恐れがあるので注意してください。
※録画グループの設定を行うにはこの設定に切り替える必要があります。

設定が終わったら、「適用」をクリックして設定を反映させてください。

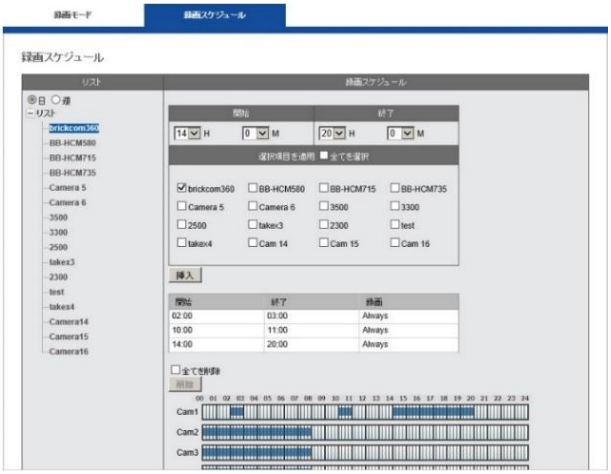
5.2.2 録画スケジュール

録画スケジュールの設定を行います。



1）スケジュールの設定

カメラを選択し、開始時間と終了時間を決めて「挿入」をクリックしてください。

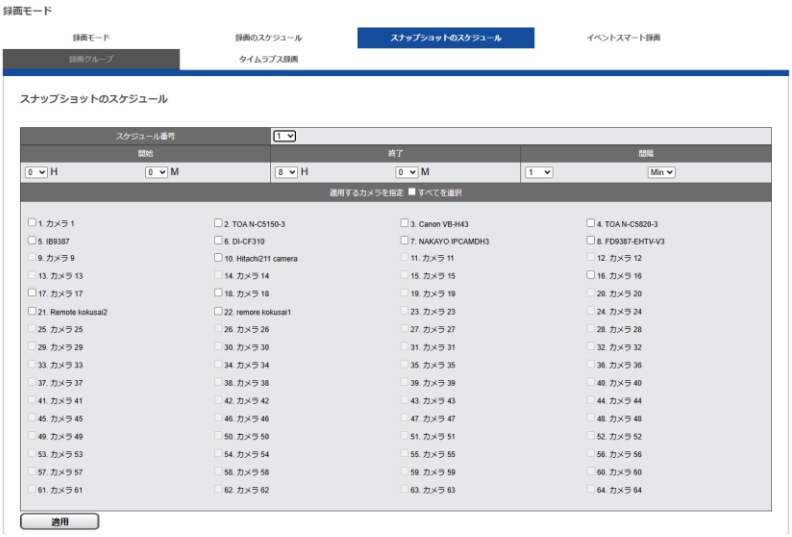


2）スケジュールの削除

削除したいスケジュールのバーをクリックし、「削除」をクリックすると、そのスケジュールが削除されます。

5.2.3 スナップショットのスケジュール

スケジュールスナップショットの設定を行います。



スケジュール№：最大 20 個までのスケジュールが入力できます。
開始時間、終了時間、間隔（※スナップショット取得間隔）を入力してください。
※スナップショットの取得間隔は、10／12／15／30 秒ごと、1／2／3／4／5／6／12／15／30／60／120 分ごとです。
※スナップショットの保存先は、¥¥(NVRIP)内の「Snapshot」フォルダです。
※常時録画の設定が行われているカメラで使用できます。

リスト

削除

No.	開始時間	終了時間	間隔	カメラNo.	追加したいカメラ(0/2) すべて ☐
1	00:00	00:00	10 sec	2	☐
2	00:00	00:00	10 sec	3	☐
3					☐
4					☐
5					☐
6					☐
7					☐
8					☐
9					☐
10					☐
11					☐
12					☐
13					☐
14					☐
15					☐
16					☐
17					☐
18					☐
19					☐
20					☐

注意：

1. スナップショットのスケージュールを利用するのは、カメラを常時録画にしてください。

2. スナップショットの保存容量は合計容量の10%までです。

3. スナップショットのスケージュールを利用するのは、カメラのI-frameを1秒にしてください。

4. スナップショットの保存先はSambaのSnapshotフォルダーです。

5.2.4 イベントスマート録画

イベントスマート録画の設定を行います。



5.2.5 録画グループ

録画グループの「選択保存日数」を選択した後、その日数で保存したいカメラを選択し、カメラごとに保存日数を変更できる機能です。



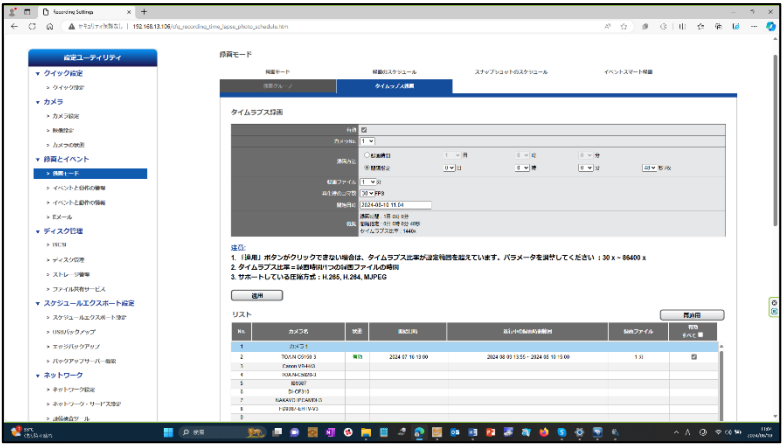
録画グループの設定を行います。

※映像保存日数での録画を選択した場合のみ使用できます。

注意：想定録画容量を超えた場合は、上記のように赤文字になります。

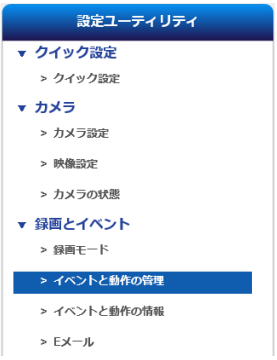
5.2.6 タイムラプス録画

同一アングルで一定間隔で撮影された静止画を、並べた動画を作成するための微速度録画ができるようになりました。長期にわたる建造物の完成に至る過程などを、視覚的に捉えることができる機能です。



5.2.7 イベントと動作の管理

イベントと動作の機能を使用すると、下記イベント内容に対してポップアップ通知を行ったり、動体検知時に録画を開始したりするなどの機能が使用できます。



1）イベントと動作



画面左側よりイベントを選択し、右上の「追加」をクリックして設定を行ってください。トリガーイベントと動作の内容は、下記の通りです。

＝カメラのイベント＝

1.接続不良
カメラとの接続が途切れた時、設定した動作を行います。

2.モーション検知
カメラがモーションを検知した時、設定した動作を行います。

3.FPS 通知
指定した FPS の値を下回った場合、イベントを発生させることができます。

4.音声検知（※対応 AXIS カメラのみ）
音声を検知した際、設定した動作を行います。

5.IO 入力
カメラのデジタル入力に信号が入ると、設定した動作を行います。

6.通話ボタン（※アイホン製 IX-DA・EA 及びナカヨ製 IPCAMDH3）
ドアホンの通話ボタンを押下した際に設定した動作を行います。

＝NVR のイベント＝

1.接続不良
NVR がネットワーク接続を失うと、設定した動作を行います。

2.録画エラー

NVR が録画（※書き込み）に失敗すると、設定した動作を行います。

3.UPS の警告（※対応 UPS のみ）

UPS の容量が設定値を下回ると、設定した動作を行います。

4.HDD の容量不足通知

HDD の容量が設定値を下回ると、設定した動作を行います。

5.異常シャットダウン

異常シャットダウンのログが確認されると、設定した動作を行います。

6.DigitalInput（※対応機種のみ）

NVR 側の IO 入力が入った際、設定した動作を行います。

=ハードウェアのイベント=

1.CPU 温度警告（CPU Temperature Warning）

CPU の温度が規定値を超えると、この動作を行います。

2.CPU ファン警告（CPU Fan Warning）

CPU ファンに異常があると、この動作を行います。

3.システムのファン警告（System Fan Warning）

システムのファンに異常があると、この動作を行います。

4.HDD エラー警告

HDD の SMART 警告が発生した場合、この動作を行います。

5.HDD Failed

HDD が故障し使用できなくなった場合、この動作を行います。

6.低バッテリー警告

7.eSATA の接続不良

8.RAID デグレード

RAID が格下げの状態になった場合、この動作を行います。

9.RAID 障害

RAID 障害が発生した場合、この動作を行います。

10.RAID の構築中

RAID 構成中にこの動作を行います。

①新しく HDD を入れた際

②RAID の構成が終了した際

③RAID の再構成が停止した場合
に動作を行います。

11.外部イベント（HTTP-in）

外部の機器から NVR に対して HTTP-in CGI command が送信されると、設定した動作を行います。最大 64 個の CGI command とそれに対応する動作を設定できます。

HTTP-in CGI command は次のように記述します：

http://<NVR_IP>/login.cgi/cgi_main.cgi?cgiName=event_ipc.cgi&eventName=Defined_<int>

<NVR_IP>は、外部機器が NVR にアクセスできる IP アドレスです。

<int>は、外部イベントの番号（1-5）です。

例：

http://192.168.1.245/login.cgi/cgi_main.cgi?cgiName=event_ipc.cgi&eventName=Defined_3

※外部イベントは最大 64 個作成できます。※ver69 より

最後に「適用」をクリックして設定を保存します。

=動作=

●イベント録画

イベント録画とビデオ・クリップの 2 種類があります。

イベント録画 : イベントが発生すると 5 分間の映像を記録します。イベントが継続的に発生するとその間、録画も継続されます。
ビデオ・クリップ : E メールでビデオ・クリップを送信します。詳細設定でイベント発生前後に記録する時間（秒数）を設定できます。

設定するカメラを選択したら、「適用」をクリックします。



●E メールを送る

「E メールを送る」を選択すると、E メールの受信者を設定する画面がポップアップします。まだ受信者の設定を行っていない時は、「録画とイベント ＞ E メール」で設定します。
「スナップショットを添付」にチェックを入れていたら、イベント発生時にスナップショットを撮影してメールに添付します。
注意 : カメラが接続不良の時は正常にスナップショットを撮影できないことがあります。

最後に「適用」をクリックして設定を登録します。
E メール送信は 20 秒間隔で行われます。例えば 1 分間イベントが続いたとしたら、メールは 3 通送信されることになります。

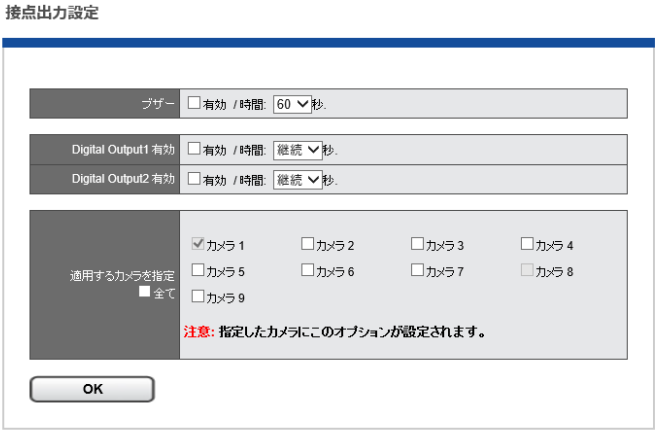
●本体 IO 出力（※対応機種のみ）

デジタル出力を選択すると、「デジタル出力」設定ウインドウが表示されます。

ブザーは、60 秒間鳴らすことができます。

注意：NVR 正面の USB バックアップ・ボタンを 1 秒間押せばブザーを止めることができます。

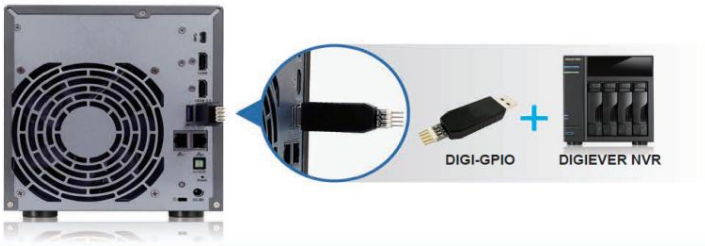
デジタル出力 1 とデジタル出力 2 は最長 60 秒間有効になります。適用するカメラを選択してください。



●USB I/O 出力（※対応機種のみ　※別途オプション）

別途オプションで、USB I/O をご購入いただくと、本体背面 USB ポートに差し込むことで本体での I/O 入出力機能が使用できます。

※オープンコレクタ出力





①USB I/O の接続状態を確認してください
②それぞれの I/O 入出力の設定が可能です。
③上記の写真は、HDD 故障時に I/O の出力を行う設定例です。
④詳細の設定で、どの出力を動作させるか選択してください。
■継続/3 秒/10 秒/20 秒/30 秒/60 秒の設定が可能です。
継続選択時の出力を OFF にするには、本体のシステムメニューより→ブザー→OFF を行い、出力のリセットを行ってください。

●ユーザー規定の動作

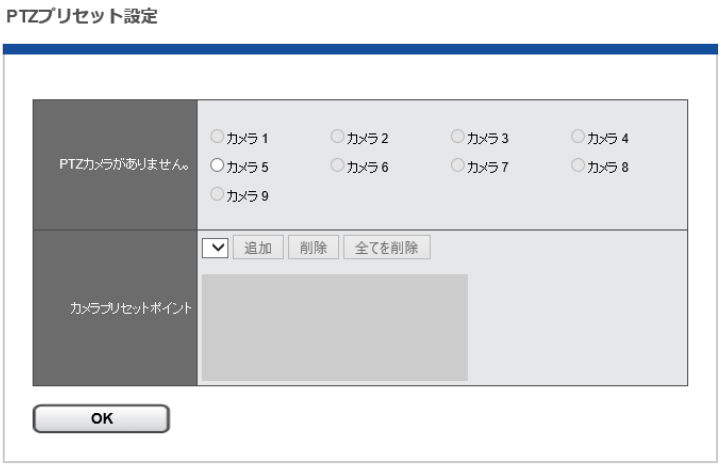
イベントがトリガーされた時、HTTP command をネットワーク機器に送信するよう設定できます。送信先となる機器の IP アドレスとポート番号、送信する HTTP command を「HTTP URL」に入力してください。また、その機器にログインする際に必要になるユーザー名とパスワードも入力してください。



●SMS

本機能は日本国内の SMS には対応していません。

●カメラプリセットポイント



※カメラプリセット数は同時に 3 点まで指定可能です。

●カメラの IO 出力（※対応機種のみ）

●パトライト

パトライト製ネットワークパトライトを使用することで、NVR のハードウェアのエラーなどをわかりやすく表示できます。



上記設定を入力し、ネットワークパトライトを NVR に登録してください。登録後にハードウェアのイベントにて設定を行うと、詳細な設定が可能です。



※イベントの解除は、パトライト本体のボタンを押して手動でキャンセルしてください。

●ネットワークスピーカー（※対応機種：Axis C3003-E のみ）

対応しているネットワークスピーカーであれば、イベント発生時に録音されている音声を鳴らすことができます（※ネットワークスピーカーをカメラとして登録する必要があります）。



●ライブ映像での通知

NVR やカメラの外部 IO 等と連動し、選択したカメラの強調表示、及びポップアップ表示と連動させることができる機能です。

※注意：もし、強調表示やポップアップさせたくないカメラがある場合は、この設定で☑を入れず、□のままにしてください。
※Ver70-3.1 からの機能です。

5.2.8 詳細設定



●動作トリガー間隔

この間隔内での同一のトリガーは無視されます。

●ビデオクリップ

検知録画時間は前後 3／5／7／10 秒で設定できます。

●録画モード

トリガーが入る前後それぞれ何秒間を録画するのかを設定します。イベント発生前 10-300 秒間、イベント終了後 10-300 秒間まで設定できます。
※ver69 より 10 秒設定ができるようになりました

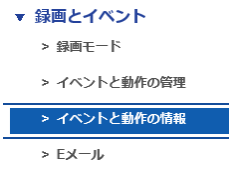
●イベント録画のみオーディオ保存

この項目にチェックを入れると、通常はオーディオを保存しませんが、イベント発生時のみオーディオを保存します。イベントが終了すると自動的にオーディオは無効になります。

「適用」をクリックして設定を保存してください。

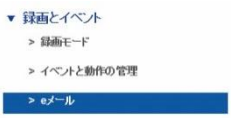
5.2.9 イベントと動作の情報

イベントと動作の情報をクリックすると、設定されたイベントの情報及び設定可能なイベント、動作情報の一覧が表示されます。



5.2.10 E メール

「録画とイベント」の「E メール」を選択して E メールに関する設定を行います。



SMTP サーバー

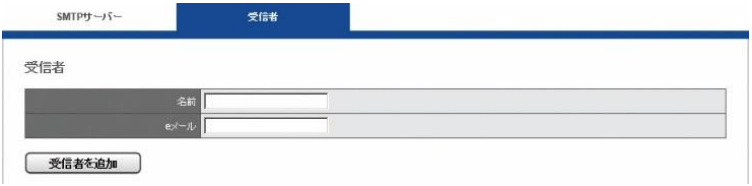


- **サーバー・アドレス：**SMTP サーバーのアドレスを入力します。
- **送信者：**送信者の E メール・アドレスを入力します。
- **件名／本文：**メールの件名と通知文面を入力します。
- **認証：**お使いになる SMTP サーバーに応じた認証形式を選択してください。
- **ユーザー名／パスワード：**SMTP サーバーで使用する情報を入力します。

「適用」をクリックして完了するか、「テスト・メールを送信」をクリックして設定が有効かどうかを確認してください。

受信者

「受信者」タブをクリックして E メールを受信するアドレスを追加します。



「名前」と対応する「E メール」を入力して「受信者を追加」をクリックしてください。追加すると「受信者リスト」に名前とアドレスが表示されます。

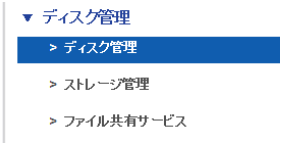
「適用」をクリックして設定を保存します。

※使用しているメールサーバーによっては、セキュリティの関係でこの機能が使用できない場合もあります。

5.3 ディスク管理

5.3.1 ディスク管理

「ディスク管理」メニューの「ディスク管理」を選択してください。



ディスク情報

下記画面にて、HDD の状態の確認ができます。また、HDD 稼働時間によりライブ画面上でのポップアップを行いたい場合は、右下の閾値より時間の設定を行ってください。



また、ver.81 より「Export」のボタンを押すと、HDD の詳細ログを取得可能です。

●フォーマット

フォーマットを選択するとすべての録画データが消去されます。

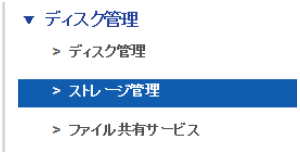
※フォーマットを行うには、録画の停止を行う必要があります。



※HDD カセット方式：シングルモードの HDD を複数作成し、HDD が故障した場合でも他の HDD が代用し、録画が継続する機能です。
※故障した HDD の録画データはなくなりますが、他の HDD に入っている録画データは再生可能＋残りの HDD で運用を行える機能となります。

5.3.2 ストレージ管理

「ディスク管理」メニューの「ストレージ管理」を選択してください。

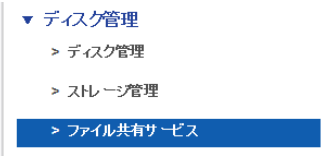


ストレージボリュームでは、ディスク・ボリュームの容量、使用している容量、HDD の状態などが表示されます。



5.3.3 ファイル共有サービス

「ディスク管理」メニューの「ファイル共有サービス」を選択してください。



NVR が対応しているファイル共有サービスには「Windows ネットワーク」と「FTP」の二つがあります。



1.情報

ファイル共有サービスの状態と有効／無効の切り換え、FTP 及び共有フォルダを開くことができます。

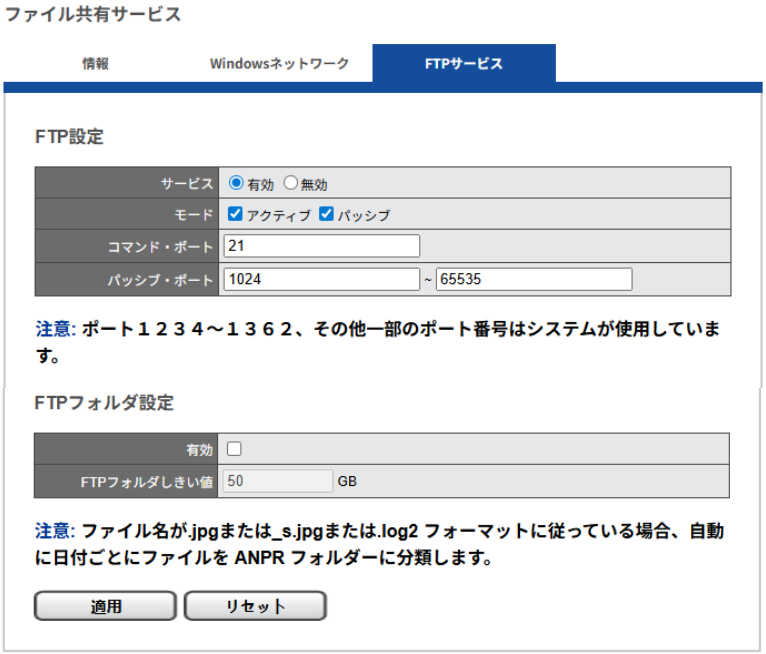
2.Windows ネットワーク

サービスの有効／無効の切り換え、コンピューター名の変更などを行えます。



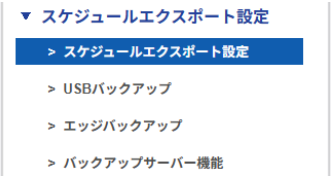
3.FTP サービス

サービスの有効／無効の切り換え、モード指定、使用するポートの変更などを行えます。



※FTP フォルダ設定は開発中の機能です。

5.4 スケジュールエクスポート設定



5.4.1 スケジュールエクスポート設定

DIGIARRAY を使用したバックアップ機能です。
（※USB、FTP などのデバイスでのエクスポート機能は開発中です。）



1. ローカルデバイスを選択します。
   ※正常に認識されているか確認してください。



2. エクスポートを行いたいカメラと時間帯を入力／選択してください。
3. 「自動エクスポート」にチェックを入れると、10 分間隔で録画データのエクスポートを行います。
4. スケジュール設定にすると、その時間からそのエクスポートを開始します。

5.4.2 USB バックアップ

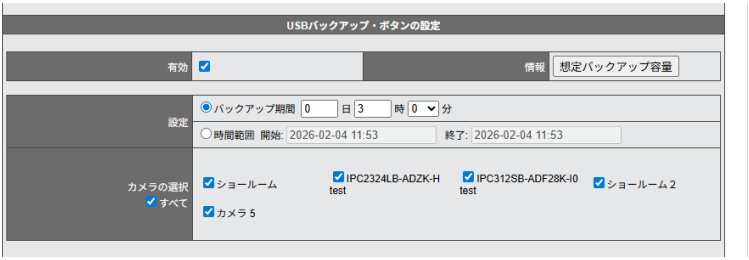
1.USB バックアップ

指定した範囲の録画データの手動バックアップを行う機能となります。
※開始ボタンを押した時点の日時フォルダが生成され、その中に指定したカメラと時間の録画ファイルが保存される機能です。



USB ストレージを接続し、「準備完了」になると、USB インジケーターは青色で点灯します。
※USB ストレージを初期化する時は、NTFS を選択し、「フォーマット」ボタンをクリックします。

その後、有効ボタンにチェックを入れると下記の内容が表示されます。



＝設定＝

バックアップ期間：開始ボタンを押した時点から遡ってその期間のバックアップを行います。

時間範囲：時間の範囲を指定し、バックアップを行います。

USB バックアップ開始のボタンを押すか、前面の USB バックアップボタンを押し、バックアップを開始してください。
バックアップを開始すると、状態が「作業中」となり、「情報」にはコピー中のファイル数が表示されます。
※バックアップ動作中は、USB バックアップインジケーターが点滅します。
※バックアップ完了後、自動的に USB を取り外す構造のため、作業を継続して行いたい場合は、作業完了後に必ず、USB を抜き、再度認識の確認をした後、バックアップ作業を再度行ってください。
※電源断など、不慮の事故が発生した場合、NVR との接続が維持されず、正常に動作しないことがあります。

注意：USB バックアップ・ボタンを有しているのは、DS-2205(B) UHD シリーズ、DS-4220(B) UHD シリーズ、DS-4220-RM UHD シリーズ、DS-16364-RM UHD シリーズです。

2.DVD へのバックアップ

USB 接続できる DVD ドライブを NVR に接続し、正常に認識されると、USB インジケーターが青色で点灯し、「状態」が準備完了となります。



注意:DVD ドライブに対応しているのは DS-2205(B) UHD、DS-4220(B) UHD、DS-4220-RM UHD シリーズ、DS-16364-RM UHD シリーズとなります。
注意：DVD ドライブ内に DVD メディアが挿入されていない時は USB 機器として認識されません。
注意：DVD ドライブに対してバックアップが行われると、録画ファイルとともに NVRPlayer と NVRCheck が DVD にコピーされます。

注意 : ロジテック INA ソリューションズ株式会社ポータブル DVD ドライブ「LDR-PMG8U2LBK」で動作確認を行っております。

3.詳細設定



録画ファイルをエクスポートする際、パスワードによる保護を行えます。録画ファイルは設定に基づき、パスワードつき zip ファイルもしくは、独自ファイルにて圧縮されます。

※パスワード独自フォーマットを使用した場合は、NVRPlayer にて再生を行った際にパスワードの入力画面が表示されるので、パスワードを入力して再生してください。その際、他の汎用プレイヤーは使用できません。

注意 1 : パスワードによる保護を行えるのはエクスポート時のみです。バックアップ・ボタンを用いた時はパスワードによる保護は行われません。該当欄にチェックを入れた後、「適用」をクリックしてください。

※zip ファイルを解凍する時、バックアップ時に決めたパスワードを使用し解凍を行ってください。

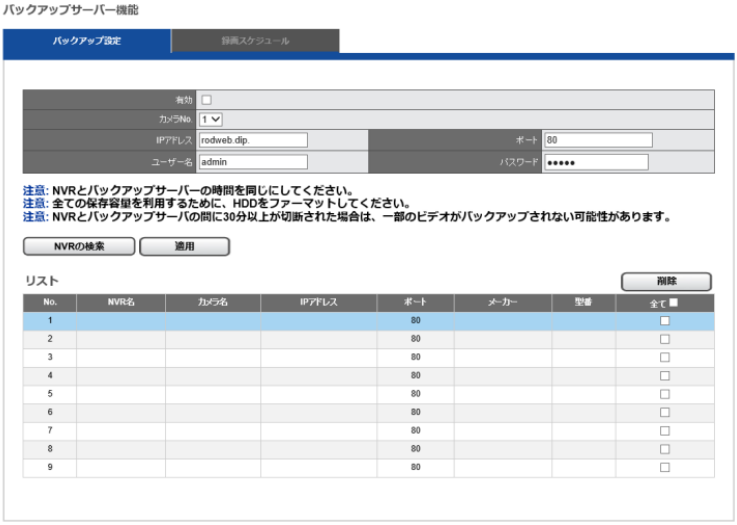
注意 2 : USB バックアップの完了後、USB と NVR との接続はアンマウントされますので、再度 USB バックアップを行う場合は、USB の抜き差しを行ってください。

5.4.3 エッジバックアップ　※開発中の機能です。

5.4.4 バックアップサーバー機能

この機能を使用することで、NVR が録画バックアップ用の装置となり、NVR のバックアップを 10 分おきに行います。また、バックアップされたデータはローカル・ディスプレイでも再生が可能です。

※バックアップできるカメラの台数は、バックアップサーバーに変更する前の NVR のチャンネル数です。



1. 「有効」にチェックを入れ、バックアップサーバーに変更後、バックアップを行いたい NVR の IP アドレス、ユーザー名、パスワードを入力して NVR を追加してください。
2. 録画スケジュールをクリックして、バックアップを行いたいカメラとその時間範囲を入力すると自動的にバックアップを行います。

※NVR とバックアップサーバーの時計を同期してください。

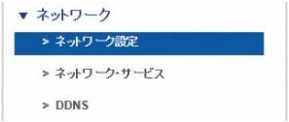
※万が一、親子間の通信が途切れた場合でも、720 分（12 時間）以内であれば、そのデータの補填を行います。

※ライブ映像の閲覧はできません。

5.5 ネットワーク設定

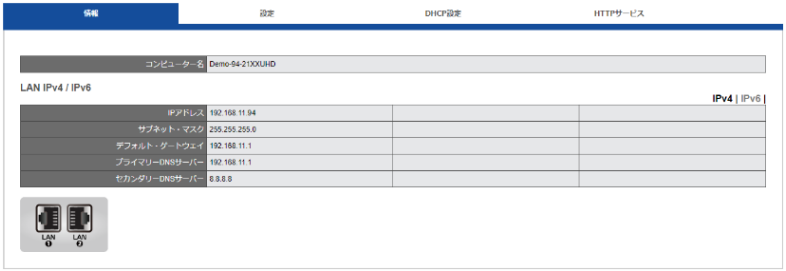
5.5.1 ネットワークのセットアップ

「ネットワーク」のメニューから「ネットワーク設定」を選択してください。



1.情報

コンピューター名、IP アドレス、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイ、プライマリ及びセカンダリ DNS 情報を表示します。



2.設定

コンピューター名の変更、DHCP または固定 IP の設定を行えます。



●共有の IP

2 個の LAN 端子に同じ IP アドレスを割り振ります。

●個別の IP

2 個の LAN 端子にそれぞれ別の IP アドレスを割り振ります。

●ポートトランキング- 開発中の機能です。

インターネット・プロトコル

●DHCP : ネットワーク内の DHCP サーバーから自動的に IP アドレスが割り振られる設定です。

●固定 IP : お使いになるネットワークの環境に合わせて IP アドレスを変更してください。

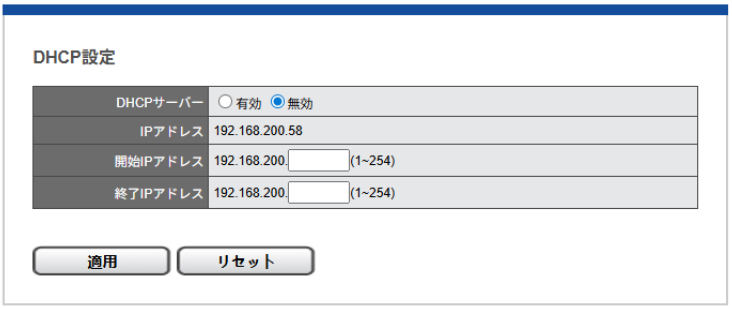
※DIGISTOR の初期 IP アドレスは「192.168.1.245」となります。

デフォルトゲートウェイ

チェックすることで、LAN1、LAN2 いずれかをゲートウェイに指定することができます。

3.DHCP 設定

NVR を DHCP サーバーとして動作させる機能です。サーバー機能を有効にし、アドレスの範囲を設定すると、この機能が使用できます。



4.HTTP サービス

初期設定は「80」です。DIGISTOR にアクセスする際に使用する HTTP ポートを設定してください。



※HTTPS 設定時に作成できる自己証明書は、あくまでテスト用・検証用の機能です。運用では 信頼された CA(認証局）の証明書を導入し使用してください。

5.PPPoE　- 使用しません

5.5.2 ネットワーク・サービス

「ネットワーク」メニューから「ネットワーク・サービス」を選択してください。



1.ネットワークサービス



【UPnP】【Telnet】【IP Forward】機能を有効／無効にできます。

2.アクセス制限



※ブルートフォース攻撃を防止する設定

＝設定内容＝

ログイン失敗回数：デフォルト 5 分(3-30 回)

ログイン失敗回数の判定時間：デフォルト 5 分(3-30 分)

アクセス制限時間：デフォルト 5 分(1-4000)

アクセス制限リストに追加：

※この機能を有効にすると、ログイン失敗回数を設定回数超えた場合に自動的にアドレスが追加されます。

アクセス制限中の IP アドレス

制限されている IP アドレスのリストとなります。

※アクセス制限リストに自動的に追加機能を使用した際に IP アドレスが表示されます。

※解除を行うには、その番号を選択し、適用ボタンを押してください。

3.禁止／許可リスト



禁止リストまたは許可リストを有効にします。いずれの場合も、本当に有効にするかどうかを確認するウインドウが表示されます。その後、禁止または許可する IP アドレスを入力してください。
禁止リストを有効にした場合、登録された IP アドレスから本製品へのアクセスが禁止されます。
許可リストを有効にした場合、登録された IP アドレスからのみ本製品へのアクセスが許可されます。

4.リレーサーバー

リレーサーバー機能を使用することで、複数のクライアントを使用し、同時に 4 台以上の複数の端末で監視ができます。
※詳細は、巻末の《補足 2》をご覧ください。



リレーサーバー機能を使用するには、リレーサーバー機能を有効にし、管理ポートを設定してください。

※ただし、接続においては、レコーダー側のシステム負荷の状態を確認してください。また、リレーサーバーは 20 台以下のレコーダーのみ、使用してください。それ以上は、ストリーミングサーバーの導入をお勧めします。

Web Liveview -- 開発中の機能です。

5.ドアホン SIF ポート設定

NVR はアイホン製のドアホン（IX シリーズ）、ナカヨ製のドアホン（IPCAMDH3）に対応しており、ドアホンのコールボタンを押すことでアラーム録画もできます。

※アイホン製ドアホンのカメラ登録はポート番号 10080 を設定してください。

対応しているドアホンに接続して連動させるには、「ドアホン SIF ポート設定」を有効にし、管理ポートを入力してください。

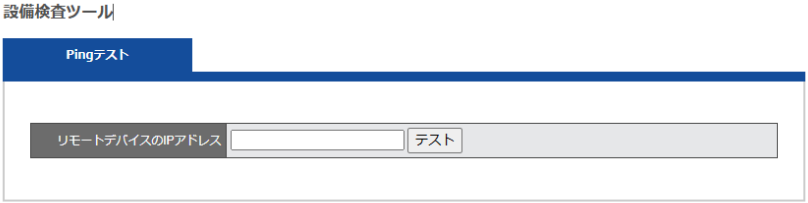
※別途、ドアホン側にも設定が必要です。詳しくは販売店にお問合せください。



通話ボタンによる録画を有効にする場合は、NVR メニューイベント&アクションの設定にて設定を行ってください。

5.5.3 Ping テスト

Ping テストツールとなります。疎通を確認したい装置の IP を入力し、テストボタンを押してください。



5.5.4 DDNS



DDNS（Dynamic Domain Name Service）とは、固定 IP を使ってインターネット経由で NVR にアクセスする代わりに、動的 IP とドメイン名とをリンクさせ、そのドメイン名を使ってアクセスするサービスです。
DIGISTOR が対応している DDNS は、
①ipcam.jp　②nwcam.jp　③DynDNS　④No-IP　⑤ChangeIP です。
DDNS の設定を行う前に、必要な情報を DDNS プロバイダーから取得してください。



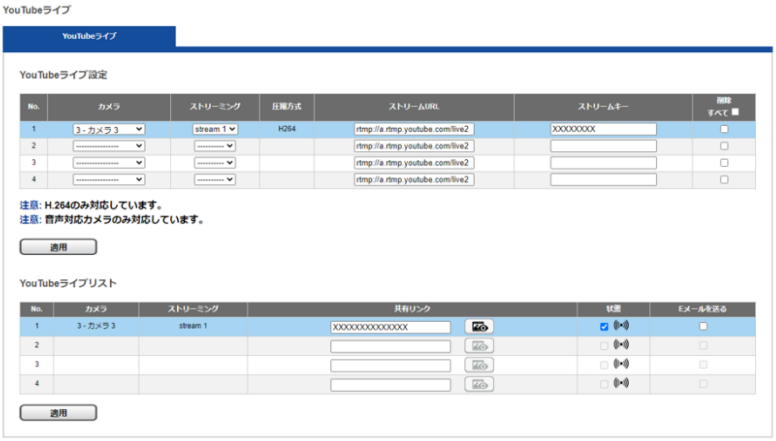
例：ipcam.jp のサービスを利用している場合、「サービス」の ipcam と「有効」にチェックを入れ、プロバイダーから与えられた情報（例：ユーザー名：001、パスワード：ab cdefgh、Host Name：digiever）を入力してください。DIGISTOR は ipcam.jp の DDNS サーバーに動的 IP アドレスの情報を送り、「digiever.ipcam.jp」のドメイン名とリンクさせます。ユーザーは IP

アドレスに関係なく、「digiever.ipcam.jp」で NVR にアクセス可能になります。

5.5.5 YouTube ライブ

YouTube Live 機能は、YouTube と連携して配信できる機能です。
詳しくは、You tube をご参照ください。

配信を行いたいカメラ、ストリームを選択、取得したストリーム URL、ストリームキーを入力して「適用」ボタンを押してください。



※注意：YouTube で本機能を使用するには、H.264 及び音声の配信ができるカメラの選定が必要です。

YouTube ライブリストにて登録したカメラの共有リンクを入力し、
 ボタンを押すと、配信状態の確認ができます。
また、状態ボタンの☑を入れて適用ボタンを押すと配信開始、☑を外して適用ボタンを押すと配信が停止します。

※配信仕様等の詳細内容は、YouTube サイトを参考ください。

5.5.6 SNMP サーバー

●SNMP 設定　※SNMP エージェント機能

SNMP（simple network magement protocol）を使用し、一般的な SNMP マネージャーソフトウェアを使用、ネットワーク経由で DIGISTOR を監視及び管理できる機能です。

※MIB 情報ファイルなど、詳しくは販売店にお問い合わせください。



「ネットワーク」→「SNMP サーバー」→「SNMP 設定」にて、SNMP の設定を入力してください。

バージョン： ver 2 / Ver 2c を選択してください。

ポート：ポーリングで使用するポート番号を入力してください。

Trap ポート：トラップ時に使用するポート番号を入力してください。



詳細設定にて、コミュニティ名称を追加、SNMPTrap を使用する場合は、「Trap 設定」にて受信側 SNMP マネージャーの設定を入力し、追加を行ってください。



「トラップ情報の配信選択」を設定すると、必要のない SNMP トラップを停止することができます。

※HDD トラップ、RAID トラップに関しては、重要なトラップのため変更できません。

注意：ネットワーク切断のイベントは、LAN ケーブルが 2 本使用されている場合のみ SNMP トラップを行います。また、カメライベントトラップは、DIGISTOR のイベント設定の使用時のみ動作します。

■SNMP で使用、取得できる内容について

１．システム　２．ハードウェア　３．カメラ
等の状態

＋＋＋＋＋＋＋

１．システム状態

システム情報"ポーリング

■システム情報

サーバー名	－－	NVR 名を取得します。
サーバーMAC	－－	接続されている NVR の MAC アドレスを取得します。
NTP の IP	－－	内蔵 NTP サーバーのアドレスを表示します。
最後に起動した時間	－－	最後に起動した日時を表示します。
CPU 使用率	－－	CPU 使用率を表示します

■ファームウェア情報

型名	－－	レコーダーの型名を表示します。
シリアル	－－	レコーダーのシリアル番号を表示します。
ファームウェア Ver	－－	レコーダーのファームウェアの情報を表示します。
最終のアップグレード時間	－－	最後にアップグレードを行った日時を表示します。

■ハードウェア情報

CPU 温度	－－	CPU の温度を表示します。
CPU ファンのスピード	－－	CPU ファンの速度を表示します。
システム温度	－－	システムの温度を表示します。
システムファン数	－－	システムファンの総数を表示します。
＝システムファンテーブル		
＝ファンエントリー		
＝ファンインデックス		
ファンのスピード	－－	それぞれのファンの回転数を表示します。

■ユーザー情報

ユーザーの数	－－	登録されているユーザーの数を表示します。
＝ユーザーテーブル	－－	
ユーザー名	－－	登録されているユーザー名を表示します。
ユーザーパスワード	－－	登録されているユーザーパスワードを表示します。
ユーザーアクセスレベル	－－	登録されているユーザーのアクセスレベルを表示します。

システム状態“トラップ

■システムトラップ

起動

シャットダウン

異常シャットダウン

ネットワークの切断

IO 入力

HDD 容量不足通知

HTTP-in 外部イベント

NTP サーバー同期失敗

フェイルオーバーサーバーへ移行

■ハードウェアトラップ

ファン状態イベント

冗長化電源イベント

USB デバイスの取り外し

２．カメラの状態

カメラ状態“ポーリング

■カメラ情報

最大カメラサポート数　－－　登録できるカメラの総数を表示します。

有効なカメラ数　－－　動作しているカメラの総数を表示します。

＝＝カメラテーブル

＝＝カメラエントリー

カメラインデックス

カメラ数　－－　登録されているカメラの総数を表示します。

カメラブランド　－－　登録されているカメラのブランド名を表示します。

カメラの IP アドレス　－－　登録されているカメラの IP アドレスを表示します。

カメラ状態　－－　登録されているカメラの状態を表示します。

カメラフォーカス　－－　使用しません。

ビデオサーバーからのカメラ数　－－　登録されているビデオサーバーの数

カメライベント“トラップ

■カメライベントトラップ

カメラの IO 入力

カメラのモーション検知

カメラ接続不良

FPS 通知

3．ストレージの状態

HDD 状態"ポーリング

HDD 数	－－	挿入されている HDD の総数
＝＝HDD テーブル	－－	
＝＝HDD エントリー		
＝＝HDD インデックス		
HDD モデル名	－－	接続されている HDD の型名を表示します。
HDD シリアル番号	－－	接続されている HDD のシリアルを表示します。
HDD 容量	－－	接続されているそれぞれの HDD の容量を表示します。
HDD 状態	－－	HDD の状態を表示します。 0 は正常
HDD スマート	－－	HDD のスマート状態を表示します。0 は正常
HDD 温度	→	接続されているそれぞれの HDD の温度を表示します。

HDD"トラップ

HDD オンライン

HDD オフライン

HDD 挿抜

HDD 不良セクターの検出

HDD リード／ライトエラー

HDD 故障

■RAID"トラップ

RAID リビルドの状態

RAID 同期状態

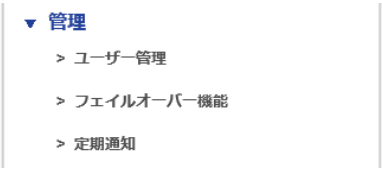
RAID 非アクティブ

RAID リビルド失敗

※MIB 情報ファイルなど、詳しくは販売店にお問い合わせください。

5.6 管理

「管理」設定ページでは、ユーザーの追加や権限の編集、NVR に保存されているログの確認、バックアップや接続している外部機器の管理設定を行うことができます。



5.6.1 ユーザー管理

「管理」メニューから「ユーザー管理」を選択してください。DIGISTOR には複数のユーザーが同時にアクセスできます。工場出荷時は管理者である「admin」のみユーザーとして登録されています。
管理者はユーザーを新規作成できます。ユーザーには「Power User」と「User」の 2 グループがあり、「Power User」は一部の設定変更が可能です。「User」も設定ページへ移動できますが、自分のパスワードしか変更できません。

1.ユーザーの作成

- **Power User**
  ユーザー名（半角英数字 15 文字以内）とパスワードを入力し、「グループ」メニューから「Power User」を選択してください。ライブ映像と録画再生に関する権限は、自動的に全てのカメラに対して適用されます。「適用」をクリックするとユーザーが作成され、「リスト」に表示されます。
- **User**
  ユーザー名（半角英数字 15 文字以内）とパスワードを入力し、「グループ」メニューから「User」を選択してください。ライブ画像と録画再生に関する権限を設定します。チェックの入ったカメラのみ、ライブ映像及び録画再生が可能になります。

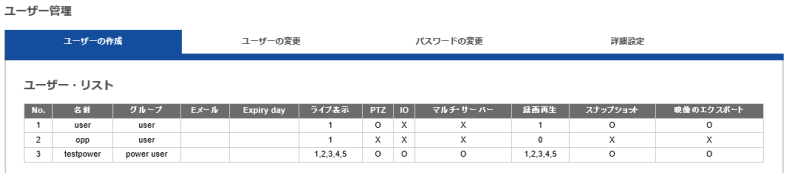
「適用」をクリックするとユーザーが作成され、「リスト」に表示されます。



2.ユーザーの変更

「ユーザーの変更」タブをクリックしてください。

User の権限変更を行う時は、適宜変更して「適用」をクリックします。登録しているユーザーを削除する時は、リストで選択し、「削除」をクリックします。



3.ユーザー名/パスワードの変更

「パスワードの変更」タブをクリックしてください。

「ユーザー名」で変更したいユーザー名を選択し、新しいパスワードを入力します。

※admin（管理者）ユーザーの作成は行えませんが、admin ユーザ名を変更できるようになりました（※ver77 より）。



4. Active Directory

※検証中の機能です。

5. 詳細設定



5.6.2 フェイルオーバー

フェイルオーバーとは、稼働中の NVR に障害が発生した際、その機能を自動的に引き継ぎ、処理を実行する機能です。例えば、1 台の NVR に対し 1 台のフェイルオーバーサーバーを導入することで、万が一のレコーダー障害等に対しての大きな録画欠損を避けることができます。

※最大 4 台までの NVR を管理、監視します。

※カメラ台数の上限は、登録チャンネル数までとなります。64ch であれば 64 台のカメラとなります。

●フェイルオーバー設定

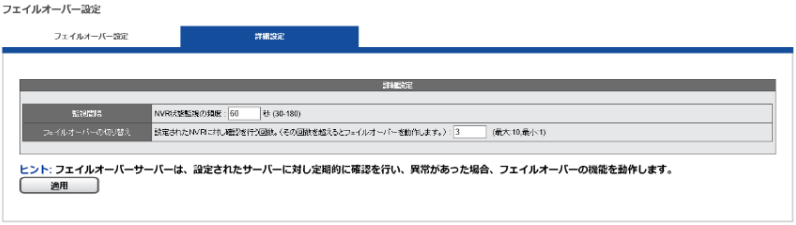


■本設定は、フェイルオーバーサーバーとなるレコーダーで設定を行います。レコーダーの設定を入力し、「適用」を押下することで、フェイルオーバー機能が有効となります。

※フェイルオーバー機能を有効にしたレコーダーのカメラ設定は消去されます。

●詳細設定

フェイルオーバーの切り替えタイミングの設定を行えます。



詳細設定より、監視先のレコーダーに対する確認回数を設定することが可能です。
フェイルオーバーサーバーは監視対象のレコーダーを定期的に監視し、異常なレスポンスが設定回数に達した場合、フェイルオーバーサーバーが動作して代替録画処理を行います。

※監視間隔 30-180 秒
※監視回数設定可能範囲：1-10 回

カメラ設定引き継ぎ後のカメラとの再接続の時間を考慮し、切り替えにかかる時間は最低 10 分程度とご想定ください。

5.6.3 定期通知機能

ライブ映像にて定期通知を行いたい場合に設定する機能です。



上記の設定を入力し、登録することで、ライブ画面上で定期的にメッセージの通知を行うことができます。
開始時間と間隔、メッセージ内容を入力し、「適用」ボタンを押してください。



5.7 外部デバイス



5.7.1 PoE スイッチ制御

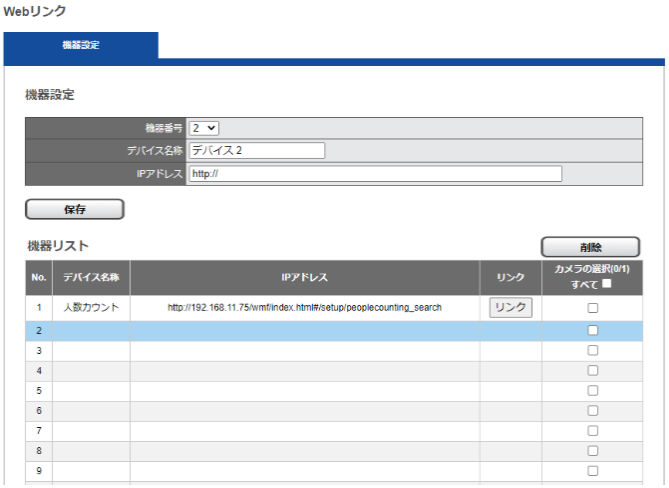
（※専用の PoE 使用時の機能の為、使用しません）

5.7.2 POS Syetem

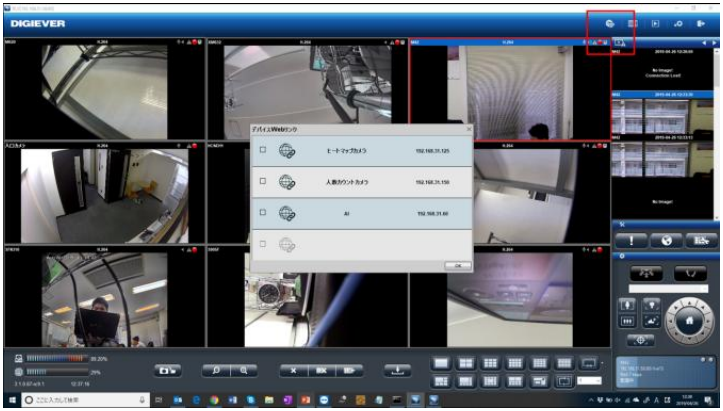
（※専用の端末との連動機能の為、使用しません）

5.7.3 Web リンク機能

AI などの外部機器を登録し、PC からワンクリックでブラウザ接続できる機能です。



①使用したい VS-AI 等の IP アドレス、ポート番号を入力し、「適用」ボタンを押します。



②右上の地球儀のアイコンをクリックすると、登録したウェブリンク名が表示されます。アクセスしたいリンクをクリックしてください。

5.7.4 Modbus IO Device

（※専用の端末との連動機能の為、使用しません）

5.7.5 AI BOX

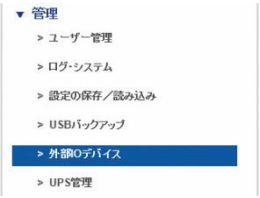
DIGISTOR に AI-BOX を登録することで、AI-BOX が検知したイベントをトリガーに、イベント録画等の動作や AI 検索ができます。
サポート機種：WEBGATE 社製: AIBOX-B808B　Hanwha 製: AIB-800
※詳細は営業担当にお問い合わせください。





5.7.6 AXIS IO デバイス

AXIS 製 P8221/D3110 を NVR に登録して、その外部入力を利用することができます。
「管理」メニューから「外部 IO デバイス」を選択してください。



機器名称、IP アドレス、ユーザー名、パスワードを入力して「検出」をクリックしてください。ネットワーク上に設定した機器があれば、登録されます。「メーカー」と「型番」は自動で表示されます。「適用」をクリックして保存します。



リストには登録された機器の名称、IP アドレス、ポート番号、メーカー名、型番が表示されます。
登録された機器に応じて、「イベント」タブ内にイベント・リストが表示されます。

5.7.7 Access Control

（※専用の端末との連動機能の為、使用しません）

5.7.8 UPS 管理

UPS を用いて NVR の電源を管理できます。「管理」メニューから「UPS 管理」を選択してください。

●UPS の情報

メーカー名、型番、AC 電源の状態、バッテリーの容量、予想保護時間が表示されます。予想保護時間はモニタリングのみ行っている状態が基準です。

●UPS 管理の設定：スマート・シャットダウンと復旧

タイプ：

USB で接続

⚠**注意**：USB で接続を行った際、DIGISTOR シリーズが対応している UPS はユタカ電機製作所の常時インバーター・モデル「UPS510SS-R」と「UPS1010SS-R」です。



※USB 接続で UPS との接続を行います。正常に接続が行われると、UPS の情報欄に機器の情報が表示されます。

設定：UPS のバッテリー容量が X%に達すると自動的にスリープモードになります。

SNMP で接続

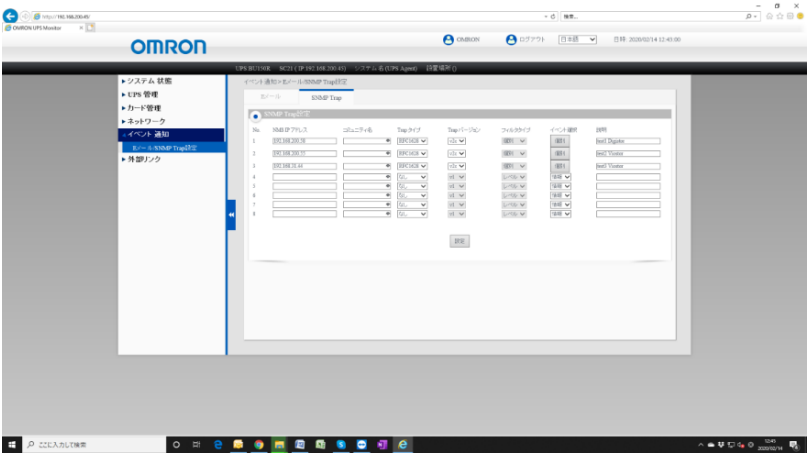
⚠**注意**：SNMP で接続を行った際、DIGISTOR シリーズが対応している UPS は、オムロン ソーシアルソリューションズ株式会社製「BU150R＋SC21（ネットワークカード）」の組み合わせとなります。



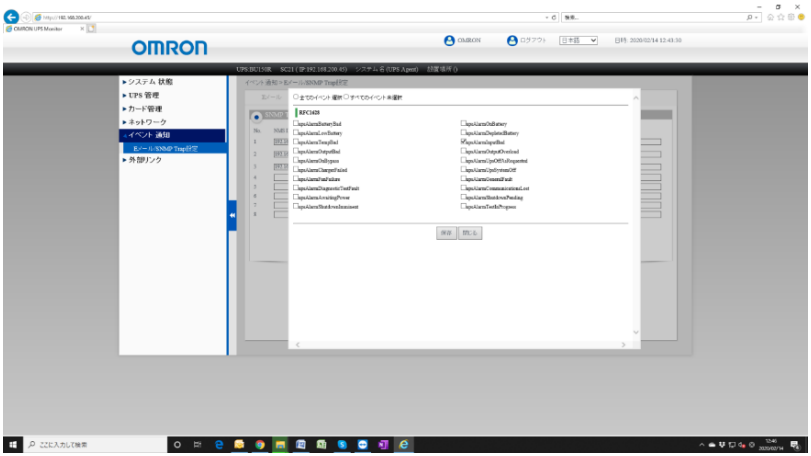
UPS の IP アドレスを指定して接続を行います。正常に接続が行われると、UPS の情報欄に機器の情報が表示されます。

設定：UPS の IP アドレス、またシャットダウン時間を指定し、UPS 側の AC が遮断されると、指定時間の経過後、自動的にシャットダウンを行います。

※LAN のみの仕様要件となります。



イベント通知→E メール/SNMP Trap 設定にて
NVR の"IP アドレス、Trap タイプ "RFC1628、Trap バージョン "v2c 、イベント選択にて、上画面の内容を入力してください。



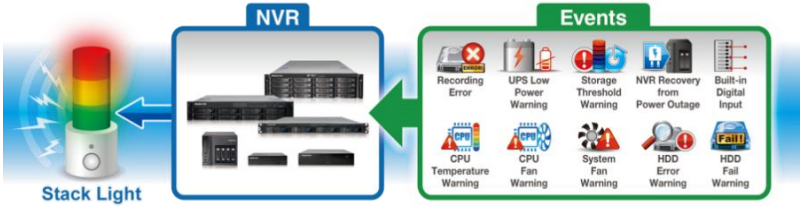
“upsAlarmInputBad“でのシャットダウンの設定例です。

※他、詳細設定が必要な場合、詳しくは UPS の取扱説明書をご参照ください。

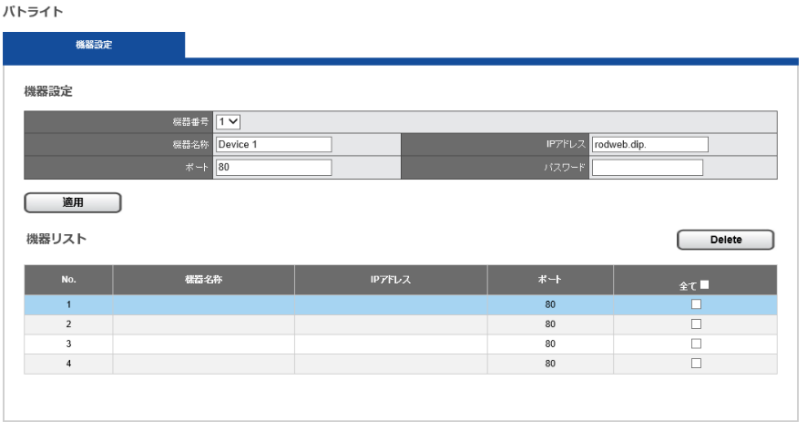
5.7.9 パトライト

パトライト製ネットワークパトライトを使用することで、HDD エラーなどのイベントが発生した際に、いち早く状況を知ることができます。

参考図：



サポート機種：NHx-3FB1-RYG
接続パトライト数：4 台まで
※パトライト点灯時のイベントの解除は、手動で行ってください。

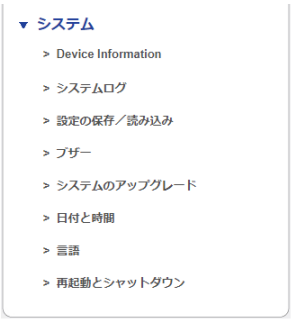


デバイス名、IP アドレス等の情報を入力し、「適用」を押すことで登録できます。動作に関しては、イベント＆アクションの設定にて動作設定を行ってください。

5.7.10 IP Controller

（※専用の端末との連動機能の為、使用しません）

5.8 システム



5.8.1 機器情報

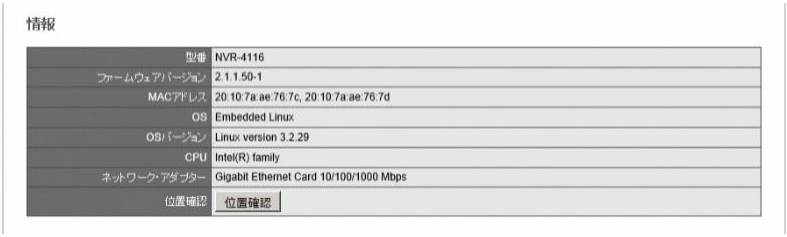
「システム」メニューから「機器情報」を選択します。

●システム情報：

オペレーティング・システム、OS バージョン、NVR バージョン、CPU、ネットワーク・アダプター、MAC アドレス、ネットワーク・フロー情報を表示します。

●位置確認：

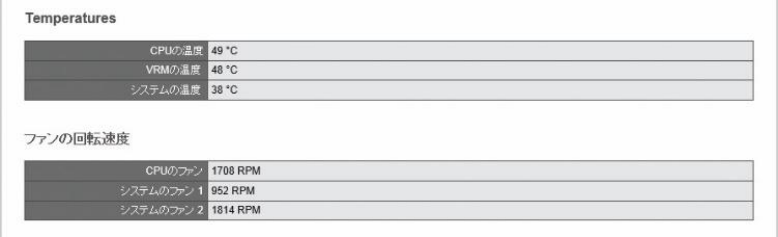
ボタンをクリックすると 3 秒間、NVR 本体からブザーが鳴ります。複数の DIGISTOR を運用している時など、位置を特定するのに便利です。



●エンクロージャー情報：

CPU の温度、ファンの状態などが表示されます。

⚠ **注意：**NVR の動作環境は 0～40 度です。



5.8.2 ログ・システム

「管理」メニューから「ログ・システム」を選択してください。必ずディスク・ボリュームを作成してから本機能をお使いください。
DIGISTOR が保存するログには次の 6 種類があります：
ハードウェア・ログ、NVR ログ、イベント・ログ、現在のユーザー、
ユーザー履歴、アクセス履歴

●ハードウェア・ログ

RAID の作成、RAID の削除、RAID の修正、CPU、ブザー、ファン、システム、センサー、USB に関する情報が記録されます。



●NVR ログ

タイム・ゾーン、夏時間、システム、ファームウェアのアップグレード、IP 設定、録画ファイルのエクスポート、ストレージに関する情報が記録されます。



●イベント・ログ

カメラの接続、カメラの接続不良、デジタル入力、モーション検知、ストレージ使用制限超過などの情報が記録されます。



●現在のユーザー

現在、NVR にログインしているユーザーの情報を表示します。



●ユーザー履歴

NVR にログインしたユーザー情報が記録されます。



●アクセス履歴

SAMBA や FTP を使って NVR にアクセスした情報が記録されます。



●Edge Recording Log

Edge 録画使用時のステータスが記録されます。



ログ・ファイルのエクスポート

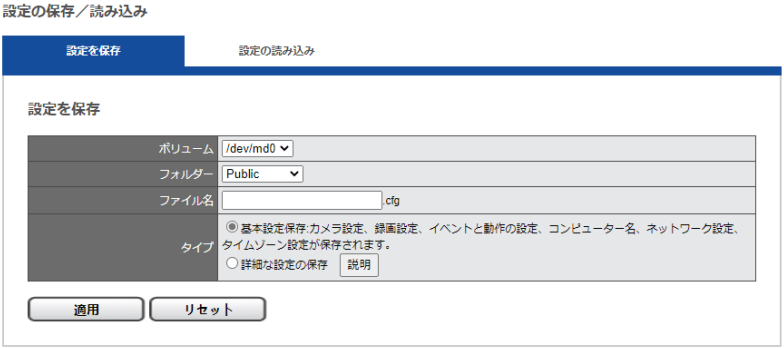
ログ・ファイルをエクスポートして保存することができます。ログごとにファイルが作成されます。



5.8.3 設定の保存と読み込み

「管理」メニューから「設定の保存／読み込み」を選択してください。

●設定の保存



保存先を、ボリュームとフォルダのメニューから選択し、ファイル名（拡張子は cfg）を決定して「適用」ボタンを押してください。
デフォルトのタイプ（カメラ設定～）の場合、設定ファイルにはカメラ設定、録画設定、イベントと動作設定、E メール設定、サーバー設定が含まれます。設定ファイルは、NVR 内の共有フォルダに保存されます。Windows ネットワークまたは FTP サービスを使い、PC から設定ファイルにアクセスできます。

●設定の読み込み

設定の読み込みを行うことで、設定ファイルの適用ができます。

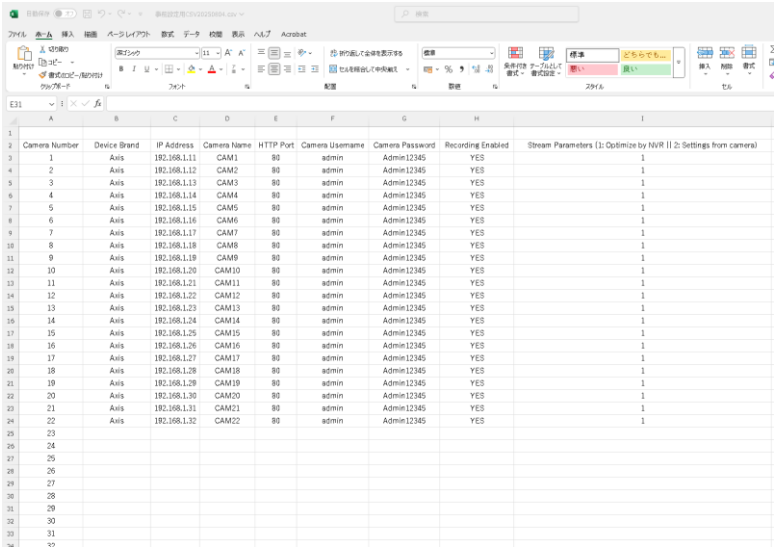


※「初期設定に戻す」を選択すると、カメラ設定、録画設定、イベントと動作、E メール設定、サーバー設定が初期値に戻ります。

「設定の読み込み」を選択し、保存した「cfg ファイル」を選択して「適用」をクリックしてください。

また、ver81 より、CSV ファイルからカメラの設定を読み込みできる機能が追加されております。
カメラメーカー名、IP アドレス、ポート、カメラ名、ユーザー名、パスワードを指定した CSV 設定ファイルに入力し、その設定ファイルを読み込みすることで、事前設定を簡易に行える仕組みとなります。
※ただし、事前設定のためカメラの映像設定はその後に行う必要があります。
※指定の DS 用テンプレートは販売店、もしくは弊社営業にお問い合わせください。

《参考》



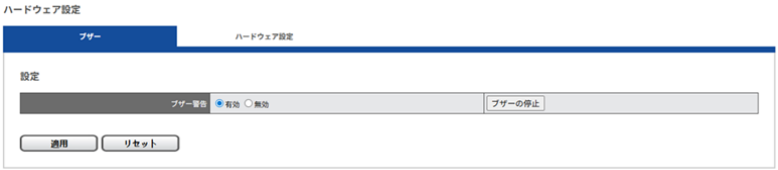
Camera Number	Device Brand	IP Address	Camera Name	HTTP Port	Camera Username	Camera Password	Recording Enabled	Stream Parameters (1: Optimize by NVR | 2: Settings from camera)
1	Axis	192.168.1.11	CAM1	80	admin	Admin12345	YES	1
2	Axis	192.168.1.12	CAM2	80	admin	Admin12345	YES	1
3	Axis	192.168.1.13	CAM3	80	admin	Admin12345	YES	1
4	Axis	192.168.1.14	CAM4	80	admin	Admin12345	YES	1
5	Axis	192.168.1.15	CAM5	80	admin	Admin12345	YES	1
6	Axis	192.168.1.16	CAM6	80	admin	Admin12345	YES	1
7	Axis	192.168.1.17	CAM7	80	admin	Admin12345	YES	1
8	Axis	192.168.1.18	CAM8	80	admin	Admin12345	YES	1
9	Axis	192.168.1.19	CAM9	80	admin	Admin12345	YES	1
10	Axis	192.168.1.20	CAM10	80	admin	Admin12345	YES	1
11	Axis	192.168.1.21	CAM11	80	admin	Admin12345	YES	1
12	Axis	192.168.1.22	CAM12	80	admin	Admin12345	YES	1
13	Axis	192.168.1.23	CAM13	80	admin	Admin12345	YES	1
14	Axis	192.168.1.24	CAM14	80	admin	Admin12345	YES	1
15	Axis	192.168.1.25	CAM15	80	admin	Admin12345	YES	1
16	Axis	192.168.1.26	CAM16	80	admin	Admin12345	YES	1
17	Axis	192.168.1.27	CAM17	80	admin	Admin12345	YES	1
18	Axis	192.168.1.28	CAM18	80	admin	Admin12345	YES	1
19	Axis	192.168.1.29	CAM19	80	admin	Admin12345	YES	1
20	Axis	192.168.1.30	CAM20	80	admin	Admin12345	YES	1
21	Axis	192.168.1.31	CAM21	80	admin	Admin12345	YES	1
22	Axis	192.168.1.32	CAM22	80	admin	Admin12345	YES	1

5.8.4 ハードウェア設定

①ブザー

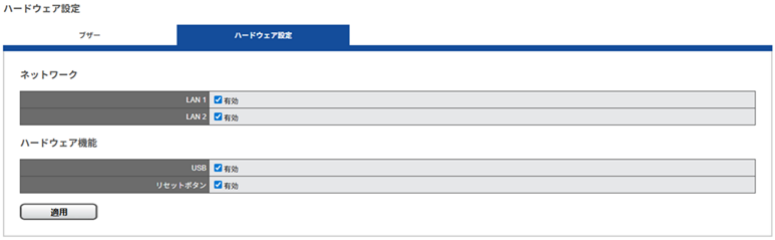
ブザー警告の有効／無効の設定が可能です。

また、何らかの理由でブザーが鳴った場合は、「ブザーの停止ボタンを押し、ブザーを停止してください。



②ハードウェア設定

ネットワークのLAN端子や、USB、リセットスイッチなどのハードウェアを有効／無効にできます。



「適用」ボタンを押して設定を有効／無効にしてください。

5.8.5 システムのアップグレード

ブラウザを用いて、またはローカル・ディスプレイを操作して、NVR のファームウェアをバージョン・アップできます。

⚠ **注意：**お使いの NVR のシリーズに応じたファームウェア・ファイルをご用意ください。

⚠ **注意**：アップグレード実施前に必ず再起動していただき、再起動後にファームウェアのアップグレードを実施してください。

⚠ **注意：**ver.80 以降にアップグレードを行った際、管理者のパスワードがデフォルト admin の場合、初回ログイン時にパスワードの変更のダイアログが表示されます。パスワードは必ず、英（大文字、小文字）数字を使用して設定を行い、次回よりその内容でログインしてください。

1.ブラウザを用いたアップグレード

（1）新しいバージョンのファームウェアを、弊社 HP または販売店より取得し、PC に保存してください。

（2）ダウンロードしたファイルを解凍します。

（3）「設定」ページへ移動し、「システム」メニューから「システムのアップグレード」を選択します。

（4）「参照」をクリックして保存したファームウェア・ファイルを指定します。



（5）「アップグレード」をクリックしてファームウェアの更新を行います。システムのアップグレードが完了したら NVR は自動的に再起動します。「機器情報」メニューの「システム」から、NVR のファームウェア・バージョンを確認することができます。

※念のため、アップグレード前に録画装置の再起動をお願いします。

2.ローカル・ディスプレイを操作してのアップグレード

（1）新しいバージョンのファームウェアを、弊社 HP または販売店より取得し、PC に保存してください。

（2）ダウンロードしたファイルを解凍して、USB ストレージに保存します。

⚠ **注意**：アップグレード実施前に必ず再起動していただき、再起動後にファームウェアのアップグレードを実施してください。

⚠ **注意：**USB ストレージは NTFS ファイル形式でフォーマットしてください。また作業を円滑にするため、ver.80 までは、「update.bin」ファイル、ver.81 以降は「update.enc」のみを USB の一番上の階層においてください。

NTFS ファイル形式のフォーマット方法：

I. 「マイコンピューター」を開きます。

II. USB ストレージ（フラッシュ・メモリー）を選択、右クリックして「フォーマット」を選択します。

III.「ファイル・システム」の「NTFS」を選択します。

IV. 「開始」ボタンをクリックしてフォーマットを実行します。

（3）NVR にローカル・ディスプレイと USB ストレージを接続します。

（4）NVR とローカル・ディスプレイに電源を入れて NVR にログインします。

（5）「設定」ページに移動し、「システムのアップグレード」を選　択します。接続した USB ストレージの「状態」が「準備完了」の表示ならアップグレードを実行できます。

（6）システムのアップグレードが完了したら NVR は自動的に再起動します。「機器情報」メニューの「システム」から、NVR のファームウェア・バージョンを確認してください。

3.ソフトウェアを使用してのアップグレード ※ver 69 から



上記のソフトウェアをインストールすることで、複数台のレコーダーのアップグレードを同時に行うことができます。※ローカルネットワークのみ

1．アップロードするファイルを選択してください。
2．アップグレードを行いたいレコーダーを選択してください。
3．アップグレードのボタンを押してください。

※ネットワーク上の何らかの理由により、機器の IP アドレスが検出できない場合は、このソフトウェアでのアップグレードはできません。手動でアップグレードを行ってください。

5.8.6 日付と時間

「システム」のメニューから「日付と時間」を選択してください。

●セットアップ

手動で設定する時は、年月日と時刻を選択して「適用」をクリックしてください。
※パソコンから時刻を取得しての補正も可能です。



●タイム・ゾーン

使用している地域のタイム・ゾーンを選択します。また夏時間（サマータイム）が導入されている時は、同オプションを有効にします。
NTP サーバーと同期を取る場合は NTP サーバーの IP アドレスを設定します。



NTP サーバーアドレス：

NTP サーバーを 3 つ設定可能です。

NTP サーバーと同期を行うには、「NTP サーバーと同期する」にチェックを入れ、時刻補正を行いたい時間、及び時間差を入力してください。

●電源同期機能

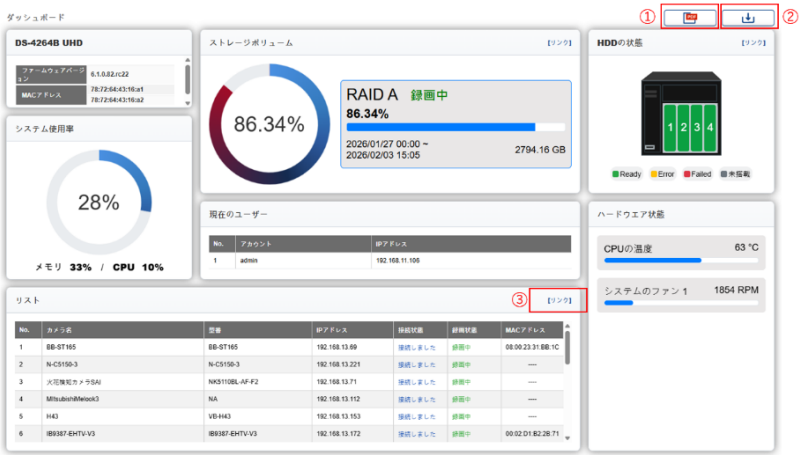
使用しません

5.8.7 言語

「システム」のメニューから「言語」を選択します。UI で表示する言語を選択して「適用」をクリックしてください。「AUTO」を選択すると、アクセスしている PC の情報に基づいて表示言語を自動選択します。

5.8.8 ダッシュボード　※PC のみで使用できる機能です。

重要なデータソースを集約した管理画面です。
「システム」のメニューから「ダッシュボード」を選択してください。



ダッシュボードでは、下記の内容が確認できます。

①NVR の型番　②ファームウェアバージョン　③NVR の MAC アドレス
④システム使用率(負荷率)　⑤メモリ使用率　⑥CPU 使用率
⑦ストレージボリュームおよび各ボリュームの状態
⑧現在のユーザー※メニューへのログインユーザー
⑨HDD の状態　⑩ハードウェアの状態（CPU の温度、システムファンの回転数）　⑪カメラのリストと状態：カメラ名、型番、IP アドレス、接続状態、カメラの MAC アドレス

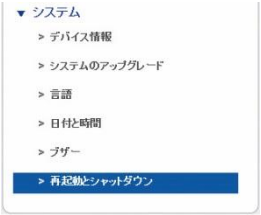
各種情報を PC へダウンロードすることも可能です。
① PDF 出力　※ダッシュボードの内容を PDF で出力します。
② ログのダウンロード

また、各カテゴリの【リンク】ボタンを使用し、各内容の詳細ページへ移動できます。

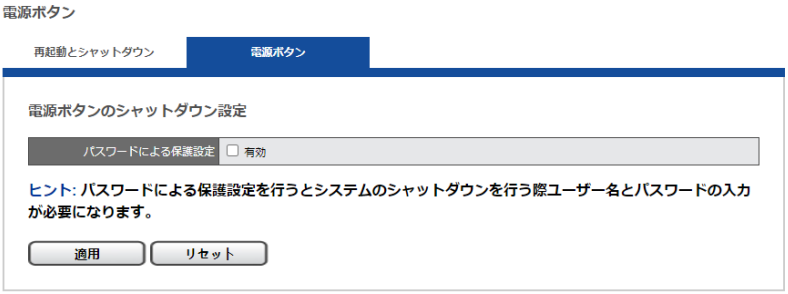
5.8.9 再起動とシャットダウン

「システム」のメニューから「再起動とシャットダウン」を選択してください。

「再起動」を選んで「適用」をクリックすると本体が再起動します。
「シャットダウン」を選んで「適用」をクリックするとシャットダウンします。



※電源を落とす場合は、必ず「シャットダウン」を選択するか、もしくは前面ボタンを長押し（2 秒程度押すと 1 度ビープ音が鳴ります。ビープ音が鳴った後、電源ボタンから指を離してください。シャットダウンには、しばらく時間がかかります）し、電源を切ってください。



また、パスワードによる保護設定を行うと、電源ボタンを押した後、パスワードの入力を行い、シャットダウンを行うことができます。

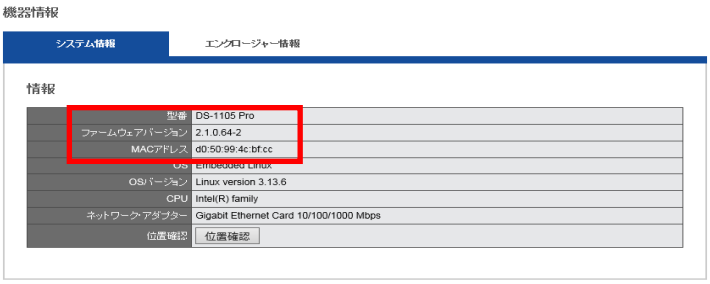
＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋

《補足 1》

＝カメラ追加アップグレード＝

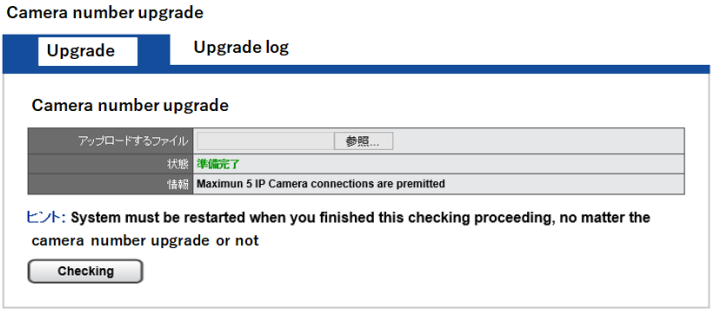
カメラを追加アップグレードしたいレコーダーの情報を取得してください。
※型番及び、“MAC アドレス”もしくは、本体記載のシリアル番号の情報が必須です。
※カメラ追加アップグレードは PC を使用して行います。
※以前の録画データを削除する必要はありません。

機器にログイン後、「設定」→「機器情報」より、その情報を確認できます。



上記の情報を元に、アップグレードキーのファイルを発行します。

アップグレードのキーファイルを受け取ったら下記アドレスを入力し、
アップグレードキーの画面に移行してください。
http://レコーダーの IP アドレス**/cfg_management_licensecheck.htm**



上記メニューでファイルの「参照」ボタンを押し、お送りしたキーファイルを選択した後、「Checking」ボタンを押してください。



ファイルをアップロードすると、下記の画面が表示されます。
「Upgrade」ボタンを押し、カメラ追加アップグレードを開始してください。

※ファイルに不備があった場合、下記の画面が表示されます。

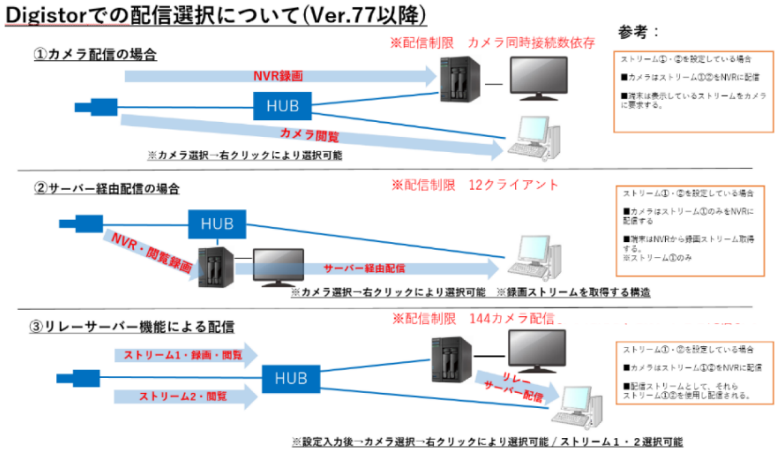


1．「カメラ」→「カメラ設定」内のリストにチャンネルが追加されます。

2．念のため機器ログイン後、「設定」→「機器情報」より内容の確認をお願いします。

※確認後、念のためレコーダーの再起動をお願い致します。

《補足２》

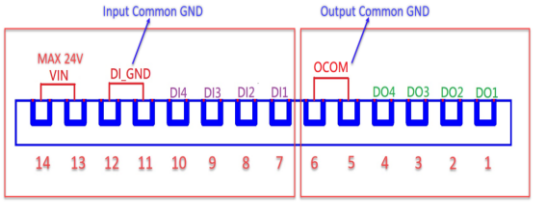


《補足 3》

デジタル I/O 端子の接続・使用方法

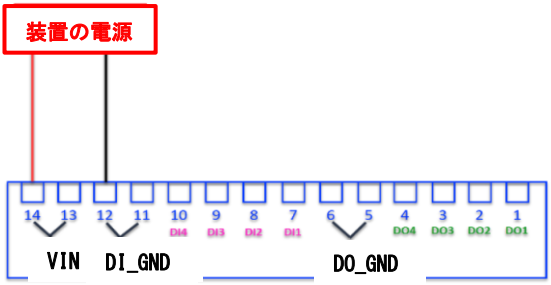
対応機種：DS-4220RM-UHD/DS-16364RM-UHD





ピン番号	名称	最大電圧(DCV)
No.1	DO1	最大24V
No.2	DO2	最大24V
No.3	DO3	最大24V
No.4	DO4	最大24V
No.5	出力側共通GND(COM)	
No.6	出力側共通GND(COM)	
No.7	DI1	最大24V
No.8	DI2	最大24V
No.9	DI3	最大24V
No.10	DI4	最大24V
No.11	入力側共通GND(COM)	
No.12	入力側共通GND(COM)	
No.13	入力側共通VIN	最大24V
No.14	入力側共通VIN	最大24V
※有効電圧(V)の範囲は、12Vから24Vまでです。		
※最大負荷電流は、最大100mAです。		

■デジタル出力装置との接続例（装置に電源が必要な場合）

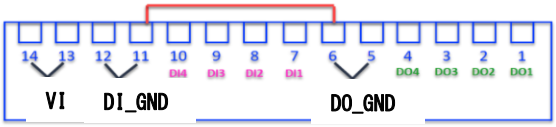


［手順 1］

※DC 入力（12A から最大 24V）

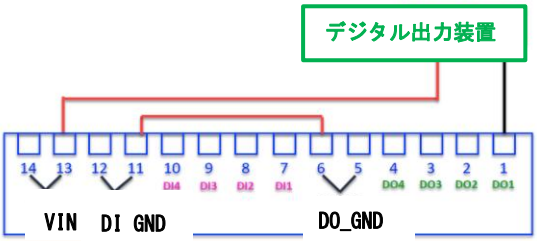
（1）装置の電源と VIN（No.14）に接続する。

（2）装置の電源と GND（No.12）に接続する。



［手順 2］

（1）DO_GND（No.6）と DI_GND（No.1）に接続する。

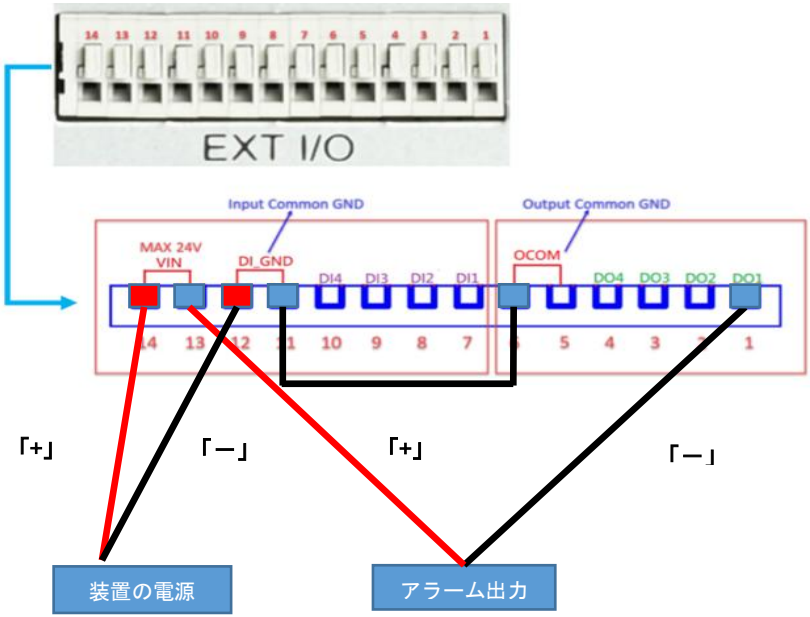


［手順 3］

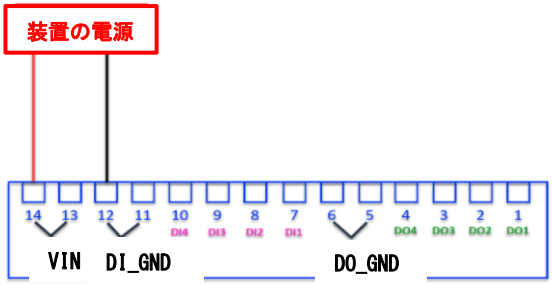
（1）出力装置の電源と VIN（No.13）に接続する。

（2）DO1（No.1）に接続する。

※接点出力の参考（具体例）



■デジタル入力装置との接続例（装置に電源が必要な場合）

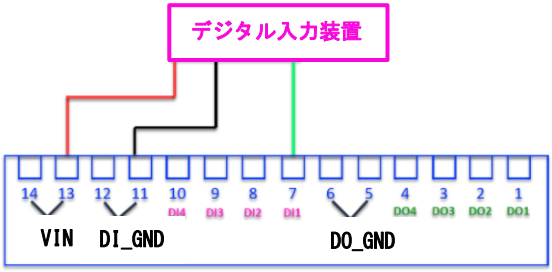


[手順 1]

※DC 入力（12V から最大 24V）

（1）外部装置と VIN（No.14）に接続する。

（2）外部装置と GND（No.12）に接続する。



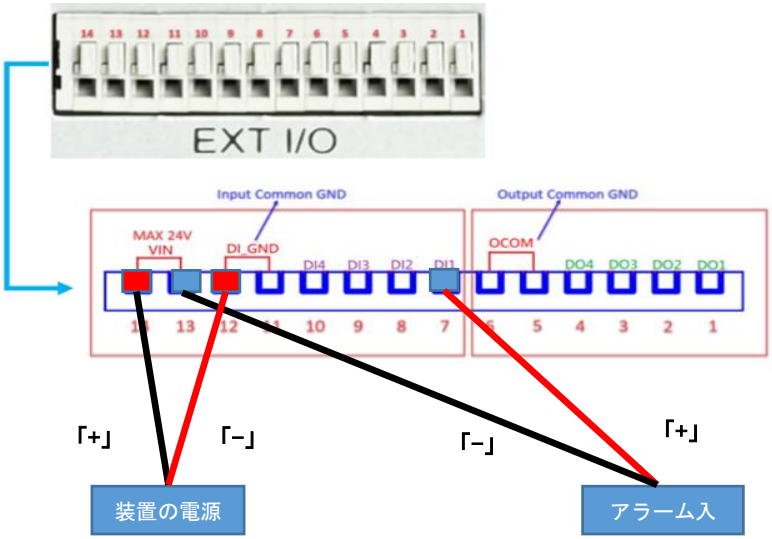
[手順 2]

（1）デジタル入力装置と VIN（No.13）に接続する。

（2）デジタル入力装置と GND（No.12）に接続する。

（3） DI1（No.7）に接続する。

※接点入力の参考（具体例）

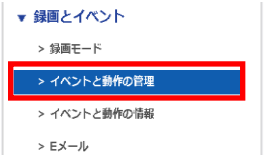


※接続に関してはこういった形で接続し、動作をさせることが出来ます。

高頻度の回数の接点入力の使用は、機器が不安定になりますので、推奨致しません。

例）接点入力で継続録画を行う設定等

■レコーダーでのデジタル入力、出力の設定方法



レコーダーの設定画面から、「録画とイベント」から
「イベントと動作の管理」に進みます。



イベント・リストの NVR のイベントの「IO 入力_1」に進み、
「追加」のボタンを押下し、メニューから「IO 出力」をクリックします。

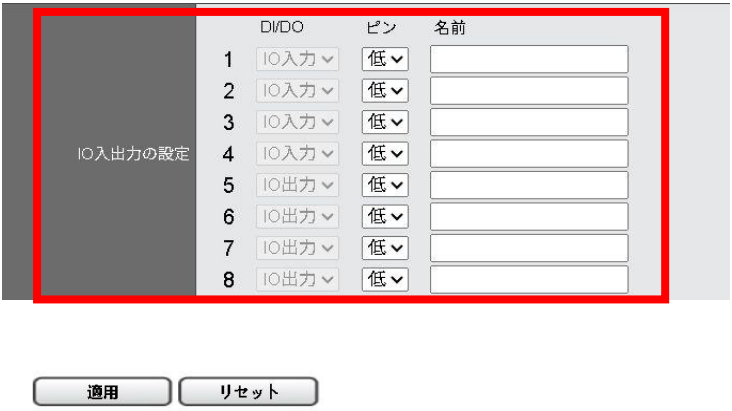


「IO 出力設定」のウインドウが開きます。IO 出力で使用するピンの番号の「有効」にチェックを入れます。

「時間」プルダウンメニューから、接点の継続する時間を選択し、最後に「OK」ボタンを押下し「イベントと動作」の設定に戻ります。

そのメニューの一番下にある「適用」ボタンを押下し、設定を反映させます。

※3 秒から 60 秒間で、継続時間を選択できます。継続を選択すると、接点を継続し続けます。



「イベントと動作の管理」のタブに「詳細設定」に進みます。

1～4 が IO 入力になります。

5～8 が IO 出力になります。

「ピン」のプルダウンメニューで「高」と「低」を選択します。

「高」・・12～24V【ノーマリクローズ】状態になります。

「低」・・0V【ノーマリオープン】状態になります。

「名前」に任意で名称を入力します。

下の「適用」のボタンを押下し設定を反映させます。

※高電圧状態は、12V～24V になります。

※低電圧状態は、0V になります。

（例）ピンで「高」を選んだ場合、高電圧状態から

低電圧状態になった時に、接点が有効になるようになります。

高電圧状態がノーマリ状態になります。

※機器の接点が反応する時間は、即時に反応する仕様となっておりますが、接点へ接続する機器により接点の反応が遅れる場合がございます。

約 1 秒以上の接点の反応する時間を設けるように推奨致します。

こんな時は？

正常に動作しない場合、まずは以下の表でお確かめください。
以下の表にて内容をご確認いただき、該当する項目があればご確認をお願い致します。その他不明な点がございましたら、販売店へご確認ください。

現象	確認事項
カメラのライブ映像が表示されない	カメラの電源／HUB の電源が入っているかを確認してください。
	DIGISTOR の LAN ケーブルが抜けていないか／ネットワークポートの LED が光っているかを確認してください。
	ログインしているユーザーがカメラ映像表示可能なユーザーかを確認してください。
	レイアウトにカメラが割り当たっているかを確認してください。
	PC 使用時、ハードウェアデコードの機能が有効になっている場合は、無効にして確認してください。 ※非対応の PC は項目がグレーアウトしています。
録画再生ができない	ログインしているユーザーが録画再生可能なユーザーかを確認してください。
	録画モード／スケジュール設定を確認し、録画設定が行われているかを確認してください。
	HDD が認識されているかを確認してください。
PTZ 操作ができない	弊社ホームページに掲載しているカメラ対応リストを確認し、操作可能なカメラかを確認してください。
	ライブ画面にて一度別のカメラを選択した後、再度該当カメラを選択し、操作できるかを確認してください。
PC から DIGISTOR へアクセスできない	DIGISTOR の電源が入っていることを確認してください。
	PC／DIGISTOR の LAN ケーブルが抜けていないか、DIGISTOR のネットワークポートの LED が光っているかを確認してください。
	接続する DIGISTOR の IP アドレス／ポート番号が正しいかを確認してください。
	PC のネットワーク設定が DIGISTOR へアクセス可能な設定になっているかを確認してください。
	PC から PING コマンドを使用し、DIGISTOR との疎通確認を行ってください。